

建設産業人材確保・育成推進協議会
第4回若年者入職促進タスクフォース 議事次第
日時：令和8年1月22日（木）13:30～15:00
場所：（一財）建設業振興基金 501会議室+Web

1 開会

- ・出席者紹介
- ・挨拶：国土交通省 不動産・建設経済局 建設振興課 課長 山岸浩一
- ・タスクフォース概要について

2 議題 若年者入職促進に向けた現状と課題

【若年層の動向について】

- (1) 建築系学科を有する高等学校の動向や課題について（全国高等学校建築教育連絡協議会）
- (2) 土木系学科を有する高等学校の動向や課題について（全国高等学校土木教育研究会）

【関係省庁からの事業内容説明について】

- (3) 専門高校における産業界との連携事例等について（文部科学省）
- (4) 令和8年度予算案の概要について（厚生労働省）
- (5) 「建設業への入職促進に向けた魅力発信事業」について（国土交通省）

【若年層の入職促進に向けた現状の取組・優良事例と課題について】

- (6) 職業体験イベント「みらいのたからばこ」の出展について（関西鉄筋工業協同組合）
- (7) 教育委員会への通知について 優良事例の紹介（文部科学省との連携）（人材協）

【若年層に向けた広報戦略の現状と課題について】

- (8) 学校教育での活用を目的とした教育アニメ映画について（人材協）

3 意見交換（20分）

4 閉会

【会議資料】

- ・第4回若年者入職促進タスクフォース議事次第
- ・若年者入職促進タスクフォースメンバー
- ・若年者入職促進タスクフォース概要
- ・資料1 土木系学科を有する高等学校の動向や課題について
- ・資料2 専門高校における産業界との連携事例等について
- ・資料3 令和8年度予算案の概要について
- ・資料4 「建設業への入職促進に向けた魅力発信事業」について
- ・資料5 職業体験イベント「みらいのたからばこ」の出展について
- ・資料6 建設業における若年者入職促進に関する取組の周知について（依頼）
(令和7年12月23日付文部科学省事務連絡)
- ・資料7 令和7年度 建設産業人材確保育成推進協議会 構成団体における担い手確保育成の取組み
(優良事例の紹介)
- ・資料8 学校教育での活用を目的とした教育アニメ映画について

若年者入職促進タスクフォース メンバー*人事異動等にともないメンバー変更

○全国建設関係訓練校等連絡会議		
一般社団法人 利根沼田テクノアカデミー	校長	桑原 敏彦
職業訓練法人 広島建設アカデミー	理事長	福井 正人
職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会	専務理事	加賀美 武
一般社団法人 北陸建設アカデミー	代表理事	小野 貴史
一般社団法人 職人育成塾	専務理事	落合 祐輔
○教育関係		
公益社団法人 全国工業高等学校長協会	理事長	守屋 文俊
全国高等学校土木教育研究会	幹事	東 君康
全国高等学校建築教育連絡協議会	会長	鈴木 邦夫*
○建設業団体等		
一般社団法人 日本建設業連合会	常務執行役	増田 昌樹*
一般社団法人 全国建設業協会	常任参与	岩野 剛*
一般社団法人 全国中小建設業協会	会長	河崎 茂*
一般社団法人 建設産業専門団体連合会	会長	岩田 正吾
一般社団法人 全国測量設計業協会連合会	副会長	佐藤 芳明
一般社団法人 建設コンサルタンツ協会	広報専門委員会委員長	西村 寛信
一般社団法人 全国地質調査業協会連合会	技術顧問	佐々木 政彦*
○行政		
国土交通省 不動産・建設経済局	建設振興課長	山岸 浩一*
国土交通省 不動産・建設経済局	専門工事業・建設関連業振興室長	近藤 陽介*
厚生労働省 職業安定局	建設・港湾対策室長	和田山 純一*
厚生労働省 人材開発統括官付	若年者・キャリア形成支援担当 事官付企業内人材開発支援室長	永島 宏泰
文部科学省 初等中等教育局	参事官(高等学校担当)付産業教育 振興室長	大久保 享之 (敬称略)

- 建設産業における若年入職等の促進に向けて、産・学・官が共同して一体的に活動するため、新たにタスクフォースを設置し、関係省庁や教育機関等が連携を強化

(令和5年4月に人材協※のもとに設置) ※建設業人材確保・育成推進協議会

若手入職促進に向けた产学研官の新たな連携体制

【新設】『若年者入職促進タスクフォース』

【当面の活動内容】

- ◎ 業界団体等と教育委員会や地元高校との連携の円滑化
- ◎ 教育委員会等に対して通知等を発出し、円滑な連携を呼びかけ
- ◎ 業界団体等の取組から優良事例を発掘・抽出し、水平展開



R5. 05.30 第1回タスクフォース(対面開催)

- ・顔合わせ
- ・訓練校等連絡会議の取組の紹介
- ・工業高校の現状と課題 ほか

R5.11.02 第2回タスクフォース(WEB開催)

- ・建設業団体等による担い手確保・育成の取組一覧の紹介
- ・訓練校(利根)における高校教員向け建設ICT技術教育研修(ドローン)について(結果報告) ほか

R7.01.16 第3回タスクフォース(対面・WEB併用開催)

- ・若年者の動向について
- ・訓練校における取組について ほか

タスクフォースメンバー

事務局(建設業振興基金)

- 全国建設関係訓練校等連絡会議
 - ・利根沼田テクノアカデミー
 - ・全国建設産業教育訓練協会
 - ・職人育成塾 等
- 教育関係
 - ・全国工業高等学校長協会
 - ・全国高等学校土木教育研究会
 - ・全国高等学校建築教育連絡協議会
- 建設業団体
 - ・日本建設業連合会
 - ・全国中小建設業協会
 - ・建設産業専門団体連合会
- 建設関連業団体
 - ・全国測量設計業協会連合会
 - ・建設コンサルタント協会
 - ・全国地質調査業協会連合会
- 関係省庁
 - ・国土交通省 不動産・建設経済局
 - ・厚生労働省 職業安定局／人材開発統括官
 - ・文部科学省 初等・中等教育局



第1回タスクフォース

■概要

名称 『全国高等学校土木教育研究会』(略称：全土研)

本会は高等学校土木系教育の充実と発展を図ることを目的とした教職員の研究会である。

本会はその目的を達成するため、おもに次の事業を行っている。

- 1) 会員、各校相互の連絡と教育成果の交換
- 2) 東日本高等学校土木教育研究会(東日本地域)と西日本高等学校土木教育研究会(西日本地域)で行う諸活動 (※令和9年8月に東西の研究会を統合して、1組織となる。)
- 3) 土木学会 教育企画・人材育成委員会 高校教育小委員会との連携活動
- 4) 関係諸官庁・教育団体・産業界との連絡調整
- 5) その他必要な事項

■組織

全国に設置されている高等学校土木系学科 162 校(全日制、定時制課程を含む)を東西 9 地区にわけ、さらに地理的な状況から東日本高等学校土木教育研究会、西日本高等学校土木教育研究会として活動のすみ分けを図っている。東西の研究会から選出されている幹事で構成された全国高等学校土木教育研究会幹事会が東西の連絡窓口となっている。さらに、公益社団法人土木学会の指導、助言のもとに、高等学校土木教育の発展のための取組や教員の研鑽を行う講習会を実施する委員会を設け、積極的な活動を行っている。また、公益社団法人全国工業高等学校長協会と密な関係をとり、各校の校長指導を仰ぎながら生徒教育や地域との連携活動を行っている。

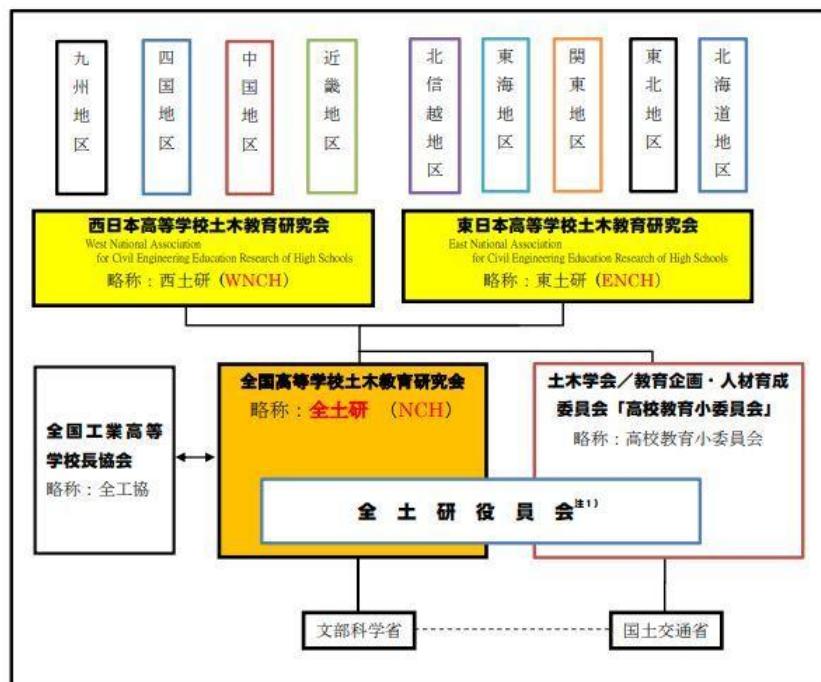


Fig. 1 組織図

■役員構成 令和7年度4月現在

会長	河野 幸浩	広島県立広島工業高等学校	校長	西土研会長
副会長	村上 英二	栃木県立那須清峰高等学校	校長	東土研会長
顧問	川西 一樹	(公財) 兵庫県生きがい創造協会兵庫県いなみ野学園 副学園長 (前兵庫県立東播工業高等学校長)		西土研元会長
顧問	市川 仁士	福岡県立八女工業高等学校	土木科教諭	
		(元福岡県立福岡工業高等学校長)		西土研前会長
顧問	佐藤 恒徳	名古屋市立工業高等学校	校長	東土研前会長
顧問	三輪 智英	兵庫県立龍野北高等学校 実習助手 (前兵庫県立兵庫工業高等学校長)		西土研顧問
相談役	渡邊 隆	(公社) 全国工業高等学校長協会 参与 (元東京都立蔵前工業高等学校長)		東土研顧問
常任幹事	谷田部圭一	茨城県立水戸工業高等学校 土木科 教諭	東土研事務局	
常任幹事	吉本 高之	兵庫県立東播工業高等学校 土木科 教諭	西土研事務局	
常任幹事	鈴木 良孝	栃木県立那須清峰高等学校 建設工学科 教諭	東土研	
幹事	井戸川貴則	福島県立喜多方桐桜高等学校 建設科 教諭	東土研	
幹事	西村 賢	埼玉県立熊谷工業高等学校 土木科 教諭	東土研	
幹事	東 君康	東京都立葛西工科高等学校 建築科 教諭	東土研	
幹事	福田 義行	神奈川県立藤沢工科高等学校 総合技術科 都市土木系教諭	東土研	
幹事	伊藤 務	長野県長野工業高等学校 土木工学科 教諭	東土研	
幹事	中村勇太郎	愛知県立岡崎工科高等学校 都市工学科 教諭	東土研	
幹事	近藤 大地	大阪府立東大阪みらい工科高等学校 都市住宅系 教諭	西土研	
幹事	小笠原雅成	広島県立府中東高等学校 都市システム科 教諭	西土研	
幹事	松川 将大	徳島県立阿南光高等学校 都市環境システム科	西土研	
幹事	岡田 篤	宮崎県立延岡工業高等学校 土木科 教諭	西土研	

■関係、関連団体

全国建設業協会様、各都道府県の建設業協会様、全国測量設計業協会連合会様、各都道府県の測量設計業協会様、全国生コンクリート工業組合連合会様、全国生コンクリート共同組合連合会様、各地区の生コンクリート工業組合様、一般社団法人建設ディレクター協会様ほか、建設関連団体、建設関連会社様多数

■賛助頂いている団体

公益社団法人 土木学会様
一般財団法人 建設業振興基金様
戸田建設株式会社 利友会様

北海道	北海道帯広工業高等学校	行政機関と直接協定を結び、教育支援	国土交通省 北海道開発局 帯広開発建設部	1年生を対象とした職場見学会 2年生のインターンシップ（就業体験）を継続的に実施 道路改良や治山工事など多岐にわたる現場で実習を実施
	北海道室蘭工業高等学校	地域の建設業者と教育課程を一体化させた新しい仕組み作りを推進	西胆振3市（室蘭・登別・伊達）の建設業協会	現場見学などを正規の教育課程に組み込む「持続可能な産学連携モデル」を構築中
東北	岩手県立盛岡工業高等学校		岩手県	生徒による「橋梁点検」の協働 県の職員とともに、実際の橋の点検作業（打音検査など）を体験
	宮城県石巻工業高等学校	最新のデジタル土木技術を学ぶ機会	地元の建設機械施工協会	土木システム科において、GNSS（衛星測位システム）を用いた観測、ドローン操縦、ICT建設機械の操縦実習などを実施 建設現場で標準となりつつある「情報化施工」の基礎を、高校生のうちから体験させることで、即戦力に近い人材育成を目指す
	仙台市立仙台工業高等学校	マイスター・ハイスクール事業	企業・大学・行政	1年次からドローン講習やICTを活用したBIMモデリング技術の習得、3年次には積算研修会や高強度コンクリート製作講習など、現場実務に直結する教育
	福島県立福島工業高等学校 福島県立平工業高等学校		福島県建設業産学官連携協議会	出前授業や現場見学会 震災復興の最前線で求められるスキルの習得（福島工業高校）
北陸	石川県立小松工業高等学校	震災復旧現場でのICT教育	地元の建設会社	河川災害復旧工事の現場で見学会や実習を実施 実際の復旧現場において、ICT建機やドローンを用いた最新の施工技術を一堂に集め、生徒がそれらを直接体験することで、技術の普及と地域貢献の両面を学習
	金沢市立工業高等学校	インフラDXの最前線を体験	国土交通省 北陸地方整備局	「出張DXルーム」などのプログラムを活用 建設現場の生産性を向上させるインフラDX（3Dモデルの活用やリモート技術など）に関する直接的な指導を受けており、卒業生が講師として参加するなど、キャリア教育としての側面を強化
	富山県立富山工業高校 富山県立高岡工芸高校	「ものづくりの中核校」と位置づけ、産学官が一体となって教育を支援	富山県建設業協会	年間を通じて現場見学会や、企業の専門家による実務指導（技能五輪の技術指導など）をカリキュラムに組み込み 「地域の守り手」としての実務体験と、「インフラDX」という最先端技術の習得
東海	岐阜県立岐阜工業高等学校	県を挙げて建設DX（デジタルトランسفォーメーション）を推進	岐阜県建設業協会 国土交通省（中部地方整備局）	モデル校的な役割 3Dスキャナやドローンで取得したデータを点群処理し、VR（仮想現実）で現場を再現する実習 生徒自らがICT建機の操作シミュレーションやデジタル図面作成
				静岡県では全国初の「インフラメンテナンス」特化型実習
	県立四日市工業高等学校		三重県建設業協会	女性技術者（けんせつ小町）との座談会や、女子生徒を対象とした現場見学会
	愛知県立名古屋工科高等学校	巨大インフラプロジェクトへの参画	国土交通省 NEXCO中日本 リニア中央新幹線施工企業	規模な地下掘削現場や橋梁建設現場での実習を実施
			愛知県建設業協会	建設系高校人材育成実務担当者会議を年2回開催 現場見学実施 ・出前授業の実施 ・インターンシップの実施 ・作文やポスターの募集 ・建設技術フェアにて協会ブース（学生ひろば）の出展
近畿	兵庫県立兵庫工業高等学校	VR・メタバースを活用したDX教育	地元の建設企業 日本建設機械施工協会	実際の現場をデジタルツイン（仮想空間に現場を再現）化し、教室にいながらVRゴーグルを使って現場管理を学ぶ授業 ドローンで計測したデータを3Dモデル化し、施工計画を生徒が自ら立案する実習
			兵庫県土木部	建設業育成魅力アップ協議会の設立 ・学校内での魅力説明会 ・資格取得支援講習会 ・1日体験セミナー ・保護者を含めた現場見学会
	大阪府立工科高等学校	阪・関西万博後のまちづくり連携	大阪府建設業協会 大阪府	万博会場跡地の活用や、淀川の河川整備など、大規模な都市インフラの現場を教材として活用し、「都市デザイン」と「土木技術」の融合を学ぶ機会
	京都府立工業高等学校	歴史的建造物の保全と現代土木の融合	京都府建設業協会	重要文化財の周辺整備や、伝統的な石積みの補修技術などを、現役の職人や技術者から直接学ぶ実習 行政（京都府）の施策と連動

滋賀県立彦根工業高等学校 滋賀県立瀬田工業高等学校	滋賀県建設業ICT推進コンソーシアム 産学官連携「滋賀県建設業魅力発信プロジェクト」	滋賀県	ICT建機のデモンストレーションや、生徒が作成した3Dデータを実際の重機に読み込ませて操作する体験会 びわ湖の環境保全（治水・水質管理）の課題検討
奈良県立御所実業高等学校	文化財×土木による「インフラメンテナンス」	奈良県内の市町村	小規模橋梁を生徒が調査、結果を自治体のデータとしてフィードバックする仕組みの構築、生徒の学びが実社会の役に立つ「サービス・ラーニング」の形式
中国	広島工芸工業三次青陵	広島県インフラDX」教育	県・建設業協会・大学 広島県が設置したDX推進拠点「Hi-DX（広島県インフラDX推進センター）」を活用し、高校生が最新の3次元測量やVRによる施エシミュレーションを体験
	広島工業高校	国土交通省中国地方整備局 中国地方土木技術者育成会議 建設技術フォーラム2025inちゅうごく 広島県建設産業課 (一社)広島県測量設計業協会 広島建設青年交流会	業界団体と連携して作成したDVDの試聴 測量設計業界の魅力、求める人材、労働環境、福利厚生等について説明 建設業界の魅力、求める人材、労働環境、福利厚生等について説明 若手技術者による意見交換会
	岡山県立岡山工業高等学校	産官学連携の「道路パトロール」	岡山県地元建設業界 生徒がスマートフォンアプリを使用して道路の損傷箇所（ひび割れやガードレールの破損など）を報告する実習
	島根県立松江工業高等学校	若手技術者交流	島根県建設業協会 島根県 生徒の定着率向上に向けた取り組み 実際の工事現場で働く「若手OB・OG技術者」との対話型研修
	山口県立徳山商工高等学校	ダム・トンネル等の大規模現場実習	国土交通省山口河川国道事務所 大規模施工を行う企業 巨大構造物の内部や、建設機械が自動で動く様子を間近で見る見学会
	鳥取県立米子工業高等学校	地域課題解決型「防災学習」	鳥取県建設業協会 地域特有の災害リスク（土砂災害等）に対する教育
四国	香川県立多度津高等学校	「橋梁点検」の実践	香川県県建設業協会 土木科の生徒が、県の現役職員の指導のもと、実際に供用されている道路橋の点検（打音検査や目視点検）を実施
	高知県立高知工業高等学校 高知県立宿毛工業高等学校	「インフラDX」推進	高知高専・工業高校ICT教育プログラム 生徒がVR（仮想現実）空間で工事の安全確認や手順を検討
	愛媛県立松山工業高等学校		国土交通省 四国地方整備局 道路改良工事やダムの運用管理について、現場実習を中心とした教育を実施
	徳島県立徳島科学技術高等学校	防災・減災に特化した実習	建設企業 徳島県 「災害復旧シミュレーション」をカリキュラムに取り入れ、被災箇所の迅速な測量から復旧計画の立案までをICTを用いて学ぶ実習
九州 沖縄	熊本県内の工業高校土木科	産学官連携「建設業ナイスドライ」と建設DX	
	長崎県内の工業高校土木科		1) ネクスト長崎人材育成事業で、長崎大学から外部講師招聘 2) ネクスト長崎人材育成事業で、現場見学会
	沖縄県立沖縄工業高等学校	工事現場の「生きた教材」化	内閣府 沖縄総合事務局 県建設業協会 普段立ち入り禁止となっているトンネルや橋梁の建設現場を見学・実習し、最新の工法や安全管理について現役技術者から直接指導
	茨城県立土浦工業高等学校	建設業における資格取得の重要性	NPO法人いばらき建設経済研究社 出前講座の実施、企業と連携した技能五輪出場選手による技術指導
	長野県長野工業高等学校	「減災・防災」総合教育実習	民間企業（土木管理総合試験所） 地盤調査や試験に関する実践的な講義・実習



専門高校における産業界との連携事例等について

令和8年1月 文部科学省

高等学校教育改革促進基金の創設 ～N-E.X.T.（ネクスト）ハイスクール構想～

令和7年度補正予算額

2,955億円



※N-E.X.T.（ネクスト）ハイスクールとは、New Education, New Excellence, New Transformation of High Schools の略である。

「強い経済」を実現する総合経済対策（令和7年11月21日閣議決定）抜粋

第2章「強い日本経済実現」に向けた具体的施策 第1節 生活の安全保障・物価高への対応（6）公教育の再生・教育無償化への対応（教育無償化への対応）

いわゆる高校無償化と併せて公立高校や専門高校等への支援の拡充を図るため、政党間の合意に基づき、安定財源を確保した上で、交付金等の新たな財政支援の仕組みを構築することを前提に、国から2025年度中に提示される「高校教育改革に関するグランドデザイン2040（仮称）」に沿った緊要性のある取組等について、都道府県に造成する基金等により先行的に支援する。

課題

- 2040年には、産業構造や社会システムの変化を踏まえた労働力需給ギャップにより、地域の経済社会を支えるエッセンシャルワーカーの圧倒的不足、いわゆる理系人材の不足が懸念されるところであり、産業イノベーション人材の育成が重要。
- 少子高齢化、生産年齢人口の減少、地方の過疎化が一層深刻化（2040年には高校1年生が約36%減少）。現状でも約64%の市区町村において公立高校の立地が0又は1であることなどを踏まえ、地理的アクセスを踏まえた多様な学びの確保が重要。

①産業イノベーション人材育成等に資する高等学校教育改革促進事業

令和7年度補正予算額 2,950億円 支援期間：3年程度

各都道府県に基金を設置し、類型に応じた

高校教育改革を先導する拠点のパイロットケースを創出し、取組・成果を域内の高校に普及する。

アドバンスト・エッセンシャルワーカー等育成支援

- 地域産業や社会・生活基盤を支える分野において、新技術を活用し、生産性の向上・高付加価値化の実現が求められている。
- 技術革新のスピードが加速する時代に適した課題解決能力の獲得に向け、探究的・実践的な学びの積み重ねや深まりのある学びを実現する。

理数系人材育成支援

- 未来成長分野においては、理系高等教育への進学者の割合の増加、高等教育での実践的な教育が求められている。
- 先進的な新たな知を生みだす力を育成するため、理数的素養を身に付けつつ、自ら問いを立て、解決する研究を行う高等教育を見据えた文理融合の学びを実現する。

多様な学習ニーズに対応した教育機会の確保

- 少子化への対応においては、生徒の地理的アクセスの確保を図ることに留意しつつ、多様な人間関係の中で得られる学びを踏まえれば、一定の生徒数の規模を確保した学びを提供することが必要。
- 人口減少地域に、魅力ある学びの選択肢を増やすため、地域の教育資源を活かした学びや遠隔授業を活用した学びの提供を実現する。

学ぶ意欲のある高校生が、家庭の経済状況に左右されることなく、学習習慣の定着、学習時間の増加、学びへ向かう姿勢の確立ができるよう、放課後等を活用し、学校と地域の連携による学力向上・学習支援のための取組、探究活動の深化による多様な進路に向けた支援を行う。

- 学科・コースの再編、学校設定科目の新設
- 高等教育機関・地域・産業界と連携、外部人材の登用

- 域内の教育環境向上に貢献する取組（遠隔授業、教員研修拠点等）
- グローバル人材育成に向けた留学の派遣・受入に係る環境構築

②高等学校教育改革加速に係る伴走支援事業

令和7年度補正予算額 5億円

改革先導拠点の着実な実施にあたり、都道府県の進捗の確認・評価を行うとともに、類型ごとに、ノウハウの共有・専門家による支援を行う。

対象

①都道府県
②民間

補助率等

①10分の10

補助対象経費

①改革先導拠点の創出に係る経費（人件費、旅費、謝金、設備・施設整備費等）
②高校教育改革加速に係る伴走経費（人件費、旅費、謝金、備品・消耗品費等）

事業スキーム

文部科学省

基金造成経費を交付

都道府県

※都道府県事務費も措置

（担当：初等中等教育局参事官（高等学校担当）付）

現状・課題

大学教育段階で、デジタル・理数分野への学部転換の取組が進む中、その政策効果を最大限発揮するためにも、高校段階におけるデジタル等成長分野を支える人材育成の抜本的強化が必要

事業内容

情報、数学等の教育を重視するカリキュラムを実施するとともに、専門的な外部人材の活用や大学等との連携などを通じてICTを活用した探究的・文理横断的・実践的な学びを強化する学校などに対して、そのために必要な環境整備の経費を支援する

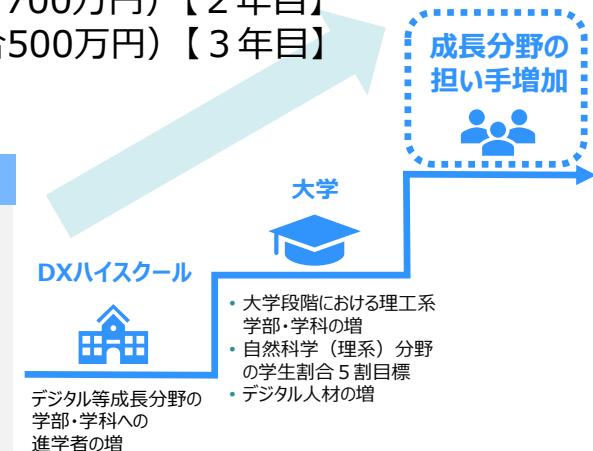
支援対象等

公立・私立の
高等学校等
(1,300校程度)

- 新規採択校 : 100校程度 × 1,000万円
- 継続校 : 200校程度 × 500万円（重点類型の場合700万円）【2年目】
1000校程度 × 300万円（重点類型の場合500万円）【3年目】

※必須要件に加えて、各類型ごとの取組を重点的に実施する学校を重点類型
として補助上限額を加算（80校（半導体重点枠を含む））

箇所数・補助上限額 ※定額補助



採択校に求める具体的な取組例（基本類型・重点類型共通）

- 情報IIや数学II・B、数学III・C等の履修推進（遠隔授業の活用を含む）
- 情報・数学等を重視した学科への転換、コースの設置
- デジタルを活用した文理横断的・探究的な学びの実施
- デジタルものづくりなど、生徒の興味関心を高めるデジタル課外活動の促進
- 高大接続の強化や多面的な高校入試の実施
- 地方の小規模校において従来開設されていない理数系科目（数学III等）の遠隔授業による実施
- 専門高校において、デジタルを活用したスマート農業やインフラDX、医療・介護DX等に対応した高度な専門教科指導の実施、高大接続の強化

採択校に求める具体的な取組例（重点類型 グローバル型、特色化・魅力化型、プロフェッショナル型（半導体重点枠を含む））

- グローバル型：海外の連携校等への留学、外国人生徒の受入、外国語等による授業の実施、国内外の大学等と連携した取組の実施等
- 特色化・魅力化型：文理横断的な学びに重点的に取り組む新しい普通科への学科転換
- プロフェッショナル型：産業界等と連携した最先端の職業人材育成の取組の実施

支援対象例

ICT機器整備（ハイスペックPC、3Dプリンタ、動画・画像生成ソフト等）、遠隔授業用を含む通信機器整備、理数教育設備整備、専門高校の高度な実習設備整備、専門人材派遣等業務委託費 等

事業スキーム

文部科学省

補助

学校設置者等

東京都立葛西工科高等学校
(公立・建築科)

建築物の3D化による設計やメンテナンス意識の構築と3Dモデリングによる
防災模型製作における防災まちづくりの検討

取組

住宅建築の施工と設計の両輪の学習実践

住宅施工の一連の流れを学ぶとともに、建築物をドローンやレーザースキャナで点群データを取得し、専用アプリケーションソフトで解析、3D化する。設計やメンテナンスへの興味を引き出し、デジタル図面化やメンテナンス作業の検討ができる人材を育成する。

ドローンやスキャナを用いた授業の展開

継続して実践しているドローンやLiDARによる立体物の3D化を進化させ、縮尺1/1の建築物を実際に施工し、それを外部・内部をドローンやスキャナなどで点群データを取得して3D化する。屋根、壁面、室内空間の様子をデジタル化して、距離や面積・体積などの計算を行ったり、図面化できるような実践的な授業展開を行う。ドローンの基本操作、撮影、点群取得、データ解析から、メンテナンス業務に活かすことができる実践的な取組を行う。

育成する生徒像・取組による効果

- ・デジタル機器を用いた最先端技術に興味・関心を持ち、ものづくりに対する新しい発想力や分析力を持った生徒。
- ・地域防災の意識を持ち、避難経路や防災マップの作成ができるなど、地域の問題発見や課題解決に積極的に取り組む生徒。

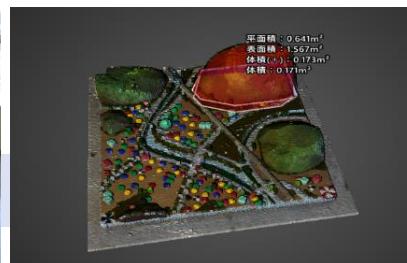


防災・減災まちづくりの検討と避難者支援DXの取組

学校を避難所として、地域防災拠点としての避難のあり方の検討と位置情報システムを活用した避難動画の制作、歩行空間のデジタル化など、地域の逃げ道マップの作成と地域防災模型を製作し、最適な逃げ道を検討したり、地域に配布できる地域防災デジタル地図の作成を行う。

3Dモデリングによる模型製作と位置情報の活用

3Dモデリングアプリケーションソフトによるモデリングと3Dプリンタにより造形物の製作を行い、学校を避難所とした場合の地域防災検討模型（縮尺1/300）を作成する。また、避難経路を考えるため、地域環境を把握し、避難動画の制作とともに、位置情報システムなどを活用した地域防災デジタル地図（地図経路）の作成を行い、防災意識の向上を目指す。



情報Ⅱの内容を含むことにより指導内容を充実させた職業系の教科・科目の履修率：100%
(令和7年度目標値100%)
大学理系学部進学率：4.3% (令和5年度実績値)
：20% (令和10年度目標値)

現状・課題

- 第4次産業革命の進展、デジタルトランスフォーメーション（DX）、六次産業化等、産業構造・仕事の内容が急速かつ絶えず革新する中、専門高校では、**産業構造の絶え間ない変化に即応した職業人材育成が急務。**
- そのため、令和3年度より、産業界等と専門高校が一体となって職業人材育成を行うマイスター・ハイスクールを実施。
- 我が国の産業の発展のためには、**マイスター・ハイスクールの全国的な横展開が必須。**しかし、産業界等との連携に課題のある地域では導入が困難であることから、実践的な取組を通じた研究や全国実態調査等を通じて、連携体制の強化の方策について明らかにする必要。

事業内容

- ① 産業界等と一体となった先進的取組を行う都道府県等・専門高校が中核となり、産業界等と連携した人材育成の**広域ネットワークを牽引**
- ② 産業界等との**連携に課題のある地域**が、先進的取組を直接学びつつ、**連携体制の強化プロセスを実践研究**
- ③ 民間事業者による**取組に応じた支援、広域ネットワーク内をつなぐネットワークハブ**
- ④ 産業界等と専門高校の**連携段階ごとの課題及びその解決策**について調査し、実効性のある連携体制構築のポイントを整理

→ 地域産業の持続的な成長を牽引する最先端の職業人材育成工コシステムを確立

●マイスター・ハイスクール（R5年度指定）



①先進的取組型（R6年度～）



②連携体制強化型（R6年度～）



（主な取組）

- 産業界等と一体となったカリキュラム刷新・実践
- マイスター・ハイスクールCEOを企業等から採用し学校の管理職としてマネジメント
- 企業等の技術者等を教員として採用
- 企業等での授業・実習を多数実施、企業等の施設・設備の共同利用 等

（主な取組）

- 域内全体での産業界等と専門高校の連携体制の確立
- 産業界等と連携した教育課程・体系的教育活動の域内普及
- 産学連携コーディネーターの持続可能な活用方策の検討
- 広域ネットワークの牽引（他都道府県等への助言等）等

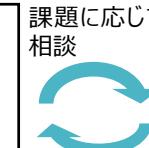
助言

- 産業界等との連携体制の構築
- 企業等と連携した授業・実習
- 産学連携コーディネーターの配置・活用
- 広域ネットワークの知見の活用
- 取組を地域に発信 等

③取組の支援



伴走支援



助言



広域ネットワークの構築

- 広域ネットワークのハブ的役割
- 産学連携コーディネーターの育成支援 等

【件数：継続1箇所】 【委託先：民間事業者】

連携ノウハウの提供・助言

④実態調査（全国・指定地域）

【件数：継続1箇所】 【委託先：民間事業者】

●専門学科デジタルコンテンツの充実



彦根工業高等学校×滋賀県教育委員会×彦根市×彦根商工会議所

本格的に、企業の組織の一員として現場で働く

1年次 学校設定科目「近江マイスター」 → 地域企業の先端技術やその専門家の働きを見学。

2年次 学校設定科目「ブラッシュアップ実習」 → 地域企業や専門家から技術を学ぶ。

3年次 学校設定科目「プログレス実習」 → 週1日、実際に企業で社内プロジェクトチームのメンバーとして働く。

〈企業版デュアルシステム〉

・「お客さん」ではなく「社員」として扱われ、他のメンバーと協働して、実際の業務の中で提案を行ったり、フィードバックを受ける体験をしている。学校で学んだ知識・技術がどのように社会で使われているのかを理解し、さらにその技術を使うための姿勢や考え方を学習。

- 内容
- 【機械科】企業課題解決の取組、3Dプリンタの製作 など
 - 【電気科】彦根市広報のプロジェクトマッピングの取組 など
 - 【建築学科】コンクリート等の強度試験・3Dスキャナ・ICT建機 など

「デュアルシステム」とは

- インターンシップよりも長期間の就業体験で、学校と企業が一緒になって生徒を育成する職業教育。
- 卒業後には当該企業に就職することもあり得る。



取組による成果等

長期インターンシップやデュアルシステムの受入れは企業にとって負担があったが、現場からも「人工知能の活用など手探りの中、自分の大きな学びにつながった」「外部からの視点で業務改善に直接的に貢献」といった声があがり、相互にとって学びのある取組となっている。



デュアルシステム受入れ企業

教員が最先端技術や情報に触れる機会が増え、生徒は実社会で学ぶことで、自ら考えて行動する力や挑戦する意欲が高まっている。

デュアルシステムで企業での働く体験が、学校での学びの意味や目的に繋がり、彼らの進路実現に寄与していると感じている。



産業実務家教員
(地元企業のエンジニア)

工業高校の理解を推進するための取組

新規HP「すごいぞ！専門高校」の開設 ＼中学生の進路指導で活用できるウェブサイト／



すごいぞ！専門高校HP：
https://www.mext.go.jp/sugoizo_senmonkoukou/

専門高校Instagramの開設

＼現役専門高校生を巻き込んだ魅力発信／



Instagramアカウント：
https://www.instagram.com/mext_sangyo?igsh=MXdidHdtInIzcGtrNg%3D%3D

2025年2月～7月
専門高校生が作成した
魅力発信動画のコンテストを実施

応募総数 動画400本！

優秀な動画には、
文部科学大臣賞を授与
(2025年10月
全国産業教育フェア福島大会で
発表)



他省庁との連携（国土交通省・厚生労働省）

国土交通省との連携

「建設業における若年者入職促進に関する取組の周知について」

事務連絡
令和7年12月23日

各都道府県・指定都市教育委員会指導事務主管課
各都道府県私立学校主管課 御中
各国立大学法人附属学校事務主管課

文部科学省初等中等教育局
参事官（高等学校担当）付
産業教育振興室

建設業における若年者入職促進に関する取組の周知について（依頼）

平素より産業教育の振興に御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。
この度、国土交通省より、高校生等の若年者の建設業に対する理解や入職促進を図ることを目的として現場見学会やインターンシップ等の取組をとりまとめたとのことで、別添のとおり周知依頼がありましたのでお知らせします。

については、都道府県教育委員会においては、域内の高等学校を設置する市町村教育委員会に対し、都道府県私立学校主管課においては、所轄の学校法人に対し、周知いただきますようお願いします。

なお、学校における働き方改革の観点から、高等学校への周知については、対象の学校を限定したり、他の条件とまとめた周知やクラウドを活用した文書の共有を行うなど、学校の事務負担軽減にご配慮いただくようお願いします。

また、本取組の御不明点等については、別添資料に記載の「連絡先」へお問い合わせいただきますようお願いします。

初等中等教育局参事官（高等学校担当）付
産業教育振興室産業教育係（田中、藤井、鶴谷）
TEL : 03-5253-4111（内線 2384）

厚生労働省との連携

「建設業若年者理解・定着促進事業（つなぐ化事業）の周知について」

事務連絡
令和7年5月30日

各都道府県・指定都市教育委員会指導事務主管課
各都道府県私立学校主管課 御中
各国立大学法人附属学校事務主管課

文部科学省初等中等教育局
参事官（高等学校担当）付
産業教育振興室

建設業若年者理解・定着促進事業（つなぐ化事業）の周知について（依頼）

平素より産業教育の振興に御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。
この度、厚生労働省職業安定局建設・港湾対策室より、別添のとおり、若年者の建設業に対する理解や入職促進を図ることを目的として、昨年度に引き続き、意見交換会や出前授業などを通して高等学校の生徒・教師等と建設業界がつながる機会を設ける事業（建設業若年者理解・定着促進事業（「つなぐ化」事業））を実施することから、本事業の周知及び参画の協力依頼がありました。

つきましては、本事業について御了知いただくとともに、都道府県教育委員会においては、所管の学校及び域内の高等学校を設置する市町村教育委員会に対し、指定都市教育委員会においては、所管の学校に対し、都道府県私立学校主管課においては、所轄の学校及び学校法人に対し、附属学校を置く各国立大学法人附属学校事務主管課においては、その管下の学校に対し、このことについて周知いただきますようお願いします。周知に際しては、リーフレット等もあわせてご利用ください。

なお、学校における働き方改革の観点から周知の方法については、当該事業の活用を検討している学校に限定するなど、各教育委員会において、適切にご判断いただくようお願いします。

事業への参加を希望する場合は下記ホームページへアクセスいただき、御不明な点などございましたら、厚生労働省職業安定局雇用開発企画課建設・港湾対策室建設労働係へ直接お問い合わせください。

「つなぐ化」事業 ホームページ（<https://tsunaguka.mhlw.go.jp/>）

【本件担当】
初等中等教育局参事官（高等学校担当）付
産業教育振興室産業教育係 03-5253-4111（内線 2384）

參考資料

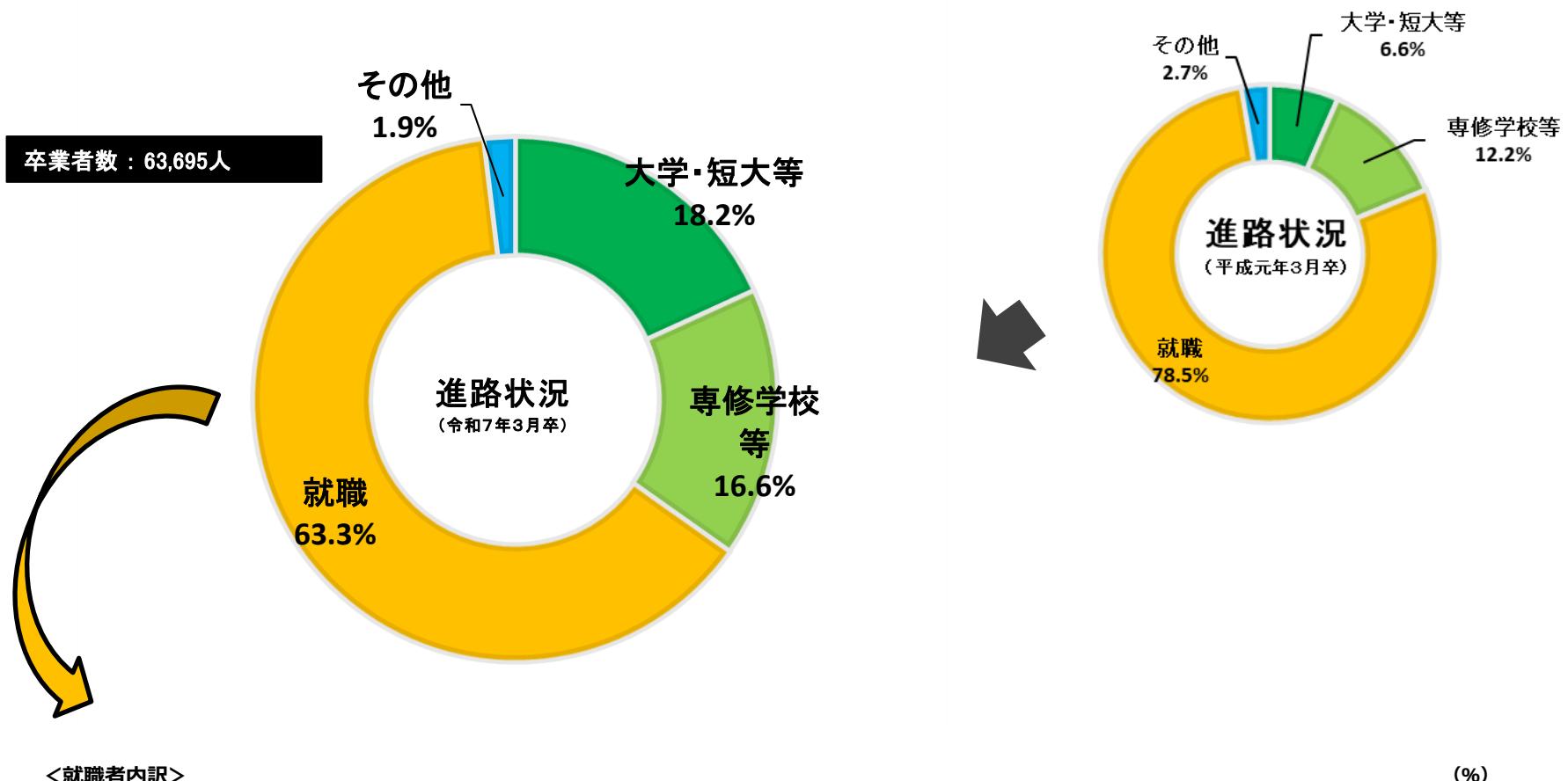
高等学校学科別生徒数・学校数

区分	生徒数(人)	比率(%)	当該学科を置く学校数(延べ数)	単独学科学校数
合 計	2,865,463		6,524	3,403
普 通 科	2,123,778	74.1	3,693	2,518
職業学科（専門高校）	小 計	482,854	16.9	1,889
	農 業	66,199	2.3	292
	工 業	197,538	6.9	512
	商 業	157,989	5.5	570
	水 産	7,003	0.2	42
	家 庭	33,929	1.2	256
	看 護	10,753	0.4	95
	情 報	3,484	0.1	27
	福 祉	5,959	0.2	95
その他の専門学科	104,352	3.6	561	49
総 合 学 科	154,479	5.4	381	283

- ※ 全日制・定時制のみの統計である(通信制は含まれない)。
- ※ 「当該学科を置く学校数」欄は、複数学科を置く学校について、それぞれの学科に計上した延べ数である。
- ※ 全国の全日制・定時制の高等学校のうち、職業教育を主とする学科を設置する高等学校は1,440校である。
- ※ 「その他の専門学科」には、理数、体育、音楽、美術、外国語、国際関係等の学科がある。
- ※ 総合学科とは普通教育及び専門教育を選択履修を旨として総合的に施す学科である。

(出典)令和7年度学校基本調査

工業高校等の進路状況



(出典)文部科学省「学校基本調査」



令和8年度予算案の概要について

建設事業主等に対する助成金

令和8年度当初予算案 71億円（69億円）※（）内は前年度当初予算額

労働特会			子子特会	一般会計
労災	雇用	徴収	育休	
○				

1 事業の目的

建設業においては、技能者のうち60歳以上の割合が約4分の1を占める一方、29歳以下は全体の約12%となっており、若年労働者等の確保・育成、技能継承が極めて重要な課題となっている。本助成金では、建設労働者雇用改善法第9条に基づき、建設事業主等に支援を行うことで、建設労働者の雇用の改善、能力の開発及び向上、雇用の安定を促進することを目的とする。

2 事業の概要・スキーム・実施主体・事業実績

トライアル雇用助成金

◆ 若年・女性建設労働者トライアルコース

職業経験の不足などから就職に不安のある若年者（35歳未満）や女性を対象として、試行雇用を行った場合に支給されるトライアル雇用助成金（一般・障害者トライアルコース）に上乗せ助成。

助成額	対象者1人あたり4万円/月（最大3か月）
-----	----------------------

人材確保等支援助成金

◆ 若年者及び女性に魅力ある職場づくり事業コース（建設分野）

魅力ある職場づくりにつながる取組や広域的な職業訓練の推進活動を実施した場合に助成。

助成区分	助成率等
経費助成	中小建設事業主：60% 中小建設事業主以外：45%
賃金助成	定着要件を満たした場合は上乗せ42万円

等（※1）

◆ 建設キャリアアップシステム等活用促進コース

建設キャリアアップシステム（CCUS）等を活用した雇用管理改善を目的技能者の賃金を5%以上増加

＜普及促進事業＞ 建設事業主団体が普及促進に向けた事業を実施（令和8年度限り）

事業名	助成区分	助成額・率等
雇用管理改善促進事業	経費助成	中小建設事業主：16万円/人年
普及促進事業	経費助成	中小建設事業主団体：66.7%
		中小建設事業主団体以外：50%

◆ 作業員宿舎等設置助成コース（建設分野）

建設現場の女性専用トイレ・更衣室を整備した場合や作業員宿舎等を確保（石川県）した場合に助成。

助成区分	助成率
経費助成	60%

等（※1）

人材開発支援助成金

◆ 建設労働者認定訓練コース

能開法による認定職業訓練または指導員訓練のうち、建設関連の訓練を実施した場合に助成。

助成区分	助成率・額	生産性向上助成（上乗せ支給）（※2）	賃金向上助成・資格等手当助成（上乗せ支給）
経費助成	16.7%	—	—
賃金助成	3,800円/人日	1,000円/人日	1,000円/人日

◆ 建設労働者技能実習コース

若年者等の育成と熟練技能の維持・向上を図るため、キャリアに応じた技能実習を実施した場合に助成。

助成区分	助成率・額等	生産性向上助成（上乗せ支給）（※2）	賃金向上助成・資格等手当助成（上乗せ支給）
経費助成	中小建設事業主（20人以下）：75%	15%	15%
	中小建設事業主（21人以上） 35歳未満：70%	15%	15%
	中小建設事業主（21人以上） 35歳以上：45%	15%	15%
	中小以外の建設事業主（女性労働者のみ支給対象）：60%	15%	15%
賃金助成	中小建設事業主（20人以下）： 9,500円/人日 （※3）	2,000円/人日	2,000円/人日
	中小建設事業主（21人以上）： 8,550円/人日 （※3）	1,750円/人日	1,750円/人日

※1 賃金向上助成の上乗せ支給も実施。

※2 令和4年度までの支給要領に基づき、当該コースの助成金を受給した建設事業主を対象とした経過措置。

※3 CCUS技能者情報登録者の場合は、賃金助成額（上乗せ支給分は除く）を1.1倍にして助成（令和8年度まで）。

○実施主体・スキーム：労働局（助成金の支給）→建設事業主等（助成対象の取組を実施）

○令和6年度支給実績（3助成金の合計）：6,272,576千円（135,994件）

建設業 雇用管理責任者に対する研修等の実施（建設労働者雇用支援事業）

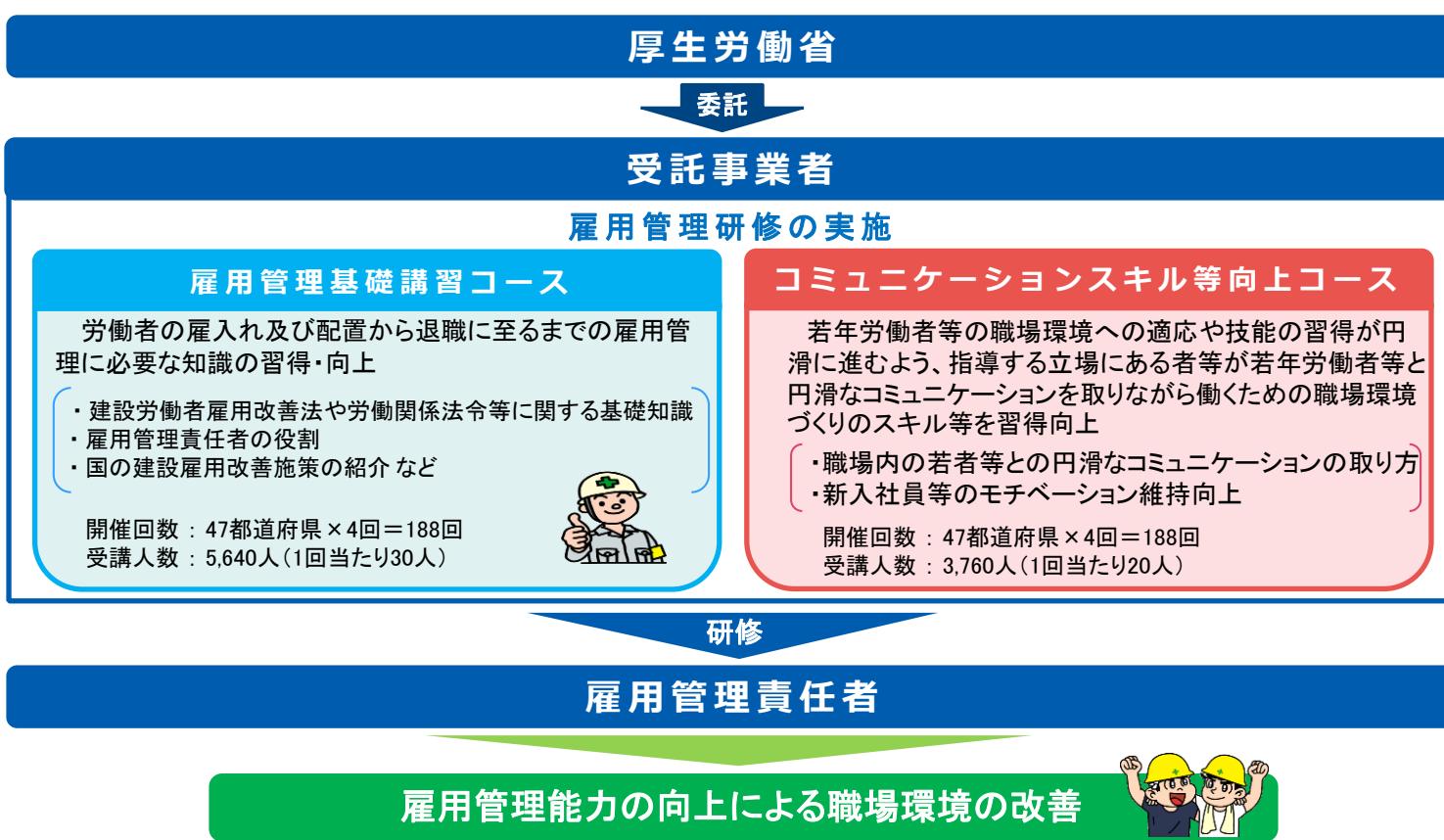
令和8年度当初予算案 101百万円 (82百万円) ※()内は前年度当初予算額

労働特会		子子特会	一般会計
労災	雇用	徴収	育休
<input checked="" type="radio"/>			

1 事業の目的

- 建設業はその産業特性に起因して雇用関係が不明確等の問題がみられるという実情に鑑み、建設労働者の雇用の改善等に関する法律第5条において、事業所ごとに雇用管理責任者の選任を義務づけ、適正な雇用管理を行うために必要な知識の習得及び向上を図るよう努めることを規定。
- しかし、零細な事業者が多い建設業においては、事業主自らが雇用管理の研修を行うことは難しいため、本事業では、国が雇用管理責任者を対象とした研修を行うことで、事業所における適正な雇用管理を行うために必要な知識の習得・向上の促進を目的とする。

2 事業の概要・スキーム



3 実施主体等

- 委託事業により実施
- R6事業実績
 - 雇用管理基礎講習コース
開催回数：196回
受講人数：6,031人
 - コミュニケーションスキル等向上コース
開催回数：95回
受講人数：612人
- KPI（事業目標）
 - 受講者数 7,000人以上
 - 研修終了時のアンケート調査で「役に立った」旨の評価を受ける割合 97%以上



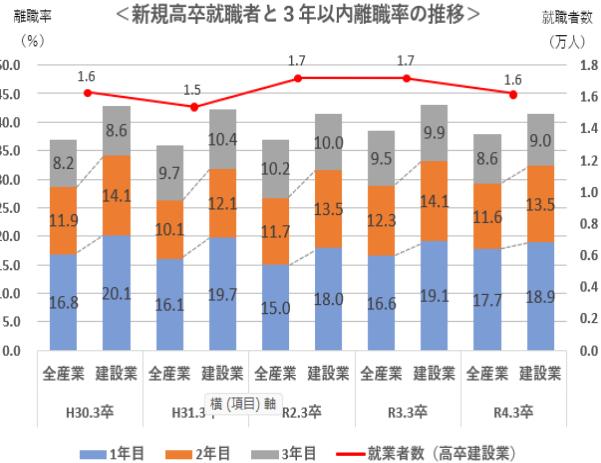
建設業若年者理解・定着促進事業（「つなぐ化」）の実施

令和8年度当初予算案 29百万円 (29百万円) ※()内は前年度当初予算額

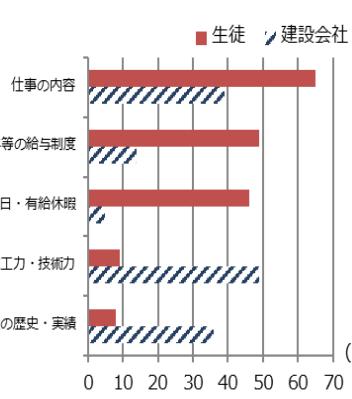
労働特会		子育特会	一般会計
労災	雇用	徴収	育休
	○		

1 事業の目的

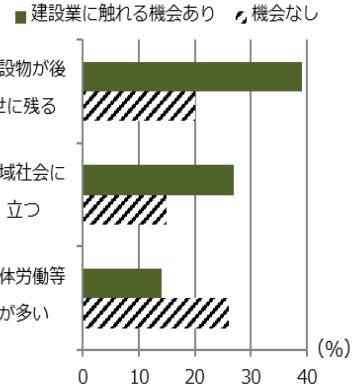
- 建設業においては、他産業と比べ高齢化が進行している中、新規高校卒就職者の就職後3年以内の離職率は常に全産業平均を上回っており、特に1～2年以内の離職率が高い。
- 離職の背景には、就職先を決定する過程において知りたい情報を十分に得られていないことが挙げられているため、本事業では、若年者と建設業界がつながる機会を提供することで、若年者の建設業に対する理解を深め、職場定着を促進することを目的とする。



＜生徒が重要・知りたいと思った情報と会社がアピールしたい情報＞



＜建設業に対するイメージ＞



＜国土交通政策研究所:「国土交通分野の将来見通しと人材戦略に関する調査研究」（一部抜粋）＞

2 事業の概要・スキーム

厚生労働省

委託

受託事業者

若年者の建設業に対する理解や定着促進を図るため、高等学校等の生徒・先生・保護者と建設業界（建設企業・団体）がつながる機会をつくるとともに、取組事例の周知広報を図る。【全国で141回実施】

出前授業



地域の建設企業・団体が、学校を訪問し、建設業の現状や魅力を紹介する取組

現場見学会



生徒や先生が、工事現場を見学し、建設業で働く人たちの就労環境を把握する取組

意見交換会



建設業の仕事やその魅力、実際の就労環境などについて意見交換を行う取組

高等学校等

生徒・先生・保護者

マッチング・機会提供

つながる機会の創出

建設企業・団体



若年者の建設業での定着促進

3 実施主体等

■ 委託事業により実施

■ R 6 事業実績（実施回数）

実施回数 151回

（内訳）

出前授業 71回

現場見学会 61回

意見交換会 16回

インターンシップ 15回

※一度の開催で複数事業実施する場合があるため、実施回数と内訳の合計数は異なる

■ KPI（事業目標）

- 実施回数 141回以上
- 生徒等に対する事業参加の前後のアンケート調査において、就職先として建設業に関心を持った人数の増加した割合 46%以上

令和8年度当初予算案 4.9億円 (4.9億円) ※()内は前年度当初予算額

労働特会		子子特会		一般会計
労災	雇用	徴収	育休	
	○			

1 事業の目的

- 建設業界の人手不足解消を支援するため、建設技能労働者の人材確保・育成を図ることを目的とする。

2 事業の概要

- 建設産業関係事業団体等に委託し、離転職者、新卒者、未就職卒業者等について、座学、実習等の訓練から就職支援までをパッケージとして事業を行う。【委託事業】

3 事業スキーム・実施主体等

技術的支援・協力

国(厚生労働省)

委託

建設産業関係事業団体等

全建・日建連等・大手ゼネコン各社等

- 事業内容
 - 訓練職種・コース選定、カリキュラム・教材開発、建設業への入職促進に係る周知広報
 - 訓練生募集、実習機関のコーディネート、訓練実施
 - ハローワーク・職種別団体と連携した就職支援(無料職業紹介)

- 対象職種 人材不足が顕著な建設技能職種(型枠工、鉄筋工、とび工の野丁場建設躯体職種及び電気・配管等の建設設備職種)

- 養成期間 1~6月程度(多能工養成は1年以内)

- 実施体制 中央拠点と複数の地方拠点を設置し実施

- 実習機関 富士教育訓練センター(静岡県)、三田建設技能研修センター(兵庫県)等を活用

- 規模 年間 400人

ハローワーク

新聞求人広告

高校等訪問開拓

訓練生
確保

訓練実施

- ・座学
- ・実習
- ・現場見学

ハローワーク及び
職種別団体と連携
した就職支援



建設業団体傘下企業等

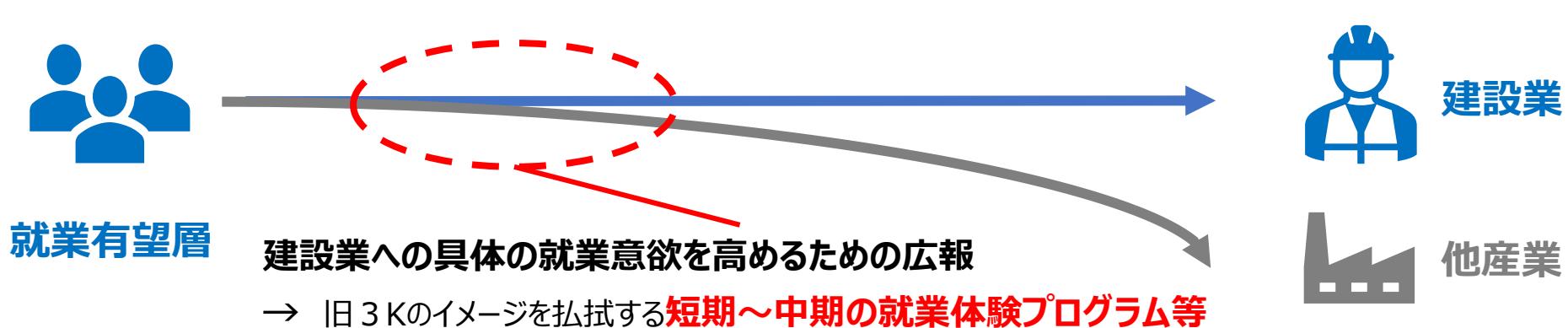
※全建…(一社)全国建設業協会(地方ゼネコン各社で構成)、日建連…(一社)日本建設業連合会(大手、準大手ゼネコン各社で構成)

- 建設業への更なる入職促進に向け、工業高校生等の就職有望層に対するPR手法の整理及び就業障壁の解消に向けた調査・検討を実施

概要・必要性

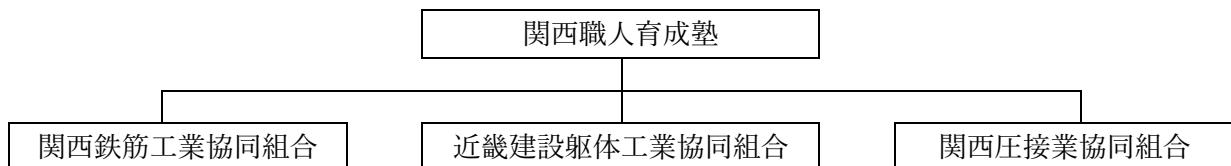
- 建設業においては、中長期的な担い手の確保が課題。
- いわゆる「旧3K（きつい、きたない、危険）」や「入職に技術を必要とする」イメージが入職の障壁。
- 建設業への更なる入職促進のためには、工業高校生等の「就業有望層」に対し、魅力のPRや入職への不安解消、技術習得のロードマップ提示等を戦略的に行う必要。
- これまで縁故採用を中心にしてきた地域の建設業界において、就業有望層に的確なPRを行うための知見の整理を行うことが必要。

- ✓ 就業層に応じた短～中期のプログラムとして、建設業への就業に必要な基礎的知識、就業体験、関心を深めた者に対する就労支援制度等の知見等を提供する。
- ✓ 就業有望層の各ターゲットごとの、①訴求する効果的なPR手法、プログラム内容、②抱える具体的な不安とその解決手法等を整理し、地域の建設業界が活用可能な知見として提供する。

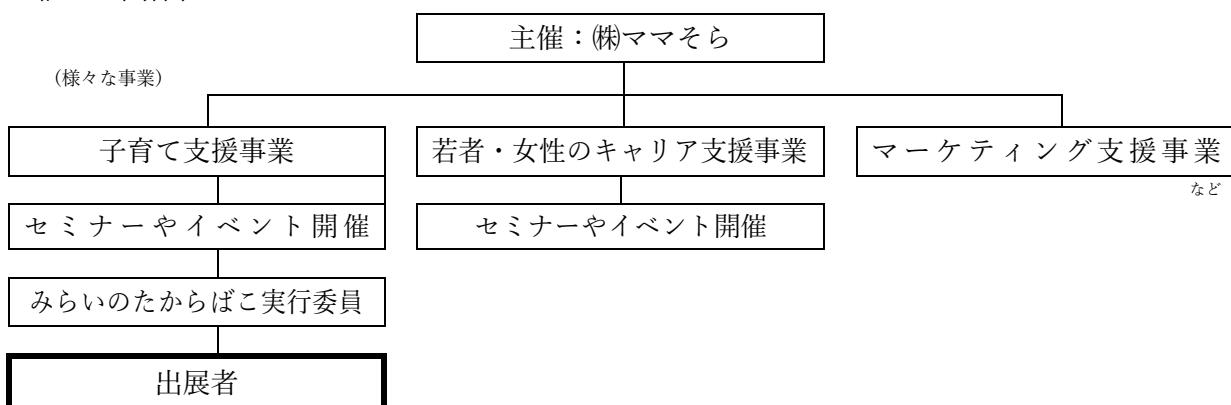


タスクフォース報告用資料
～「みらいのたからばこ」への出展～

● 関西職人育成塾について



● 主催との関係性



● 出展経緯と目的

関西鉄筋工業協同組合では 2010 年から現在まで継続して、工業系高校や専門学校・大学を対象に出前講座を行っており、モノづくりの重要性や担い手確保の目的だけでなく、職人の想いや建設業の現状や歴史なども伝える活動をしている。鉄筋工事の啓蒙活動にはなるが、生徒たちの進路はすでに決定しており、入職にはつながらないのが現状。そこで、高校生よりも若年層に向けた活動ができないか模索しているところ、このイベントに出会い、出展することを決定する。主に小学生とその保護者を対象にしており、体験した子供たちが就職を考える 10 年後を見据えた担い手確保事業と考える。現在、業界で取り組んでいる標準労務費の策定や新担い手 3 法などが、10 年後しっかり交通整理され、選ばれる業界となったとき、子供の頃に体験した楽しさを思い出し、入職へと進んでくれると期待をしている。

● 「みらいのたからばこ」出展実績

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
日程	2023/11/11,12	2024/6/29,30	2024/11/9,10	2025/4/5,6	2025/10/10,11	2025/11/29,30
場所	インテックス大阪	あべのキューズモール	インテックス大阪	あべのキューズモール	関西万博	インテックス大阪
出展費用	有	無	有	無	有	有
総来場者数	約1万7千人	約1500人	約1万7千人	約2500人	約2万4千人	約1万5千人
ブース来場者	約1,000人	約700人	約1,000人	約700人	約1,000人	約1,000人
ブース設営	家型鉄筋ブース	無	家型鉄筋ブース	無	鉄筋トンネル	家型鉄筋ブース
体験内容	結束体験	結束体験	結束体験	結束体験	結束体験	結束体験
	加工体験	加工体験	加工体験	加工体験	加工体験	加工体験
	なりきり体験	なりきり体験	なりきり体験	なりきり体験	なりきり体験	なりきり体験
	重さ当てクイズ	—	重さ当てクイズ	—	—	重さ当てクイズ
	VR圧接体験	—	VR圧接体験	—	—	VR圧接体験
配布物	パンフレット	パンフレット	パンフレット	絵本	絵本	パンフレット
	サコッシュ	見習い認定証	サコッシュ	見習い認定証	サコッシュ	サコッシュ
	お菓子	—	絵本	—	スタンプ	絵本
	—	—	見習い認定証	—	お菓子	見習い認定証
	—	—	お菓子	—	—	お菓子
鉄筋展示物	ゴジラ	—	トラ	—	—	ライオン
	キングギドラ	—	サイ	—	—	トリケラトプス
	牛	—	—	—	—	スピノサウルス
	—	—	—	—	—	ハシビロコウ

● ブース制作 写真

実物鉄筋による家型ブース



メイキング映像 QR コード



関西万博会場内にて鉄筋トンネル制作



メイキング映像 QR コード



● 体験内容

結束体験

専用の道具を使って鉄筋と鉄筋を結束する



加工体験	専用の道具を使って自分の力で、鉄筋曲げたり切ったりする
	 
職人なりきり体験	作業着、ヘルメット、ハーネスを着て本物の職人と写真撮影
	 
重さ当てクイズ	太さ 12 種類ある鉄筋と身近なものの重さを比べて当てるクイズ
	 
VR压接体験	VRを使って压接作業体験
	 

● 配布物

絵本	鉄筋工事を題材にした絵本(梅花女子大学との産学連携により製作)
サコッシュ	ノベルティとして製作
見習い認定証	体验した子供に配布し、名前を書いてもらう
	<p>認定証 みなら てっきんこう 見習い鉄筋工 名前: みくわ しょくへい あなたを鉄筋工として認定します。 関西鉄筋工業協同組合</p>

お菓子	つかみどりボックスを製作し、体験終了後に配布

- 鉄筋展示物

展示物	(株)成島鉄筋工業(静岡県)で製作されたものを展示 自由に乗って写真が撮れる	

関西鉄筋工業協同組合 来場者アンケートまとめ

出展コンテンツ:鉄筋職人(結束・切断・曲げ体験／VR体験)

1. ハイライト:「強面(こわもて)」の職人さんが、一番のヒーローだった

今回の出展で最も印象的だったのは、職人(スタッフ)の皆様に対する「ギャップ萌え」とも言える絶賛の声です。普段接することのない「職人さん」に対し、最初は緊張していたこどもたちが、その優しさとユーモアに触れて一気にファンになっていく様子が手に取るように分かります。

- ・「見た目が少し怖い職人の方にもとても優しく教えていただきました(笑)」
- ・「子どもについてくれたお兄さん方が非常に面白くて、楽しくできたようです。」
- ・「最後に駆け込んだ鉄筋職人ブースの担当者がとても親切な対応をしてくださいり、全く興味のなかつた鉄筋職人のファンになっていました。」

「人は見た目によらない(=職人は優しくてかっこいい)」という発見は、こどもたちの職業観を広げる大きな体験となりました。

2. 体験価値:家庭では絶対にできない「鉄を操る」驚き

鉄筋を切る、曲げる、結束(縛る)という作業は、日常では絶対に体験できない「非日常のアトラクション」でした。

- ・「鉄筋職人ブースの鉄筋を曲げたり切ったりする体験。そんな大掛かりなこと、家では絶対できません。」
- ・「鉄筋職人の重さ比べが想像以上に難しく、とても面白かったです。」

自分の力で硬い鉄が曲がる瞬間の感触や、その重みを体感することで、建物を支える仕事の「手ごたえ」をリアルに感じ取っていました。

3. まなび・気づき:鉄筋アートが変えた「素材」へのイメージ

展示されていた鉄筋アート(動物など)は、無骨な建築資材というイメージを覆し、こどもたちに「鉄筋の自由さ・面白さ」を伝えていました。

- ・「鉄筋職人の展示であった動物達。250kgあり乗ることもできる。鉄筋でこんな作品もできるのだと感動だった。」
- ・「鉄筋のハシビロコウがすごかった」

また、VR体験を通じて、普段は見えない「壁の中の仕事」を知ることで、建物への見方が変わったという学びの声も寄せられています。

- ・「親の私も、建物がどのように出来ているのか、初めて知ることばかりで、大変勉強になりました。」

4. 運営への評価:「予約なし」でも受け入れる懐の深さ

人気ブースでありながら、予約枠以外でも柔軟に対応しようとする姿勢が、多くの来場者を救い、満足度を高めていました。

- 「予約やったけど、臨時で券を配って体験できてすごく良かった！！」
- 「予約無しでも鉄筋職人をさせてもらえて、大人も体験できて楽しかったし、職人さんも優しかった。」

「せっかく来たんだからやっていきな」という職人さんの気概と優しさが、運営の端々から感じられました。

5. 総評

関西鉄筋工業協同組合様の出展は、日本の建設を支える「力強さ」と、こどもたちを楽しませようとする「サービス精神(エンタメ性)」が見事に融合した、非常に満足度の高いコンテンツでした。

VRやアートといった多彩な切り口で興味を引きつつ、最終的には「人(職人)」の魅力でこどもたちの心を掴んで離しませんでした。「鉄筋職人のファンになった」という言葉は、業界の未来にとって何よりの宝物です。

事務連絡
令和7年12月23日

各都道府県・指定都市教育委員会指導事務主管課
各都道府県私立学校主管課 御中
各国立大学法人附属学校事務主管課

文部科学省初等中等教育局
参事官（高等学校担当）付
産業教育振興室

建設業における若年者入職促進に関する取組の周知について（依頼）

平素より産業教育の振興に御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

この度、国土交通省より、高校生等の若年者の建設業に対する理解や入職促進を図ることを目的として現場見学会やインターンシップ等の取組をとりまとめたとのことで、別添のとおり周知依頼がありましたのでお知らせします。

については、都道府県教育委員会においては、域内の高等学校を設置する市町村教育委員会に対し、都道府県私立学校主管課においては、所轄の学校法人に対し、周知いただきますようお願いします。

なお、学校における働き方改革の観点から、高等学校への周知については、対象の学校を限定したり、他の案件とまとめた周知やクラウドを活用した文書の共有を行うなど、学校の事務負担軽減にご配慮いただくようお願いします。

また、本取組の御不明点等については、別添資料に記載の「連絡先」へお問い合わせいただきますようお願いします。

初等中等教育局参事官（高等学校担当）付
産業教育振興室産業教育係（田中、藤井、鴨谷）
TEL：03-5253-4111（内線 2384）

国不建振第184号
令和7年12月17日

文部科学省初等中等教育局
参事官（高等学校担当） 殿

国 土 交 通 省
不動産・建設経済局
建設振興課長
(公印省略)

建設業における若年者入職促進に関する取組の周知について（依頼）

平素より建設産業行政の推進に御協力いただき御礼申し上げます。

さて、建設業は、防災・減災対策や社会インフラの老朽化対策など、「地域の守り手」として大きな役割を担うとともに、地域の経済や雇用を支える我が国的重要な基幹産業の一つであることから、その担い手確保・育成のため、官民あげて建設業の処遇改善や働き方改革を進めているところです。

こうした中で、建設業者団体では、若い人に建設業に関心をもってもらうよう、現場見学会やインターンシップ等に取り組んでおり、昨年に引き続き、国土交通省、厚生労働省、文部科学省もメンバーとなっております、「建設産業人材確保・育成推進協議会」において、参加団体が取り組んでいる取組のうち、特に「学生向けの取組」について、とりまとめたところです（別添1①～③）。

つきましては、都道府県教育委員会、市区町村教育委員会並びに都道府県担当部局及びその管下の高等学校等に対して、同取組をご周知いただくとともに、現場見学会やインターンシップ等への積極的な参加を呼びかけていただきますよう、お取り計らいの程よろしくお願ひします。

また、別添1①～③の一覧表については、一般財団法人建設業振興基金のHP（お知らせ 2025.12.17）にも掲載しております。

<https://www.kensetsu-kikin.or.jp/news/470/>

なお、同基金HPにある建設産業のJobポータルサイト「建設現場へGO！」では、建設産業の担い手確保・育成に関する情報、イベント情報、地域の優良建設企業マップなどを掲載しております。

建設現場へGO！ <https://genba-go.jp/>

これらの情報も含め、周知いただけますと幸いです。

＜連絡先＞

国土交通省不動産・建設経済局建設振興課

専門工事業・建設関連業振興室業務係

岩船 iwafune-s8910@mlit.go.jp

水本 mizumoto-m26p@mlit.go.jp

Tel 03-5253-8111 (内線 24814、24844)

令和7年度 建設産業人材確保育成推進協議会 構成団体における担い手確保育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象							参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先	
				大学 (短 大) 生	専 門 学 校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者	教 諭					
(一社)北海道建設業協会	現場見学会	○建設業現場見学会 北海道内の高校生をはじめ、専門学校生、小中学校の児童生徒および保護者を対象とした建設工事現場の見学会を実施。	6~10月		○	○	○	○	○	○	約1,800名	北海道開発局 の各開発建設部等	https://www.doukenkyo.jp	011-261-6186	
	インターンシップ (職業体験学習)	○建設業現場実習(インターンシップ) 当協会の会員である地方協会が、高等学校と連携し、高校生を対象とした建設会社における現場実習を実施。	5~10月			○					約400名	無			
	出前講座・講習会	○「第一種酸素欠乏症に係る特別教育」講習会 当協会労務研究会の委員等が講師となり、高等学校(12校)と連携し、建設関連学科の高校生等を対象とした「第一種酸素欠乏症に係る特別教育」講習会を実施。	12~2月			○				○	約700名	無			
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○「建設業現場見学会報告書」の作成配付 道内の高校専門学校(303校)や関係機関等の他、現場見学会や「第一種酸素欠乏症に係る特別教育」講習会等の参加者に配付。	7~3月	○	○				○	○	~	無			
		○「建設業入門」改訂版の作成配付 建設業を分かり易く解説した冊子として、現場見学会や「第一種酸素欠乏症に係る特別教育」講習会等の参加者に配付。	7~3月	○	○				○	○	~	無			
		○「建設のしごとてなに?」改訂版の作成配付 小学生向けに建設業の役割や内容を開設した冊子として、現場見学会やイベント等の参加者に配付。	10~3月			○	○	○	○	○	~	無			
	資格取得支援	○建設関連学科の高校生の資格取得支援 当協会の会員である地方協会が、高校生を対象に建設関連の施工管理技士等資格取得の支援(土木建築電気造園の2級第一次検定受験費用助成等)を実施。	6~11月		○						約900名	北海道建設業 信用保証㈱			
	合同企業説明会														
	イベント開催・参加														
	産官学連携の協議会														
	教諭との意見交換会														
	その他	○北海道教育委員会による協力要請 新規高等学校卒業予定者の雇用促進やインターンシップ等の実施に係る協力要請への対応。	10月		○						教育委員会4名、当協会3名	無			
(一社)青森県建設業協会	現場見学会	○工業高校生による建設現場見学会 若年材として期待される高校生に建設現場への理解を深めてもらい、入職意識の高揚を図る。	10月		○						30名	無	http://www.aokenkyo.or.jp/	017-722-7611	
	インターンシップ (職業体験学習)	○インターンシップの受入 就職活動開始前の高校2年生を対象に企業の体験入職の実施。学校の依頼に基づき受け入れる。	9月		○						40名	無			
	出前講座・講習会														
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設技術者を紹介する冊子の配付 工業高校、工業大学へ建設技術者の人となりや一日の過ごし方を紹介した冊子を配付する。	7月	○	○						県内工業高校、建設系大学 800冊	東北建設業青年会			
	資格取得支援														
	合同企業説明会														
	イベント開催・参加	○建設業PRイベントの開催 小中学生を対象とした重機体験乗車、木工、板金などのづくり体験、ドローン操縦イベントを実施。	9月			○	○				2日間で参加者約1,000名	県、建築系団体			
	産官学連携の協議会														
	教諭との意見交換会														
	その他														
(一社)岩手県建設業協会	現場見学会	○工業系高校生、専門学校生、短大生による建設現場見学会の実施 専門分野を学ぶ高等学校等生徒が建設工事現場を見学および実習体験することにより、建設産業の社会的役割と貢献度および魅力を実感させ、躍動感溢れる建設産業に対する正しい認識を深め、建設産業界のイメージアップおよび若年建設従事者の入職促進に資する。	9~11月	○	○	○				○	340名	無	https://www.iwaken.or.jp/	019-653-6111	
		○現場見学会および建設産業に関するアンケートの実施	9~11月	○	○	○					340名	無			
	インターンシップ (職業体験学習)	○実施高等学校と管轄支部と連携を図り、建設現場の体験実習を行う。	6~9月		○						100名	無			
	出前講座・講習会	○建設業ふれあい事業 当協会の若手建設業従事者が中心となっている13支部の「青年部」が、岩手県内の小学校中学校等に於いて、出前授業で重機操作や測量体験を実施。建設業に対する興味を持って貰い、理解を深める事を目的としている。	4~11月			○	○	○	○	○	1,400名	無			
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○就職ガイドブックの作成 建設業の役割、企業の仕事内容、求人内容をまとめた資料を県内高校等に配付。	2月	○	○	○					100名	無			
		○パンフレットの配布 建設業の役割や仕事内容を広く知って貰うためのパンフレット作成。	6月~12月		○	○	○	○	○		3,000部の配布	無			
	資格取得支援	○受験準備講習会の開催 在校中の2級土木施工建築施工(第一次検定)受験者に対し講師を派遣し、合格者の確保を促す。	10~12月		○	○					300名~	無			
		○検定試験半額助成 2級土木建築造園、測量士、測量士補、技能系資格等の検定試験の受験率を高めるため、受験料の半額助成をし受験者PTAの負担を軽減する。	10~12月		○	○					300名~	無			
		○県内高校生を対象としてCADソフトの習熟度を高めるための講習会の実施 3DCADソフトを使ったBIM/CIM体験授業を開催し、就職後の積算技術やスキル向上に対応できる生徒を養成する。	5~11月		○						80名~	無			
	合同企業説明会														
	イベント開催・参加	○いわて建設業みらいフォーラム 社会基盤の復興や整備、日常の維持修繕を通じて、県民の安全で安心な暮らしに果たす建設業の役割や、その魅力を積極的に発信することで、建設業のイメージアップを図り、次世代を担う若者をはじめとして県民の建設業への理解や関心を高める。	11月	○	○	○					428名	有			
	産官学連携の協議会														
	教諭との意見交換会														
	その他														

令和7年度 建設産業人材確保育成推進協議会 構成団体における扱い手確保育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象						参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先
				大学 (短大)生	専門 学校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者				
(一社)宮城県建設業協会	現場見学会	○夏休み小学生と保護者の現場見学会 夏休み期間に小学生とその保護者を対象に普段立ち入ることの出来ない建設現場の見学や本年度は、高所作業車重機等の試乗体験、測量機器による宝探しゲーム、ドローン操作体験、AR(拡張現実)体験、ラジコン重機操作体験等を各現場で実施し、将来の選択肢の一つとして建設業に興味をもってもらうことを目的に開催。(夏休み7回実施)	7月23日～8月5日					○	○	7月23日 小学生 20名 保護者 16名 7月24日 小学生 24名 保護者 11名 7月25日 小学生 14名 保護者 13名 7月29日 小学生 21名 保護者 17名 7月30日 小学生 22名 保護者 18名 7月31日 小学生 21名 保護者 16名 8月5日 小学生 15名 保護者 13名	宮城県		
		○高校生を対象とした現場見学会 高校生を対象に会員企業の施工中の現場で、現場見学会を実施し、建設業に対する理解を深め入職促進へ繋げることを目的に開催。	7～10月		○				○	7月1日 大河原産業高校環境科学科3年生21名、教諭4名 10月14日 白石工業高校建築科2年生35名、引率教諭3名【予定】	無		
		○中学生を対象とした体験型現場見学会の実施 これまでの現場体験学習は、土木系の高校生や大学生を対象に実施していたが、建設業全体の扱い手不足を背景にまだ、進路の定まっていない中学生を対象に建設現場で行っている技術技能を体験してもらい、将来の選択肢の一つとして建設業に興味をもってもらうことを目的に実施する。	11月			○				11月5～7日 仙台市立仙台第一中学校2年生3名 11月5～7日 仙台市立八乙女中学校2年生3名 11月18～20日 仙台市立宮城野中学校2年生3名 【全て予定人数】	無		
	インターンシップ (職業体験学習)	○高校生のインターンシップ(職場体験学習、就労体験含) 就職活動開始前の高校2年生を対象に企業の体験入職を実施。	6～10月		○					7月8～10日 仙台工業高校土木科2学年13名 6月30～7月11日 気仙沼向洋高校機械技術科2年生7名 7月8～10日 仙台工業高校建築科2年生7名 9月2～4日 石巻工業高校土木システム科2年生34名 9月10～12日 古川工業高校土木情報科2年生30名 10月7～9日 小牛田農林高校農業技術科2年生40名【予定】	無	https://www.miyakenkyo.or.jp	022-262-2211
		○丸森中学校1年生を対象とした防災学習会 令和元年の東日本台風で被災した丸森町内の復旧復興の現状や地域防災、地域を守る支える地元建設業に対する興味関心を持ってもらうため初めて実施をした。内容としては、学校での河川砂防、道路の復興事業についての授業やバックホウドローンの操作体験、高所作業車の試乗体験、VRでの浸水体験等を行った。	9月10日		○			○	○	丸森中学校1年生70名	国土交通省東北地方整備局宮城南部復興事務所		
	出前講座・講習会	○就活ゼミ(出前講座) 技能労働者の若年入職者減少と高齢化により扱い手の確保育成が課題であるが、工業高校、大学の工業系学科の学生や先生方に建設業界に対する考え方を正しく理解してもらい、職業観勧めを養い、将来の進路選択の一助となること、また、東日本大震災での地域建設業の活躍、地域貢献活動等を伝えることにより、建設業界への就労人口を増やす目的に、国土交通省東北地方整備局と協働で平成25年度より実施。	5月21日		○				○	仙台工業高校土木科1年生40名	国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○協会PR誌の作成 地域建設産業が果たしている役割について、学生一般に正しく伝わるよう、PR誌を作成し広く配布するとともに、特に若年者が建設産業界に魅力を感じとれる内容として発刊。	8月	○	○	○	○	○	○		無		
		○リクルート冊子の作成 生産年齢人口が減少する中で、人材獲得競争が繰り広げられており、建設業における将来の扱い手確保は業界共通の大きな課題であることから処遇改善環境改善に向けた様々な施策が講じられている中で、就職を希望する学生等に県内建設業を選択肢とされるよう昨年度に引き続きリクルートガイドブックを作成し、県内高校や大学等を中心に広く広報活動を展開する。	1月	○	○	○	○		○		無		
		○河北新報(地方紙)朝刊への広告掲載 地域建設業の活動について広く一般に広報する企画「変革する地域建設業の未来」として、地元一般誌である河北新報に広告を掲載し、広報活動を実施する。	6～3月	○	○	○	○	○	○		無		
	資格取得支援	○建設業経理事務士特別研修 専門学校工業高校の生徒を対象に在学中に勉強する機会がなかった建設業経理事務士特別研修を実施することで、建設業に興味関心を持ってもらい、生徒の就職する際の選択肢として選定してもらうことを目的に実施する。	7～3月	○	○					仙台工科専門学校、仙台工業石巻工業古川工業白石工業高校土木科建築科合計約250名(予定含)	(一財)建設業振興基金		
	合同企業説明会	○令和7年度「高校2年生向け業界ナビゲーション～未来をデザインするヒントに～(合同企業説明会)」への講師派遣 高校2年生を対象に建設業界をはじめとする6業界(他、製造業、小売業、宿泊業、福祉業、運輸物流倉庫業)より各業界全体の説明やその業界や職種等について理解を深め、職業形成を図ることを目的に初めて開催することとなり、地域建設業の取組等について情報発信等を行う。	10月21日		○				○	ハローワーク仙台、塩釜、大河原管内(出張所含)の高校2年生400名	宮城労働局、ハローワーク仙台、大和、塩釜、大河原、白石、宮城県、仙台市		

令和7年度 建設産業人材確保育成推進協議会 構成団体における扱い手確保育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象						参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先	
				大学 (短 大) 生	専 門 学 校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者					
(一社)宮城県建設業協会	イベント開催・参加	○みやぎ元気まつり2025への出展 将来の扱い手となる小学生とその進路にあっては保護者の理解が必要不可欠である現状をとらえ、モノ作りの楽しさや正しい地域建設業の理解促進に向けた体験等の企画として、今回も仙台放送が主催の一般向けのイベントに参画し、「セメントでつくるメモクリップスタンド」と題してイベントを実施し、魅力発信を行つた。また、併せてワークショップのブース横では、ワークショップに参加できない幼児も含めた小学生低学年程の子どもたちを対象に建設重機ラジコン操作体験を実施。建設業に対して親しみやすいイメージをもってもらうことが狙い。	8月2、3日					○	○	ワークショップ両日約200名。ラジコン体験2日は約300名、3日は、約350名	無	https://www.miakenyo.or.jp	022-262-2211	
		○けんせつカップへの協賛(宮城県建設業協会名亘支部主催)名亘支部が主催となり建設カップとしてサッカー大会を開催し、協会本部としてもイベントへ協賛を行い、サッカー大会開催のほか、扱い手確保育成を図るためにグラウンド横の敷地に建設重機等の試乗体験等コーナーを設けて建設業の魅力発信のための啓蒙活動を実施。 【実施イベント内容】 ○重機操作シミュレーション ○建機ラジコン操作による景品くじ ○高所作業車パックホウ試乗体験 など	9月15日					○	○	サッカークラブ10チーム他一般あわせて300名参加	無			
		○令和7年度みやぎ建設ふれあいまつり 将来の扱い手として期待される小中学校とその保護者等各階層をターゲットに、3K等のネガティブなイメージを刷新し、業界の魅力を広く発信するためのイベントを展開し、扱い手確保育成を図るための効果的なPRイベントを行うという試みで、宮城県や当協会も含めた建設4団体が主催となり開催する。	11月3日			○	○	○		未実施	宮城県他、建設4団体			
		○みやぎ建設架け橋サロン 現在、建設産業は、建設就業者の高齢化と若手技術者技能者の減少などの扱い手不足といった課題が深刻化していることから、将来の扱い手として期待される県内工業高校の生徒に対し、建設業の若手技術技能者が建設産業の魅力ややりがい、労働環境などを伝える機会を醸成し、建設産業への就労促進を図る目的に、令和4年度より宮城県が主催となり実施する。	12~3月		○				○	大河原産業高校環境科学科、石巻工業高校土木システム科、白石工業高校建築科設備工学科、迫櫻高校総合学科工学部、古川工業高校土木情報科、小牛田農林高校農業技術科、黒川高校環境技術科、貞山高校普通昼間部合計約300名が参加予定	宮城県土木部			
	産官学連携の協議会	○令和7年度みやぎ教育応援団 地域建設業の理解促進活動として実施、また、小学生等に対して出前講座を通じ、地域の教育活動を支える「みやぎ教育応援団」のマッチング会議に参加し、各教育機関の担当者と意見交換を実施した。	資料提供のみ						○	宮城県内の小中学校教諭等	宮城県教育庁			
	教諭との意見交換会													
	その他													
(一社)秋田県建設業協会	現場見学会	○高校生を対象とした現場見学会【(一社)秋田県建設業協会】 施工中の現場の見学会を行い、実際に働いている技術者および技能者の仕事を見てもうら。	6~11月		○				○	1校30名程度で170名程度	無	https://akenkyo.or.jp/	018-823-5495	
		○鹿角管内小学生を対象とした現場見学会職業体験【(一社)鹿角建設業協会】 鹿角レミコンでコンクリートの出荷を見学後、協会敷地内でテトラポッド作り測量パックホードローンの操作体験。	8月					○	○	花輪小学校1年生1名、2年生1名 十和田小学校1年生1名、3年生2名、4年生1名 大湯小学校4年生2名 尾去沢小学校2年生1名5年生1名 柴平小学校3年生1名	振興局建設部			
		○高校生を対象とした現場見学会【(一社)北秋田建設業協会】 管内3高校を対象として、地元事業者が施工している建設現場を見学。	5~10月		○				○	大館鳳鳴高校定時制課程1年25名、教員3名 大館桂桜高校 参加人数未定 秋田北鷹高校 参加人数未定	県北秋田地域振興局建設部			
		○女性エンジニア「わかば」と行く！現場見学会【(一社)北秋田建設業協会】 建設業への理解促進と入職促進を目的とし、女子小中学生とその保護者を対象とした体験型現場見学会。	7月			○	○	○		管内小中学生 13組27名	県北秋田地域振興局建設部			
		○建設ICT現場見学会【(一社)能代山本建設業協会】 進路選択を控えた高校生に最新の建設技術に触れてもらうとともに、建設業の仕事内容や魅力を伝えることにより、「やりがい」を体感してもらう。	5、7月		○				○	秋田県立能代科学技術高校 工業科1年生51名 秋田県立能代高校 ニッセイキャンパス2年生 28名	山本地域振興局建設部			
		○現場見学会【(一社)能代山本建設業協会】 中学生に建設現場の見学や建設機械ドローンの操縦体験等をしてもらうとともに、建設業の魅力を伝えてPRする。	9月			○			○	能代市立能代第二中学校1年生 89名	山本地域振興局建設部			
		○現場見学会【(一社)能代山本建設業協会】 中学生に建設現場の見学をしてもらうとともに、建設業の魅力を伝えてPRする。	9月			○			○	能代市立能代東中学校2年生 27名	山本地域振興局建設部			
		○高校生を対象とした現場見学会【(一社)秋田中央建設業協会】 施工中の現場の見学会を行い、実際に働いている技能者の仕事を見てもうら。	9月		○					男鹿工業高等学校1年17名 金足農業高等学校1年32名 秋田工業高等学校土木科1年35名 秋田工業高等学校建築科2年35名	県地域振興局建設部			
		○高校生を対象とした現場見学体験会【(一社)由利建設業協会】 施工中の現場の見学会を行い、重機操作を体験。	10月		○				○	由利工業高校建築科2年生 31名 西目高校土木科1・2年生 30名	県由利地域振興局			
		○中学生を対象とした現場見学体験会【(一社)由利建設業協会】 施工中の現場の見学会を行い、重機操作を体験。	10月			○			○	金浦中学校2年生50名	県由利地域振興局			
		○高校生を対象とした現場見学会【(一社)秋田県仙北建設業協会】 施工中のICT現場の見学会を行い、実際に働いている重機や技能者の仕事を見てもうら。	9月		○				○	大曲工業高校1・2年生50名	県仙北地域振興局建設部			
		○小学生を対象としたダム見学会【(一社)秋田県仙北建設業協会】 地元小学生を対象に、地域のインフラ整備の役割と魅力を知つもらうことを目的に開催。	9月				○		○	中仙小学校32名	県仙北地域振興局建設部			
		○女性エンジニアSAKURAと行く現場体験体験会【(一社)平鹿建設業協会】 実際に稼働している現場を数ヶ所回り、ドローンの操作体験や重機乗車体験当を実施。	7月		○	○	○	○	○	45名	県建設部			

令和7年度 建設産業人材確保育成推進協議会 構成団体における担い手確保育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象						参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先	
				大学 (短 大) 生	専 門 学 校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者					
(一社)秋田県建設業協会	インターンシップ (職業体験学習)	○高校生のインターンシップ【(一社)秋田中央建設業協会】 就職活動開始前の高校2年生を対象に企業の体験入職を実施。	9月			○					秋田工業高等学校土木科2年18名 秋田工業高等学校建築科2年35名	無		
		○高校生のインターンシップ【(一社)由利建設業協会】 就職活動開始前の高校2年生を対象に企業の体験入職の実施。	9月			○					西目高校土木科2年生13名	無		
	出前講座・講習会	○小坂中学校への出前講座【(一社)鹿角建設業協会】 女性技術者による講話、テラポッド作りドローンVRによる重機操作体験。	7月			○					小坂中学校2年生27名	振興局建設部		
		○鹿角高校への出前講座【(一社)鹿角建設業協会】 女性技術者による講話、VRによる重機操作体験バックホードローン操作体験。	9月			○					鹿角高校2年生110名	振興局建設部		
		○建設出前講座【(一社)北秋田建設業協会】 建設業への理解促進を目的とし、小中学生を対象とした体験学習。	10月			○	○		○	○	長木小学校 参加人数未定	県北秋田地域振興局建設部		
		○建設企業による高校生向け出前説明会【(一社)能代山本建設業協会】 仕事内容や建設産業の魅力を直接生徒に伝えることによって、新規高校卒業者およびUターン者などの建設産業への入職を促進する。	12月			○			○	○	秋田県立能代科学技術高校建設科 1年生11名、2年生11名	県建設部建設政策課		
		○キャリア教育授業【(一社)能代山本建設業協会】 建設業で働く女性技術者が、現在の仕事内容のほか、職業選択の理由や地元で働くきっかけ等を話すことで、中学生の地域の仕事に対する理解を深めてもらう。	10月			○			○	○	能代市立能代東中学校1年生	主催:能代市ほか(予定) 当会は講師として参加		
		○高校生への出前説明会【(一社)秋田中央建設業協会】 県と共同で建設産業も魅力を伝えるため、各企業の取り組みや企業情報を説明。	12月			○					金足農業高等学校2年33名	県建設部		
		○高校生への出前説明会【(一社)秋田中央建設業協会】 県と共同で建設産業も魅力を伝えるため、各企業の取り組みや企業情報を説明。	11月			○					秋田工業高等学校土木科2年35名	県建設部		
		○高校生への出前説明会【(一社)秋田中央建設業協会】 県と共同で建設産業も魅力を伝えるため、各企業の取り組みや企業情報を説明。	12月			○					秋田工業高等学校建築科2年35名	県建設部		
		○高校への出前講座【(一社)由利建設業協会】 座学および模型を使った体験。	2月			○				○	西目高校土木科1・2年生30名 由利工業高校建築科2年生31名	県由利地域振興局		
		○小学生向け出前企業説明会【(一社)平鹿建設業協会】 市内14小学校を3グループに分け3つの学校を会場として各1社参加し企業説明会を実施。						○			554名	県総務企画部		
		○中学生向け出前企業説明会【(一社)平鹿建設業協会】 横手市内全6中学校で各1社参加し企業説明会を実施。					○				100名	県総務企画部		
		○高校出前講座【(一社)雄勝建設業協会】 湯沢翔北高校雄勝校で建設業における人材確保の必要性や建設業の業種職種、資格の重要性などを紹介した。	6月			○				○	湯沢翔北高校雄勝校全校生徒36名	湯沢翔北高校雄勝校		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設産業ガイドブックの工業高校への贈呈【(一社)秋田県建設業協会】 建設産業ガイドブックを工業高校(10校11科)へ贈呈。	4月			○				○	10校11科550名	無		
		○秋田県建設企業ガイドブックWEB版の発行【(一社)秋田県建設業協会】 特に高校生(2年生)や保護者等に県内建設企業の特徴や労働環境を広く知つてもらい県内企業への就職につなげる。内容は建設業の企業データや仕事の内容をまとめたWEBによりいつでも閲覧可能とする予定。	10月	○	○	○			○	○	200社程度掲載	主催:県建設部		
		○管内企業と中学生のふれあいPR事業【(一社)由利建設業協会】 建設業協会女子会による中学生への魅力発信	7、11月				○			○	由利本荘市内中学2年生500名 にかほ市内中学2年生150名	県由利地域振興局		
		○建設業界ガイドブックの工業高校への贈呈【(一社)秋田県仙北建設業協会】 当協会が制作した建設業ガイドブックを地元工業高校へ贈呈	3月			○					大曲工業高校1・2年生50名	無		
		○建設産業の魅力を伝えるテレビCM放映【(一社)秋田県仙北建設業協会】 幅広い年齢層に対し、TVコンテンツを利用したCM放送を通じて、建設業界への理解と雇用促進につながる効果を期待して放映。	10~3月	○	○	○	○	○	○	○	不特定多数	無		
		○建設産業の魅力に関するYouTube動画の配信【(一社)秋田県仙北建設業協会】 主に高校生等の若年者、その保護者、教諭を対象に建設業界への入職促進に資する動画を制作し、ホームページを通じてYouTubeにて配信。	4~3月	○	○	○	○	○	○	○	不特定多数	無		
		○「FMゆーとひあ」を活用した建設情報の発信【(一社)雄勝建設業協会】 「未来を築く君たちへ」という番組で朝約30分間、シーズン20回放送している。協会会員企業の新入社員、若手職員、女性社員が建設業のあれこれや就職動機などを気軽に話す内容となっている。	7~2月	○	○	○	○	○	○	○	不特定多数	無		
		○協会女性部である「はなこまち」による情報発信【(一社)雄勝建設業協会】 協会が行っている活動全てをFacebookとInstagramを使って情報発信している。	4~3月	○	○	○	○	○	○	○	不特定多数	無		
		○ハローワークへ「建設業コーナー」の設置【(一社)雄勝建設業協会】 ハローワーク湯沢の玄関口に「建設業コーナー」を設け、会員各社の若手職員の現場活動写真をパネルにして展示している。ほかにも小型建設機械およびドローンを展示している。さらに、当協会のFM放送の音源流して来所者に聞いてもらっている。	7~3月	○	○	○			○	○	不特定多数	ハローワーク湯沢		

<https://akenkyo.or.jp/>
018-823-5495

令和7年度 建設産業人材確保育成推進協議会 構成団体における扱い手確保育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象						参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先	
				大学 (短 大) 生	専 門 学 校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者					
(一社)秋田県建設業協会	資格取得支援	○高校生の資格取得支援【(一社)北秋田建設業協会】 地元建設系高校生を対象として、2級土木建築施工管理技士受験対策テキストを提供。	6月			○					大館桂桜高校 土木17名 建築18名	無		
		○建築施工管理技士 試験対策【(一社)秋田中央建設業協会】 建築施工管理技士受験に向けたテキストおよび問題集の寄付。	8月			○					秋田工業建築科	無		
		○施工管理技士試験対策テキスト贈呈【(一社)由利建設業協会】 2級土木施工管理技士1次試験対策テキスト贈呈。 2級建築施工管理技士1次試験対策テキスト贈呈。	6月			○					西目高校土木科3年生13名 由利工業高校建築科2年生31名	無		
		○2級土木施工管理学科試験対策講座【(一社)平鹿建設業協会】 横手清陵学院高校へテキストの贈呈と講師を派遣し対策講座を行う。	10月			○					16名	無		
		○2級土木施工管理学科試験テキスト一式無料プレゼント【(一社)平鹿建設業協会】 普通高校向けに実施。	6月			○					1校	無		
	合同企業説明会	○地元高校生を対象とした企業説明会の開催【(一社)秋田県仙北建設業協会】 会員企業の扱い手確保を図るため、地元高校生を対象に企業説明会を開催。	11、12月			○				○	大曲工業高校1・2年生 50名 大曲農業高校1・2年生 25~30名	県仙北地域振興局 建設部		
		○合同企業説明会への参加【(一社)秋田県仙北建設業協会】 管内会員企業の扱い手確保を図るため、高校2年生を対象にハローワーク主催の合同企業説明会にブース出展。	2月			○				○	管内の高校2年生 延べ200名程度参加	無		
		○建設企業出前説明会【(一社)北秋田建設業協会】 地元建設系高校生を対象として、会員企業数社が各校に出向き、仕事内容ややりがいについてプレゼン。	2月			○					大館桂桜高校 参加人数未定 秋田北鷹高校 参加人数未定	県北秋田地域振興局建設部		
	イベント開催・参加	○けんせつ未来フェスタ【(一社)秋田県建設業協会】 小中学生高校生とその保護者等に対して、建設業界の魅力を発信するためのPRイベントを開催。	10月		○	○	○	○			1,000名程度	主催:県建設部		
		○ワクワクドキドキけんせつ体験【(一社)北秋田建設業協会】 園児や小中学生とその保護者等に対して、建設業界の魅力を発信するためのPRイベントを開催。	9月			○	○	○			不特定 約700名	県北秋田地域振興局建設部		
		○のしろ子どもまつり【(一社)能代山本建設業協会】 地域イベントへ建設機械の展示等で参加し、小学生以下の子供たちへ建設業をPRするとともに、同伴する保護者に対しても建設業への理解を深めてもらう。	5月					○	○		地域の子供と家族	主催:のしろ子どもまつり 実行委員会 当会はボランティア参加		
		○建JOB祭2025【(一社)能代山本建設業協会】 扱い手確保の課題解決へ向け、建設業について広く情報発信するとともに、建設機械の体験等を通じて建設業について理解を深めてもらう。	9月	○	○	○	○	○	○	○	全年齢対象 参加者206名	無 主催:能代山本アテナ(当会女性部会)、建設業能代山本建北会(当会若手経営者の会)	https://a-kenkyo.or.jp/	018-823-5495
		○子吉川フェア【(一社)由利建設業協会】 小学生や未就学児童とその保護者等に対して、建設業界の魅力発信のため重機操作ドローン操作体験。	7月					○	○	○	不特定多数	県由利地域振興局		
		○建設未来フェスタ【(一社)由利建設業協会】 小学生や未就学児童とその保護者等に対して、建設業界の魅力発信のため重機操作体験。	10月					○	○	○	不特定多数	秋田県建設部		
		○建設重機体験学習会【(一社)秋田県仙北建設業協会】 地元の保育園児とその保護者等に対して、建設産業の魅力を発信するためのPRイベントを開催。	6月					○	○		地元保育園児とその保護者 53名	県仙北地域振興局 建設部		
		○AKT夏まつりへの参加 (企業ブース出展)【(一社)秋田県仙北建設業協会】 秋田市中心市街地での地元テレビ局主催のイベントにおいて、お子さん連れの来場者に対し、建設産業の魅力を発信するためのPRブースを出展。	7月	○	○	○	○	○	○	○	イベント来場者2日間で延べ4万人	無		
		○建設業体験フェスタ2025【(一社)雄勝建設業協会】 湯沢翔北高校雄勝校を会場に、県南地区の高校生を対象とした「体験して知る建設業の魅力」をテーマに4日間のフェスタを開催。 小型建設機械取得講習2日間・専門工種体験6工種2日間。	7月			○					県南高校4校 25名	無		
	産官学連携の協議会	○秋田県建設産業人材確保育成事業推進委員会【(一社)秋田県建設業協会】 行政機関(労働建設)教育機関学識経験者建設関係団体等が出席の意見交換会に参加し、建設業の魅力や役割について生徒にどのように指導するか、就職についてなどの情報共有を行う予定。	2月							○	15人	無		
	教諭との意見交換会	○工業高校教諭との意見交換会【(一社)秋田県建設業協会】 工業高校の教諭を集めて意見交換会を開催し、建設業の魅力や役割について生徒にどのように指導するか、就職についてなどの情報共有を行った。	6月							○	工業高校10校11科教諭	無		
		○体験フェスタおよび雄勝校コース授業の意見交換【(一社)雄勝建設業協会】 建設業体験フェスタへの参加校進路指導教諭と建設関係のコース授業を行っている湯沢翔北高校雄勝校の教諭と課題と今後についての意見交換会を開催する。	1月							○	協会会員12名、高校教諭5名、協力企業7名	無		

令和7年度 建設産業人材確保育成推進協議会 構成団体における担い手確保育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象						参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先	
				大学 (短 大) 生	専 門 学 校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者	教 諭				
(一社)秋田県建設業協会	その他	○中学生ふるさと企業ナビ【(一社)能代山本建設業協会】 県と能代山本管内の教育委員会および市町が共催する、管内中学生を対象とした企業業種説明会へ参加し、建設業の仕事内容や魅力を伝える。	9月(中止)				○			○	能代山本管内の中学生 約400名	主催:県、管 内教育委員 会、市町 当会は参加者	https://a-kenkyo.or.jp/	018-823-5495
		○高校体験入学会【(一社)由利建設業協会】 西目高校土木科への入学を検討している中学生に重機操作体験。	7月				○				市内中学3年生 15名	無		
		○授業中!学校を工事する建設女子と高校生【(一社)平鹿建設業協会】 横手清陵学院高校の生徒と女性部SAKURAが協力し、学校敷地内を補修工事する施工体験事業を実施。	9月			○					16名	無		
		○翔北高校雄勝校「測量コース」で技術指導【(一社)雄勝建設業協会】 教諭の基本学習に加え、実技講習を当協会が担当し、測量技術の指導を行っている。講習の成果として測量協議会を開催している。	5~2月			○					雄勝校2年生8名	湯沢翔北高校 雄勝校		
		○翔北高校雄勝校「土木施工コース」で技術指導【(一社)雄勝建設業協会】 2年次に測量コースで学んだ学生に、教諭が土木全般の基本学習を行い、当協会は現場見学による体験学習や土木一般の講義を担当し、建設業への理解を深めてもらっている。	5~11月			○					雄勝校3年生8名	湯沢翔北高校 雄勝校		
		○翔北高校雄勝校の学校祭「勝校祭」にブース出展【(一社)雄勝建設業協会】 日頃授業で付き合っていることから、雄勝校の文化祭である「勝校祭」に「建設業協会ブース」を設けて、授業やフェスタでの生徒の様子を紹介し、保護者や住民の方に建設業を広く紹介している。	10月	○	○	○	○	○	○	○	不特定多数	湯沢翔北高校 雄勝校		
(一社)山形県建設業協会	現場見学会	○高校生と短大生を対象とした現場見学会 建設系学科を有する高校生および産業技術短期大学校の学生を対象に現場見学および現場説明等を実施した。	6~9月	○	○						県内建設系学科高校生短大生 200名	無	https://www.agc-y.or.jp/	023-641-0328
		○けんせつ女子ツアーカフェ 建設業での女性の活躍を推進するため、協会女性部会と建設業に興味を持つ女子高校生等が参加し、現場見学会と意見交換会を実施した。	8月			○					女性部会20名 県内女子高校生等9名	県土整備部		
		○中学生を対象とした建設ツアーリー(保護者同伴) 将来の職業など進路を選択するうえで大切な時期である中学生に対し建設業の姿をアピールし、建設業に興味を持ってもらうため建設現場を周るツアーリーを実施した。	10月				○		○		県内中学生保護者37名	県土整備部補助		
		○高校生を対象とした現場実習(インターンシップ) 建設業で働くことへの理解と入職を促進するため、会員企業の協力を得て実施。	6~9月			○					県内建設系学科高校生 150名	無		
	出前講座・講習会	○中学生のための出前講座 協会が制作した中学生向け動画コンテンツの視聴と、最新の建設機械を体験する出前講座を実施。	10月				○			○	荻野学園 7年生~9年生 118名	県土整備部補助		
		○中学生保護者先生向けマンガ小冊子 県内の中学生、その保護者と教員の皆様方に建設業の魅力を発信し進路の選択肢として考えてもらうため、中学生向けマンガ小冊子を作成配布した。					○		○	○	-	無		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○中学生向け動画コンテンツ 中学生等に対し建設業の興味を持ってもらうため、建設業の魅力を効果的に伝える動画を作成し、Youtubeにアップした。					○		○	○	-	県土整備部補助		
		○高校生および県産業技術短期大学校を対象とした小型車両系建設機械運転特別教育 建設産業への入職促進を図るため、高校生および短大生を対象として実施した。	7~8月	○	○						県内建設系学科高校等 120名	建災防山形県 支部		
	資格取得支援	○												
	合同企業説明会	○												
	イベント開催・参加	○建設フェアの開催 地域の建設業に対するイメージアップと幼稚小中学生の認知度向上と興味促進を図るため、重機の展示、ドローンの体験コーナー等を設けて、県内3地区で実施した。	6~11月			○	○	○			県内3地区 1,500名	県土整備部補助		
	産官学連携の協議会	○												
	教諭との意見交換会	○												
	その他	○												
(一社)福島県建設業協会	現場見学会	○高校生等を対象とした建設現場見学会 施工中の現場を見学し、建設業の役割や建設業界で働く人への魅力、職業意識を高めることを目的に開催。	6~11月	○	○						建設関係学科を有する高等学 校14校 1年生~3年生および 郡山女子大学校2~4年生 426名	共催:各学 校、後援:福 島県	http://www.e-fukuken.or.jp/	024-521-0244
	インターンシップ (職業体験学習)	○高校生の現場実習 地元建設企業での職場体験、建設現場体験を行うことで、建設業への理解を深める。	6~11月			○					建設関係学科を有する12校 356名	後援:福島県		
		○中学生の職場体験 各中学校において、建設業を希望している生徒に対して職場体験を実施。 ※各中学校にて実施したため、参加人数や受け入れ会員企業は不明	5~7月				○				希望する中学生	主催:各中学校		
	出前講座・講習会	○												

令和7年度 建設産業人材確保育成推進協議会 構成団体における扱い手確保育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象						参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先	
				大学 (短 大) 生	専 門 学 校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者					
(一社)福島県建設業協会	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設業界ガイドブックの贈呈 建設関係学科を有する高等学校へ建設業界ガイドブックを進呈。	4月	○	○						建設関係学科を有する高等学校14校及び県内女子大学1校	無	http://www.e-fukuken.or.jp 024-521-0244	
		○SNSを活用した広報 インスタグラムやYouTube、ポータルサイト等を活用した広報を実施し、若年者への建設業の理解を深める。	通年	○	○	○	○	○	○	○	-	無		
		○キャラクターを活用した広報	通年	○	○	○	○	○	○	○	-	無		
		○道の駅を活用した広報事業 建設業に対する県民の理解促進および扱い手の確保のため、県内3ヶ所の道の駅(ふくしま猪苗代いわきらミュウ)において、建設業のPR動画の放映、パンフレットの配布、重機玩具や絵本コーナーを設置する。 ※いわきらミュウについては、今後実施予定。	6~3月	○	○	○	○	○	○	○	-	共催:福島県 後援:国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所、郡山国道事務所、磐城国道事務所(予定)、福島市、猪苗代町、いわき市(予定)、(一社)全国建設業協会、(一社)東北建設業協会連合会、(公財)建設業福祉共済団、(一財)建設業振興基金、東日本建設業保証㈱、㈱クリエイティーブラボ		
	資格取得支援	○若年者資格取得支援に伴うバス借上げ支援 資格試験(2級施工管理技士等)会場までの交通費支援(バス代高速代支援)の実施	6、10月			○					建設関係学科を有する高等学校9校240名	無		
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加	○ふくしまけんせつフェア2025 建設業について、幅広い世代の方々に知っていただくことを目的として、日本大学工学部において重機試乗体験や測量体験、建設系の高校大学によるワークショップなどを通じて、建設業の魅力を発信した。	8月	○	○	○	○	○	○	○	約4,000名	共催:日本大学工学部、福島県 後援:郡山市、郡山市教育委員会、福島市教育委員会、国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所、同郡山事務所、東日本高速道路㈱、東北支社郡山管理事務所、(一社)全国建設業協会、(一社)東北建設業協会連合会、(公財)建設業福祉共済団、(一財)建設業振興基金、(一社)日本建設機械施工協会東北支部、東日本建設業保証㈱福島支店、㈱福島中央テレビ		
		○生徒との座談会 建設業への理解促進および就職希望者の不安解消のための実施。	12~2月			○					建設関係学科を有する高等学校6校156名	後援:福島県		
	産官学連携の協議会													
	教諭との意見交換会													
	その他	○建設関係学科卒業生の進路状況調査について 建設関係学科を有する高校及び大学を対象に進路状況調査を実施。アンケート結果を建設関係団体へ配布。	2月	○	○						建設関係学科を有する高等学校14校および郡山女子大学	無		
(一社)茨城県建設業協会	現場見学会	○建設現場見学会 実際に施工中の建設現場を見学する。	9~11月	○	○	○					約700名	無	http://www.ibaken.or.jp 029-221-5126	
		○建設業親子見学会 小学生とその保護者がセットで参加。親子で楽しみながら建設業を見て体験する。	11月					○	○		80名	無		
		○橋の点検チャレンジ、現場見学会 小中学生とその保護者を対象に女性部「建女ひばり会」が中心となって実施。	8月				○	○	○		40名	土木技術者女性の会、他		
		○教員を対象とした見学会 学校の教員等を対象に実施。	10~12月							○	10名	無		
	インターンシップ(職業体験学習)	○職業体験建設業インターンシップ 高校生、専門学校生等を対象に実施。	6~10月	○	○	○					約300名	無		
	出前講座・講習会	○出前授業 各学校へ出向き、建設業に関する講話を実施。	4~3月	○	○	○	○	○			約500名	無		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○「いばらき建設業 就職応援サイト」の広報活動 会員企業の求人情報やインターンシップ受入れ情報、企業情報などを掲載するWEBサイト。	4~3月	○	○	○			○	○	-	無		
		○建設企業ガイドブックの作成 会員企業の企業情報や先輩社員などを掲載する冊子。	1~2月	○	○	○			○	○	-	無		
		○建設業界PR動画の作成 YouTubeにて建設業の魅力に関する動画を発信。	4~3月								-	無		

令和7年度 建設産業人材確保育成推進協議会 構成団体における担い手確保育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象							参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先
				大学 (短 大) 生	専 門 学 校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者	教 諭				
(一社)茨城県建設業協会	資格取得支援	○資格取得講習会の実施 2級土木施工管理技術検定第一次検定の受験対策講習会。	9~11月			○						工業高校土木科40名	無	http://www.ibaken.or.jp 029-221-5126
		○資格取得講習会の実施 2級建築施工管理技術検定第一次検定の受験対策講習会。	9~11月			○						工業高校建築科40名	無	
	合同企業説明会	○建設業合同企業説明会の開催 高校生、専門学校生、大学生等が対象。	2~3月	○	○	○						約200名	無	
	イベント開催・参加	○建設フェスタ 建設関係約50団体が参加実施するイベント。	10月				○	○	○			約15,000名	実行委員会	
		○建設業体験会 重機試乗体験高所作業車乗車体験など。	12月				○	○	○			約700名	無	
		○木造倉庫新築体験学習 中学校の校舎内に木造倉庫を新築する際、生徒が実際に製作体験する。	10~12月				○					約100名	CCI	
		○「建設現場を描いた図画コンクール」の開催 小中学生を対象に建設現場を描いた図画作品の募集表彰作品展示会等を実施。	7~12月				○	○				-	無	
		○いばらき「建設フォトコンテスト」の開催 建設業に関する写真の募集表彰作品展示会等を実施。	7~12月									-	無	
	産官学連携の協議会	○若年者に魅力ある職場づくり事業推進委員会 担い手確保育成に関する事業について議論。	6~3月							○		国県など約10名	無	
	教諭との意見交換会	○教員との意見交換会 建設系学校に訪問し、先生と直接、意見交換をし、建設業の魅力や役割について生徒にどのような指導するか、就職についてなどを情報共有。	4~3月							○		約10名	無	
	その他	○高等学校建設関連学科卒業生 進路状況調査 建設系関連学科設置校を対象に実施。	2~3月			○						高校 建設関連学科 3年生 約200名	無	
(一社)栃木県建設業協会	現場見学会	○高校生を対象とした現場見学会の実施【宇都宮支部】 地元の工業高校生を対象に、地元企業が施工した建築物を見学し、建設業に対する理解を深め入職促進へ繋げる。(板戸大橋下部工、カンセキスタジアムとちぎ、ユウケイ武道館)	2月			○				○		宇都宮工業高校 環境土木科 40名 建築デザイン科 40名	無	https://www.tochiken.or.jp/ 028-639-2611
		○高校1年生を対象とした現場見学会(実施予定)【日光支部】	12月			○				○		24名	無	
		○高校生を対象とした現場見学会【芳賀支部】 地元の工業高校1年生を対象に、現場見学会を実施し、建設業に対する理解を深め入職促進へ繋げる。	10月			○				○		真岡工業高校33名、教諭2名	無	
		○高校生を対象とした現場見学会【下都賀支部】 施工中の現場4箇所の見学会を行い、実際に働いている技能者の仕事を見てもうら。	11月			○				○		小山北桜高校1年生34名 栃木農業高校2年生38名	無	
		○黒磯那須BP工事現場見学会【那須支部】 現場見学を通して建設業の仕事内容の理解を深め、建設分野に対する興味関心を高め進路意識と職業意識の高揚を目的とする。	4月			○				○		那須清峰高校建設工学科3年生 35名	栃木県大田原土木事務所	
	インターンシップ (職業体験学習)	○高校生インターンシップの実施【宇都宮支部】 就職活動開始前の高校2年生を対象に企業の体験入職を実施。	10月			○						宇都宮工業高校 2年生 30名 今市工業高校 2年生 1名 宇都宮白楊高校 2年生 13名	無	
		○高校生インターンシップの実施【鹿沼支部】 就職活動開始前の高校2年生を対象に、企業の体験入職を実施。	10~11月			○						宇都宮工業高校2年生 33名 今市工業高校2年生 3名 小山北桜高校2年生 2名 宇都宮白楊高校2年生 9名 真岡工業高校2年生 1名	無	
		○高校生のインターンシップ(実施予定)【日光支部】 就職活動開始前の高校2年生を対象に企業の体験入職を実施。	10月			○					12名		無	
		○高校生のインターンシップ【芳賀支部】 就職活動開始前の高校2年生を対象に企業の体験入職を実施。	10~11月			○						真岡工業高校2年生 32名 宇都宮工業高校2年生 4名	無	
		○高校生のインターンシップ【下都賀支部】 就職活動開始前の高校生を対象に企業の体験入職を実施。	10月			○						宇都宮工業高校2年生 17名 小山北桜高校2年生 17名 宇都宮白楊高校2年生 3名 栃木農業高校2年生 14名	無	
		○高校生のインターンシップ【塩谷支部】 就職活動開始前の高校2年生を対象に企業の体験入職の実施。	10月			○						宇都宮工業高校2年生 2名 宇都宮白楊高校2年生 1名 那須清峰高校2年生 1名 馬頭高校2年生 1名	無	
		○高校生のインターンシップ【那須支部】 那須清峰高等学校2年生を対象に、建設現場や企業体験を通じ就業意識高揚、進路選択の参考とする機会を提供する。	9月			○				○		那須清峰高校建設工学科、電気情報科2年生 46名	無	
		○高校生のインターンシップ【那須支部】 宇都宮白楊高等学校2年生を対象に、建設現場や企業体験を通じ就業意識高揚、進路選択の参考の機会を提供する。	10月			○				○		宇都宮白楊高等学校農業工学科2年生 1名	無	
		○高校生のインターンシップ【烏山支部】 就職活動開始前の高校2年生を対象に企業の体験入職を実施。	11月			○					2名		無	
		○高校生のインターンシップ【安蘇支部】 就職活動開始前の高校2年生を対象に企業の体験入職を実施。	10月			○						-	無	
		○高校生のインターンシップ【足利支部】 就職活動開始前の高校2年生を対象に企業の体験入職を実施。	10月			○						足利大学附属高等学校 20名	無	

令和7年度 建設産業人材確保育成推進協議会 構成団体における扱い手確保育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象							参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先
				大学 (短大)生	専門 学校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者	教 諭				
(一社)栃木県建設業協会	出前講座・講習会	○高校生を対象とした出前講座の実施【宇都宮支部】 現場見学終了後、若手監督員と工業高校生徒との座談会を開催し、監督員の仕事について理解を深める。	2月			○				○	宇都宮工業高校 環境土木科 40名 建築デザイン科 40名	無		
		○総合学習支援活動の実施【鹿沼支部】 内容検討中(建設業の役割や魅力を伝える)	2月			○					未定	無		
		○仕事説明会への講師派遣【芳賀支部】 建設会社の社員が高校に出向き、建設業の様々な仕事の内容について説明し今後の進路に役立てもらう。	9月		○			○			真岡工業高校1年生33名、保護者16名	無		
		○扱い手育成事業への講師派遣【芳賀支部】 土木建築の体験学習の授業に指導者を派遣し、実践的な知識や技術技能の触れながら、自ら作業を行い工事を完成させる。	9~10月		○						真岡工業高校3年生22名	無		
		○小学校への出前講座【塙谷支部】 建設業の仕事に理解を深める体験学習。	12月				○				小学生140名	無		
		○建設業仕事説明会【那須支部】 那須清峰高等学校1年生を対象に地元建設会社社員を学校に講師として派遣し、建設業(土木舗装建築)の仕事内容を説明。2年進級時の学科内コース選択の参考とする。	9月		○						那須清峰高校建設工学科1年生40名	無		
		○建設業仕事説明会【那須支部】 那須清峰高等学校2年生を対象に、説明会場内ブースで地元建設会社から各社における各工種の仕事内容や実績など社員から直接生徒に説明し、就職活動の具体的な参考としてももらう。	2月		○						那須清峰高校建設工学科2年生40名	無		
		○防災講習会【那須支部】 県市警察消防および建設業の各団体における災害時の各役割を児童に紹介する中で、建設業関連の関わりを知ってもらうと共に、建設機械ドローンに触れる機会を通じて将来の扱い手確保に繋げる。	10月					○		○	大田原市立金丸小学校児童1~6年生76名	栃木県大田原土木事務所、大田原市、大田原警察署、那須地区消防組合		
		○総合学習支援活動の実施【烏山支部】 建設機械の搭乗やドローン操作紙芝居などを通し、建設業の役割や魅力を伝えた。	11月					○			27名	測量設計会社		
		○総合学習支援活動の実施【安蘇支部】 小学生を対象に、紙芝居、ドローンの操作、建設機械の搭乗体験などの実施およびPRグッズの配布。	11月					○			吾妻小学校 1~6年生 59名	栃木県安足土木事務所		
広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○パンフレット「地域を創り地域を守る」の製作配布【本部】 扱い手確保に向け業界の魅力発信、紹介のパンフレットを作成。県内高校出身者の様子など掲載し、インターネットにて配布。	9月		○					○	-		無		
		○除雪カードの制作配布【日光支部】 除雪隊出動式や各種イベント開催時に配布。	11月							-		-		
	資格取得支援	○高校生経理事務士(3~4級)特別研修【本部】 工業高校の生徒を対象に建設業経理事務士特別研修を実施。			○				○	県内工業高校生 約122名	(一財)建設業振興基金			
イベント開催・参加	合同企業説明会	○合同企業等説明会【本部】 建設人材不足対策の一環として、建設業に关心を持つ県内の高校生等に対して、建設業界の魅力を発信、若年労働者等の人材確保を図ることを目的として企画。時間制で各企業ブースで説明を実施。過年度は当会員企業が毎年約65社ブース出展していたが、今年度は、国、県、大学もブース出展初参加する予定。また、高校生だけでなく、大学生も参加予定。	3月	○	○				○	○	昨年実績企業65社255名(高校生教諭)	とちぎ建設業魅力向上委員会		
		○宇国サマーフェス【本部】 主に親子が参加するイベントにおいて「進化する建設業」の体験ブースを出展。	8月		○	○	○	○			来場者:約400名	宇都宮国道事務所 とちぎ建設業魅力向上委員会		
	イベント開催・参加	○建FESGO !【本部】 小学生やその保護者が「3つの楽しい(乗って触れて楽しい学べて楽しい見て楽しい)」をコンセプトとした体験型事業を通じて、建設業のイメージアップや興味を醸成するイベント。	10月		○	○	○	○	○		来場者:約2,500名	宇都宮国道事務所 とちぎ建設業魅力向上委員会		
		○みやJOY 2025 けんちく博【宇都宮支部】 小中学生を対象に体験型プログラムを通じて建築を楽しく学んでもらう。専門学校生・大学生を対象に設計課題の展示ブース設置、体験型プログラムの運営に協力してもらい、自身の設計の場を表現する機会を提供する。	3月	○	○	○	○	○	○		3,000名	(一社)栃木県建築士会		
		○除雪隊出動式(実施予定)【日光支部】 冬期の円滑な道路交通の確保に必要不可欠な除雪業務の開始にあたり、除雪作業の安全確保と関係者の士気高揚を図るために、毎年除雪隊出動式を開催し、日光小学校に通う児童の皆様に身近な生活を守ってくれている除雪機械について知っていただくため、除雪機械の説明や見学を実施。	11月					○		○	27名	日光建設業協同組合		
		○重機搭乗体験【日光支部】 未就学児~中学生を対象に「はたらく車に乗ってみよう!!乗車体験会」と題し建設業の仕事内容や滑車の仕組みを学び、重機操作を体験。	8月				○	○	○	○	100名	無		
		○とちぎ子どもの未来創造大学【芳賀支部】 あなたも今日から現場監督~ドローン、重機を使って道づくりに挑戦~と題し、体験機会を提供	10月				○	○			小4~中2 8名	栃木県教育委員会		
		○建FES GO !【塙谷支部】 子供たちに仕事の体験を通して建設業の楽しさや働くことの素晴らしさを感じてもらう建設業職業体験イベント。	10月						○		-	栃木県建設業協会青年経営者連合会 社会貢献推進委員会		
		○とちぎ子どもの未来創造大学【那須支部】 地域の小学生中学生を対象に建設機械(ICT)ドローンコンクールミニ製品作りの体験を通して建設業の理解を深め、将来の扱い手確保に繋げる。	8月				○	○	○		30名	栃木県教育委員会		
		○建FESGO !【足利支部】 小中学生とその保護者等に対して、建設業界の魅力を発信するためのPRイベントを開催。	10月				○	○	○		-	無		
		○わたらせフェスティバルin足利【足利支部】 建設業の魅力や社会的意義を知って頂く、重機展示や職業体験イベントを実施予定。	11月		○	○	○	○	○		-	わたらせリバーブラザ、株アクティオ		

令和7年度 建設産業人材確保育成推進協議会 構成団体における担い手確保育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象						参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先		
				大学 (短 大) 生	専 門 学 校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者	教 諭					
(一社)栃木県建設業協会	産官学連携の協議会	○とちぎ建設業魅力向上連絡協議会【本部】 「産学官」が一体となって連携し栃木県内の建設業の魅力を発信することとなった。	5、10月							○	県内国立私立大学教授、県監理課、国土交通省関東整備局、工業他高校教諭 約20名	宇都宮国道事務所 とちぎ建設業 魅力向上委員会	https://www.tochiken.or.jp/	028-639-2611	
		○インターフィップ推進協議会【本部】 県教育委員会県労働局県監理課工業他高校教諭等が出席。 意見交換会し、建設業の魅力や役割について生徒にどのように指導するかまた、今後のインターフィップの実施方法、就職についてなどの情報共有を行った。	1、6月							○	県教育委員会県労働局県監理課、工業他高校教諭 約33名	栃木県高等学 校長会工業部 会			
	教諭との意見交換会														
	その他														
(一社)群馬県建設業協会	現場見学会	○県内建設系高校2年生を対象とした現場見学会 産学官連携会議事業の一環として県立建設系高校の2年生を対象とし、群馬県発注の土木現場を中心に現場見学会を実施。	8月～年内		○					○	200名程度	群馬県	https://www.gunken.or.jp/	TEL:027-252-1666 E-Mail:info@gunken.or.jp	
	インターンシップ (職業体験学習)	○県内建設系高校を対象としたインターンシップ 協会各支部と各地域の建設系高校・建設系学科を有する大学・高専において、インターンシップを実施。	5月～年内	○	○						約300名程度	無			
	出前講座・講習会														
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設業イメージアップカレンダーの作成 業界のイメージアップを目的としたカレンダーを3,000部作成し、県民の建設業への理解と関心を喚起するとともに、会員企業へ働き方改革の取組を促進する。 作成したカレンダーは県内各地域の学校や公共施設に配布しイメージアップに務める。	7月～年内	○	○	○	○	○	○	○	-	群馬県建設事 業協同組合			
		○マスコットキャラクター「ぐんけんくん」の活用 当協会マスコットキャラクター「ぐんけんくん」を活用し協会イベントや地域行事への参加、グッズの作成利用した活動。	通年	○	○	○	○	○	○	○	-	無			
	資格取得支援														
	合同企業説明会														
	イベント開催・参加														
	産官学連携の協議会	○産学官連携会議 官(群馬県国土整備部群馬県教育委員会建設業技術センター)民(建設業協会測量設計業協会)学(県内建設系高校7校)で組織し、建設業への入職促進に向けた取組を行う。	通年							○	-	-			
	教諭との意見交換会	○県内建設系高校との懇談会 県立の県内建設系学科を有する学校8校の教諭と当協会の総務企画委員会において、情報交換および意見交換を実施。	3月							○	(学校) 8名 (協会)15名	無			
	その他														
(一社)埼玉県建設業協会	現場見学会	○高校生の建設現場見学会 建設系学科の高校生に、最先端の技術や専門分野に係る知識などに触れ、建設産業の魅力を肌で感じ取ってもらうことにより、建設産業に対する理解や関心を高め、入職を促進する。	11～2月			○					いずみ高校 2年生 35名 川越工業高校 1年生 40名 熊谷工業高校 2年生 37名 1年生 37名 秩父農工科学高校 2年生 18名 大宮工業高校 1年生 79名	無 (見学候補地 は埼玉県県土 整備部都市整 備部企業局下 水道局および 会員企業に提 供を依頼)	https://skk.or.jp/index.htm	048-861-5111	
		○県立高校生はたらく魅力実感講座 ～建設業の世界を知ろう～ 建設系学科以外の高校生や保護者に「建設業で働くこと」の魅力について理解を深めてもらい、就職先候補のひとつとして心に留めてもらう。座学(3講座)+現場見学を実施。	8月			○			○	○	滑川総合高校 1年生 17名 2年生 12名 3年生 3名 保護者 2名 教諭 2名	県教育局 ※協力(国土 交通省関東地 方整備局荒川 調節池工事事 務所)			
	インターンシップ (職業体験学習)														
	出前講座・講習会	○出前講座 建設業の第一線で活躍している建設業者などが講師となって出前講座を実施し、専門知識の習得意欲や職業意識の向上を図る。 講座内容は「建設業の仕組みと魅力」「鉄筋の組立(結束)」「治山工事について」など。	6～2月			○					いずみ高校 2年生 35名 春日部工業高校 1年生 80名 川越工業高校 1年生 40名 熊谷工業高校 2年生 37名 秩父農工科学高校 3年生 33名	無	https://skk.or.jp/index.htm	048-861-5111	
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)														
	資格取得支援	○小型車両系建設機械運転特別教育支援 建設現場で必要となる小型車両系建設機械運転の資格取得を促進するため、特別教育の受講費用を助成する。	11～1月			○					いずみ高校 2年生 35名 大宮工業高校 2年生 41名 春日部工業高校 2年生 21名 熊谷工業高校 2年生 75名	無			
	合同企業説明会														
	イベント開催・参加														
	産官学連携の協議会	○若年建設従事者入職促進協議会 行政、県教育局、工業高校校長会長を交え、若年労働者の入職促進について意見交換を行う。	7月							○	県教育局 1名 校長 1名	無			
	教諭との意見交換会														
	その他														

令和7年度 建設産業人材確保育成推進協議会 構成団体における担い手確保育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象						参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先
				大学 (短大) 生	専 門 学 校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者				
(一社)千葉県建設業協会	現場見学会	○高校生「建設現場見学会」 千葉県内の工業高校等で現場見学会を行い、実際に働く技能者の方などを間近に見ることで、若手入職者促進へ繋げる。	5月			○				○	千葉県立市川工業高等学校 3年生28名 教諭2名	無	https://www.chikenkyo.or.jp/ 043-246-7624
	インターンシップ (職業体験学習)												
	出前講座・講習会	○建設機械体験学習会 小中学生に建設機械に実際に触れてもらい、建設業に興味を持つもらう。	11、12月			○	○			-		共催:千葉県 魅力ある建設 事業推進協議 会(CCIちば)	
		○CCIちば出張授業 県内の小中学生に対し建設業のイメージアップを図り、入職促進へ繋げる。	10~12月			○	○			-		共催:千葉県 魅力ある建設 事業推進協議 会(CCIちば)	
	広報活動(メディア、 DVD、冊子の活用)	○千葉県マイクラフトコンテスト2025 若い世代に向けて建設業の魅力を伝える。また、コンテスト優秀作品表彰として千葉県建設業協会長表彰を設けている。	12月			○	○			-		主催:千葉県	
		○カンドゥー出展 仕事体験型テーマパーク「カンドゥー」に当協会から出展し、建設業の魅力をPR。	4月~			○	○	○		-		無	
		○建設業界ガイドブックの工業高校への贈呈 建設業界ガイドブックを工業高校へ贈呈	6月			○				-		無	
	資格取得支援												
	合同企業説明会	○工業高等学校での特別授業 新規卒業者対し、就職説明を目的とした特別授業。	12月			○					千葉県立東総工業高等学校2年生30名	無	
	イベント開催・参加	○STAY STREET 小中学生とその保護者等に対し、建設業の魅力を伝え入職促進を図る。	11月			○	○	○		-		主催:国道357号におけるにぎわい創出に向けた利活用に関する協議会	
	産官学連携の協議会												
	教諭との意見交換会	○県内工業高等学校3校の教諭との意見交換会 就職状況や地元建設会社への就職について3校の建設科主任教諭と意見交換を行い、入職促進を図る。	6月							○	京葉工業高等学校・市川工業高等学校・東総工業高等学校	無	
	その他	○女性エンジニアとの座談会 女子大学生対し、建設業の魅力を伝え入職促進を図る。	11月	○							千葉工業大学学生12名	千葉県魅力ある建設事業推進協議会(CCIちば)	
(一社)東京建設業協会	現場見学会	○都内建設系高校生向け現場見学会の実施 施工中の現場の見学会を行い、実際に働いている技術者技能者の仕事を見てもう。また質疑応答の時間を設け、実際の仕事に対するイメージを膨らませ若年層の入職促進につなげる。	6~2月			○					5/19都立葛西工科高等学校 建築科3年生45名 7/15都立葛西工科高等学校 建築科1年生56名 11/7都立田無工科高等学校 建築科1年生53名	無	https://www.token.or.jp/index.html jinzai@token.or.jp
		○中小会員企業対象現場見学会交流会の実施 特に採用活動に苦しんでいると見受けられる中小企業会員を支援するため、中小会員を対象とした学生向け現場見学×交流会「みんなの建設業★まるごと体感DAY」を開催。(年間3~4回予定)	8、2月	○	○	○				-		無	
	インターンシップ (職業体験学習)												
	広報活動(メディア、 DVD、冊子の活用)												
		○学生向け建設業魅力発見パンフレット「ビルドALL」の配布 建設業のやりがいや魅力を伝え、業界への入職促進に繋がるよう、学生向けの建設業魅力発見パンフレット「ビルドALL(令和5年度発行)」を改訂、配布する。	通年	○	○	○				-		無	
		○YouTube動画の配信 若年層や女性の建設業界への雇用を促進するため、学生の就職活動を応援するメッセージを込めたWEB動画をYouTubeにて配信する。	通年	○	○	○	○	○	○	○	-	公益財団法人建設業福祉共済団	
		○就活支援サイト「みんなの建設業就活ナビ」の運営 会員各社の採用関連情報を掲載する他、新入社員インタビューや就活体験アンケート結果等を掲載するサイト「みんなの建設業就活ナビ」を運営する。	通年	○	○	○				-		無	
		○小学生向け魅力アップパンフレット「建設業なぜなにブック」の配布 建設業の将来の担い手となる小中学生に、社会資本整備の必要性やものづくりのすばらしさ、建設業の魅力を知ってもらうため冊子「建設業なぜなにブック」を配布する。	通年					○	○	-		無	
	資格取得支援	○「土木建築 2級 第一次検定 工科高等学校出前講座」の実施 建設業への就職の動機付けを高めるため、2級施工管理技術検定の受験者を対象に対策講座を実施する。	通年								(4月)都立田無工科高等学校 建築科2年生20名、3年生11名 (7月)都立墨田工科高等学校 2年生15名 (7月)都立総合工科高等学校 建築類型2年生6名、3年生4名 (10月)都立田無工科高等学校 都市工学科3年生25名 (10月)都立田無工科高等学校 建築科2年生12名、3年生7名	東京土木施工管理技士会	
						○							
	合同企業説明会	○中小会員企業向け合同企業説明会の実施 中小企業会員を対象とした合同企業説明会「みんなの建設業★まるごと体感DAY(合同企業説明会)」を開催(令和8年2月に対面にて実施予定)	2月	○	○						約3,000名	無	
	イベント開催・参加	○親子向けインフラツーリズムの開催 インフラ施設の役割や必要性、施設の建設整備に携わる建設業への理解を促すため、小学生の親子を対象とした「親子向けインフラツーリズム」を開催する。	8月					○	○		親子50名	無	
		○都内建設系高校対象作品コンペティションの開催 都内建設系学科で学ぶ生徒に対し、日頃勉強している成果を発表する場として「東京都建設系高校生作品コンペティション」を提供し、一般の方や中学生等に建設業に対し理解と関心をもつてもらうことで、建設業界への若年者の入職を促進する。	12月	○	○	○	○	○	○	○	一般都民8,500名 (見込み)	東京都建設局	

令和7年度 建設産業人材確保育成推進協議会 構成団体における扱い手確保育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象						参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先	
				大学 (短 大) 生	専 門 学 校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者					
(一社)東京建設業協会	産官学連携の協議会												https://www.token.or.jp/index.html	jinzai@token.or.jp
	教諭との意見交換会	○「東京建設教育連絡協議会」の設置 建設系高校の教諭を集めた協議会を開催し、現場見学会や体験実習、作品コンペティションについて情報共有および意見交換を行う。	6、9、11月							○	委員12名	無		
	その他													
(一社)神奈川県建設業協会	現場見学会	○工業高校生を対象とした現場見学会 実際の工事現場を肌で感じ、建設業への理解を深めることを目的に実施(学校単位で実施)。受入企業の情報提供、貸切バス、交通費の助成。	5月~		○						実施済延べ4校 164名	無	http://www.shinken.or.jp/	045-201-8451
	インターンシップ (職業体験学習)	○インターンシップ インターンシップ受け入れを検討する会員企業情報をJob'Bookという企業紹介デジタルブックと統合、受け入れ企業の一覧をまとめ、工業高校および大学専門学校へ情報提供(アクセスツールとしてQRコードを記載したノートを配布)。	4月~	○	○	○						無		
	出前講座・講習会	○工業高校を対象とした出前講座 県内工業高校へ出向き、講師役(学校と同エリアの企業を中心)の当会会員企業社員が体験授業などを実施。建設業の社会的役割重要性を理解してもらうとともに実際に建機などに触れ、より身近に地元建設業に興味を持ってもらう。	6~12月		○						実施済み1校、 予定4校	無		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○会員企業の会社PR誌の作成(かながわJob'sBook) 500社中、105社を掲載(募集形式)企業紹介デジタルブックにまとめた。アクセス促進ツールとしてQRを載せたノートを作成。主な配布先は県内の工業高校、建設科のある大学専門学校、各地の建設フェスタでの配布。	6月	○	○	○	○		○	○	8,000冊作成	無		
	資格取得支援													
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加													
	産官学連携の協議会													
	教諭との意見交換会	○大学専門学校および工業高校(建設工芸専門部)との情報交換会 1部を大学専門学校、2部を工業高校と分けて学生の進路動向や協会の支援事業について意見交換をする。	7月							○	大学専門:8名 高校:8名 延べ44名	-		
	その他													
(一社)山梨県建設業協会	現場見学会	○高校生等の現場見学会 施工中の現場の見学会を行い、実際に働いている技能者の仕事を見てもう。	通年		○						実施中	無	https://www.y-kenkyo.or.jp/	055-235-4421
	インターンシップ (職業体験学習)	○建設労働体験セミナー 建設課程高校生教師等を対象に建設現場実習を実施する。	7~10月		○						実施中	無		
	出前講座・講習会	○中学校および建設課程高校へのICT等体験会 ICTを活用した建設工事の現場において建設課程高校生が施工等の様子を生で見たり触れたりすることで最新機器への理解を促進し、建設業への入職意識を醸成する。	9~3月		○	○					実施中	山梨県より受託		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設業界ガイドブックの工業高校への贈呈 建設業界ガイドブックを工業高校へ贈呈する。	都度		○						建設課程高校 2年生約200名	-		
	資格取得支援	○2級施工管理検定試験会場へのバスの配車 受験会場までの送迎バスの配車等資格取得の援助する。	10、11月		○						150名	無		
		○高校生等に対する建設関連図書の配布	5月		○						257冊	無		
	合同企業説明会	○建設業合同企業説明会 建設業に特化した企業説明会を建設学科生徒を対象に実施した。	7月		○						建設課程高校生約160名	無		
	イベント開催・参加	○建設まつり 小中学生高校生とその保護者等に対して、建設業界の魅力を発信するためのPRイベントを開催した。	10月		○	○	○	○			約4,000名	無		
	産官学連携の協議会	○建設産業扱い手確保育成学官連携会議 山梨県国土整備部が主催の会議に参加し、建設業の魅力や役割について生徒にどのように指導するか、就職についてなどの情報共有を行う。	10月							○	22名	無		
	教諭との意見交換会	○建設課程学校長および主任教師との意見交換会 学校関係者と建設業協会との実施事業に係る意見交換会の開催する。	3月							○	-	無		
	その他													
(一社)新潟県建設業協会	現場見学会	○小学生の現場見学会 日々の安全安心な生活に必要不可欠な道路や河川など、社会資本整備を通じ、実は身近な建設業への関心を高めてもらう。	9~11月				○				新潟市内小学校23校 939名	国県新潟市北陸地域づくり協会	https://www.shinkenkyo.jp/	025-285-7111
		○高校生の現場見学会 建設工事現場の見学を通して、建設業の仕事について興味関心をもつてもう。	9月~10月		○							建設系高等学校3校 116名	県	
	インターンシップ (職業体験学習)	○インターンシップデュアルシステム 建設産業について理解を深めてもらうために、学校教育の一貫としての建設現場における就業体験実習に協力。	7月~10月		○						14校 159名	県		
	出前講座・講習会	○小中学生高校生を対象とした土木出張PR 講話体験を通して、建設業の仕事について興味関心をもつてもう。	5~3月		○	○	○	○			47校 約2,500名	県測量協会コンサルタンツ協会		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設写真コンテスト 建設業に关心、理解を深めてもらうための広報として写真を募集し、優秀作品を選考のうえ表彰。入賞作品は協会イメージアップボスターに使用する。	6~11月	○	○	○	○	○	○		74名 147作品	県フジカラーコニカミノルタNC		
	資格取得支援													
	合同企業説明会	○合同企業セミナー 学生を対象にした会員企業の業務概要等のPRプレゼンテーションを実施する。	10月	○	○	○					76名			
		○未来をつくる!企業研究フェスタ 2027年3月卒業の学生等を対象とした業界研究と併せて、2028年以降卒業の学生も参加できる内容で開催。	11月	○	○						43社 250名			
	イベント開催・参加													

令和7年度 建設産業人材確保育成推進協議会 構成団体における担い手確保育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象							参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先	
				大学 (短 大) 生	専 門 学 校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者	教 諭					
(一社)新潟県建設業協会	産官学連携の協議会	○建設事業学習会 将来の進路とキャリアパスを想像できることを目的とした学習会の開催。	9月							○	78名		https://www.shinkenkyo.or.jp/	025-285-7111	
	教諭との意見交換会	○建設系高等学校教諭との意見交換会 高校卒業生の入職促進を図るために、教育関係機関との意見交換会を開催する。生徒の特徴と進路傾向について情報共有する。	2月							○	建設系高等学校 8校				
	その他														
(一社)長野県建設業協会	現場見学会	○県内建設系学科の生徒を対象に現場見学会 施工中の現場の見学会を行い、実際に働いている技能者の仕事を見てもらう。延べ6校 9回実施。	5~11月		○						298名	無	https://www.choken.or.jp/	026-228-7200	
		○県内建設系学科の高校の生徒を対象に現場実習を実施 測量・丁張実習を実施。CW-CADIによる演習を実施。延べ7校 13回実施。	5~11月		○						312名	無			
	インターンシップ (職業体験学習)	○上小地区中学生職場体験学習 夏休み期間を利用して数日間、建設会社の仕事(本社、現場)を体験してもらい、社会人・建設会社人について学んでもらう。	7月			○					36名	無			
		○県内中学校職場体験学習(延べ5校) 重機の操作などの体験を通して、県内各地区の中学生に建設業の役割を学習してもらう。	5~11月			○					300名	無			
	出前講座・講習会	○信州大学工学部への出前講座 県外出身者が多いため、県内建設業への就職を視野に入れてもらう意見交換を行うと共に、ICT建機の操作やVR技術など体験型の講座を行った。	10月	○							60名	無			
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○広報誌「LIFE」の製作(3,000部) 上記の学生など対象のイベントにおいて広報誌として配布した。	9~12月	○	○	○	○				-	無			
		○青年部会ホームページでの情報発信 上記の学生など対象のイベントはじめ各方面にPRを行う。	通年	○	○	○	○				-	無			
		○女性部会ホームページでの情報発信 上記の学生など対象のイベントはじめ各方面にPRを行う。	通年	○	○	○	○				-	無			
	資格取得支援	○2級土木建築施工管理技士試験受験準備講習会 建設系学科の高校生を対象に受験準備講習会を開催し、資格取得により将来の就職の選択肢となるよう支援を行う。	8月		○						-	有			
	合同企業説明会														
	イベント開催・参加														
	産官学連携の協議会	○長野県教育委員会との意見交換会 建設業への入職の促進を要望するとともに建設系学科の存続及び増加に繋げていくための意見交換会を行う。	9月						○	-		無			
	教諭との意見交換会														
	その他														
(一社)岐阜県建設業協会	現場見学会	○高校生を対象とした建設現場見学会 学校の授業で習ったことを目から実際に取り入れることで、建設業の仕事の内容や魅力を伝える。	7月~		○						350名 (工業系高校)	無	http://www.gikenkyo.jp/	058-273-3344	
		○女性を対象とした建設現場見学会 建設業で働く女性の話を聞くことにより、建設業へ入職しても自分自身のライフサイクルが守られることをPRする。	8月	○	○	○				○	30名	無			
	インターンシップ (職業体験学習)	○学校での教育内容と実社会との関連性を持たせるとともに、建設業が生涯を託せる産業であることの認識を高めるもとを目的として実施。	4月~	○	○	○					200名	無			
		○建設産業への興味をもってもらうため、県内の小中高校に出向いての建設業魅力発信事業を行う。	7月~		○	○	○	○	○	○	200名	無			
	出前講座・講習会	○工業高校生徒と企業との交流サロン、中学校での出前授業			○	○				○	500名	有			
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)														
		○小型車両系(整地等)運転特別教育			○						60名	無			
	資格取得支援	○建設業経理事務士(3、4級)特別研修			○					○	70名	-			
	合同企業説明会	○オール岐阜企業フェスへの参加 建設業振興基金が作成された「建設産業の現在」を高校生に配布し、特に学生が興味を持つドローンの説明・実機体験を行うとともに、工事現場でもドローンだけではなく、たくさんICTを使用していることを説明。併せて土木工事と建築工事の違いを説明。	12月	○	○	○				○	1,000名	有			
	イベント開催・参加	○県が行うイベントへの参加 小学生低学年までのお子さんを対象におもちゃのバックホールを使ったボールすくい体験をしていただき、協会で作成したクラフトを配付し建設業の魅力PRを行った。	8月~					○	○		500名	有			
		○ハローワークが行うイベントへの参加 現場で使用する重機への試乗体験及び重機との記念撮影を行った。	9月~			○	○	○			200名	有			
		○地元プロスポーツチームが行うイベントへの参加 地元サッカーチームのFC岐阜が行う「建設企業展」で、小学生低学年までのお子さんを対象におもちゃのバックホールを使ったボールすくい体験をしていただき、協会で作成したクラフトを配付し建設業の魅力PRを行った。	9月~				○	○			200名	有			
	産官学連携の協議会	○ぎふ建設人材育成確保連携協議会への参画							○	-		-			
	教諭との意見交換会	○建設産業で働く女性の意見交換会							○	20名		有			
	その他														

令和7年度 建設産業人材確保育成推進協議会 構成団体における担い手確保育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象							参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先	
				大学 (短 大) 生	専 門 学 校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者	教 諭					
(一社)静岡県建設業協会	現場見学会	○親子現場見学会 地区建設業協会が地元の小中学生以下の子ども達とその保護者を対象として実施。	7~10月			○	○	○			【令和6年度】 538名	無	info@sizkk- net.or.jp 054-255- 0234		
	インターンシップ (職業体験学習)	○現場実習(インターンシップ) 入職促進事業の一環として、地区建設業協会と高校が連携し、高校生に対して現場実習を実施。	7~11月		○						【令和6年度】 のべ540名 (受入96社)実数222名	無			
	出前講座・講習会														
	広報活動(メディア、 DVD、冊子の活用)														
	資格取得支援	○静岡県専門高校生サマータイム学習 工業農業高校の3年生を対象に小型移動式クレーン資格取得を目的に体験学習を実施。	7月		○						工業農業高校3年生 10名	無			
	合同企業説明会														
	イベント開催・参加	○建設業専門工事業合同体験フェア 型枠内装工事等の建設専門工事業の実習体験に浜松工業高校の生徒が参加し、生徒や引率教員の専門工事業への理解を深めるとともに、参加した専門工事団体や企業の担当者との交流の機会となった。	9月		○				○	浜松工業高校建築科2年生 40名	愛知岐阜三重 県建設業協会				
	産官学連携の協議会	○高校教員研修会 県内の中学、高校教員を対象に建設企業におけるキャリアアップについて講義を実施。	8月						○	高校教諭2名	県建設産業担 い手確保育成 対策支援コン ソーシアム				
	教諭との意見交換会	○専門高校教諭と建設業協会との意見交換会 県内の土木系建築系の学科を有する工業農業高校10校の教諭と意見交換会を実施。	11月						○	【令和6年度】 工業農業高校教諭他 21名	無				
	その他	○県立工業農業高等学校(土木建築系)進路状況等アンケート調査 県内の専門高等学校における卒業生の進路状況を把握し、将来にわたる建設業の担い手確保の参考資料とする。	8~9月		○				○	工業農業高校10校	無				
(一社)愛知県建設業協会	現場見学会	○高校生を対象とした現場見学会 施工中の建設現場を見学することにより、建設技術者、技能者の実務を見てもらい、建設業に対するより具体的なイメージ作りに役立てもらい、入職促進に繋げる。	9/17、 10/30、 10/31、 11/17、 12/9、12/17 (予定)		○					愛知県立稲沢緑風館高等学校 1年生20名 愛知県立猿投農林高等学校 1年生28名 愛知県立一宮工科高等学校 1年生41名 愛知県立一宮工科高等学校 1年生40名 名古屋市立工芸高等学校 1年生40名 名古屋市立工芸高等学校 2年生40名 愛知県立愛西工科高等学校 2年生14名	共催はない が、各発注者の協力	http://www. aikenkyo.or jp/	052-242- 4191		
	インターンシップ (職業体験学習)	○高校生対象インターンシップ 就職活動開始前の高校2年生を対象に、夏休み期間中に地元建設会社にて実際の職業体験をする。	7、8月		○					愛知県立愛西工科高等学校 2年生3名 愛知県立一宮工科高等学校 2年生4名 愛知県立岡崎工科高等学校 2年生11名 愛知県立豊橋工科高等学校 2年生10名 愛知県立碧南工科高等学校 2年生3名 名古屋工業高等学校 2年生2名	無				
	出前講座・講習会	○高校生対象出前講座 経験豊富な会員企業の社員による授業を通じて、建設業の社会的な役割魅力やりがいをより身近に体験する。	6月22日	○						事前登録した学生54名	無				
	広報活動(メディア、 DVD、冊子の活用)	○HPによる協会の活動状況広報 ○ラジオによる協会の活動状況広報 ○新聞による協会の活動状況広報	通年適宜 通年 (土曜日) 1~3月	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	- - -	無 無 無				
	資格取得支援														
	合同企業説明会	○工専生を対象とした合同企業説明会開催 地元会員企業の将来を担う人材を確保するための出会いの場として、建設系学生を対象に企業説明会を開催する。	2月 (予定)		○						東海工業専門学校金山校	無			
	イベント開催・参加	○建設技術フェアへの出展 当協会として「学生ひろば」にブースを開設し、学生(高校生専門学校生大学生)や一般市民の皆さんに地元建設企業の紹介PRに努める。 ○高校生、専門学校生を対象とした、作文、ポスターの募集ならびに表彰 「建設業に思いを込めて」と題した作品を募集し、優秀作品を表彰する。	12月(予定) 7~8月 (夏休み課題)	○ ○	○ ○	○ ○					来場者180名程度 作文:10名 ポスター:36名	無			
	産官学連携の協議会														
	教諭との意見交換会	○高校教師実務担当者会議の開催 年間の高校生向けイベントの計画と振り返り。	4、12月						○	各15名	無				
	その他														

令和7年度 建設産業人材確保育成推進協議会 構成団体における担い手確保育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象						参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先			
				大学 (短 大) 生	専 門 学 校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者	教 諭						
(一社)三重県建設業協会	現場見学会	○高校生建設現場見学会 施工中の建設現場見学会を実施し、建設業に対するイメージアップをはかり、生徒の進路決定の一助となることを目的に実施。	9~11月	○							津田学園高等学校 1年生25名 久居農林高等学校 1年生28名 近畿大学工業高等専門学校 4年生24名 熊野青藍高等学校 1年生11名 四日市中央工業高等学校 1年生28名 尾鷲高等学校 1年生13名 飯南高等学校 2年生42名 伊勢工業高等学校 1年生30名 四日市工業高等学校 2年生35名 伊賀白鳳高等学校 2年生30名 相可高等学校 2年生32名	一部有 (県県土整備部)	https://www.miekenkyo.or.jp/	059-224-4116		
	インターンシップ (職業体験学習)	○高校生のインターンシップ 就職活動開始前の高校2年生を対象に企業の体験入職を実施。	7~8月、11月	○							四日市工業高校、四日市中央工業高校	無				
	出前講座・講習会	○高校への出前授業 県内高校の生徒を対象に建設業の魅力や役割について説明。	6月	○							熊野青藍高等学校 1年生29名 三重高等学校 1年生200名 飯南高等学校 2年生42名 伊賀白鳳高等学校 2年生22名 いなべ総合学園高等学校 2年生15名 尾鷲高等学校 1年生13名 桑名工業高等学校 2年生13名	一部有 (県県土整備部)				
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○当協会の取組について、YouTube動画、Xの発信 若年人材確保に関する協会の取組について、情報発信を実施。	4~3月	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○							-	無				
	資格取得支援	○建設業経理事務士特別研修(4級) 工業高校の生徒を対象に建設業経理事務士特別研修を実施。	7~8月	○							-	無				
	合同企業説明会															
(一社)富山県建設業協会	イベント開催・参加	○女性技術者交流会 女性技術者が会社の垣根を越えて交流の機会をつくり、現場環境等へ女性の声を届けることで、女性技術者の「個人」と「仕事」の充実をはかることを目的に実施。	11月	○							短期大学学生 女性部会メンバー 三重県職員	県土整備部	https://www.tomiken.or.jp/	076-432-5576		
	産官学連携の協議会	○県立(建設関係学科設置校)進路指導担当教諭等との情報交換会 三重労働局、三重県教育委員会、三重県県土整備部、進路指導教諭との情報交換会を通じ、学校と密接な連携を図るために実施。	12月	○						○	三重労働局 1名 三重県教育委員会 1名 三重県県土整備部 3名 教諭 7名 協会員 14名	無				
	教諭との意見交換会															
	その他															
	現場見学会	○高校生を対象とした現場見学会 県内高校建設系学科(4校6学科)の生徒を対象とした現場見学会。	7~11月	○						○	生徒約200名、担当教諭	-				
	出前講座・講習会	○大学生を対象とした現場見学会 富山大学都市計画デザイン学科学生を対象とした現場見学会(昨年度までは女子学生のみ)。	10月	○						○	富山大学都市デザイン学部在学の大学生(1年)19名、教職員3名	-				
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設業及び建設技術者の仕事内容をPRするリーフレットの作成・配布 小中学生、高校生、大学生向けに建設業の役割や必要性を伝えるためリーフレットの印刷・配布。	6月	○ ○ ○ ○ ○						○	県内高校2年生約8000名 県内中学2年生約8100名 県内小学6年生約7800名 富山大学 富山県立大学 県・市町村教育委員会	富山県				
	資格取得支援	○会員企業への入職予定者を対象とした技能向上研修 就職前の高校生を対象とし、スムーズな入職につなげるための就職直前講習(玉掛け、小型移動式クレーン技能講習)。	3月		○						県内4校6学科 延べ80名程度を予定	無				

令和7年度 建設産業人材確保育成推進協議会 構成団体における担い手確保育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象							参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先
				大学 (短 大) 生	専 門 学 校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者	教 諭				
(一社)富山県建設業協会	合同企業説明会	○合同企業説明会 ・学生全体への企業の事業内容や取組み等説明および個別交流。	10、12月	○							富山県立大学工学部環境工学科2年生	富山県立大学測量設計業協会・斜面防災技術協会	https://www.tomiken.or.jp/	076-432-5576
	イベント開催・参加	○富山県立大学ダヴィンチ祭への出展 ・大学主催イベント。重機シミュレータやラジコン、建設現場のVR体験等をとおして建設業への興味を促すためのブース出展。	8月	○	○	○	○	○	○		未就学児28名、小学生61名、中学生5名、高校生2名、保護者74名 計170名	主催:富山県立大学 共同出展:建設コンサルタント協会、測量設計業協会		
		○ケンセツジョブフェス2025への出展 ・富山県主催イベント(建設関係団体複数参加)。重機シミュレータやラジコン、建設現場のVR体験、4足歩行ロボットデモ、高所作業車体験等をとおして建設業への興味を促すためのブース出展。	9月	○	○	○	○	○	○			主催:富山県		
	産官学連携の協議会													
	教諭との意見交換会	○富山県立大学教授との意見交換会 ・工学部環境社会基盤工学科教授等と協会役員との意見交換会(隔年開催)。	12月							○	環境社会基盤工学科教授 協会役員	無		
(一社)石川県建設業協会	その他													
	現場見学会	○工業系高校生を対象とした現場見学会 ・施工中の現場の見学会を行い、実際に働いている方々の仕事をみてもうとともに、建設業への興味を促進。	6~3月		○					○	-	北陸地方整備局、石川県、金沢市等	http://www.ishikenkyo.or.jp	076-242-1161
		○専門学校生を対象とした現場見学会 ・石川工業高等専門学校、金沢科学技術大学校	4~10月	○						○	66名	同上		
		○大学生を対象とした現場見学会(予定) ・金沢工業大学	10~11月	○						○	20名程度	同上		
	インターンシップ (職業体験学習)	○高校生のインターンシップ ・高校生を対象とした実際の業務体験。	7~11月		○						-	各地区の建設業協会		
	出前講座・講習会	○工業系高校生を対象とした出前講座 ・工業系高校生への建設業の安全管理を目的とした特別教育の実施。①足場の組み立て等特別教育②フルハーネス型安全帶使用作業特別教育	9月		○						県立小松工業高校3年生 34名	建設業労働災害防止協会石川支部		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設業PR動画の上映 ・昨年作成したPR動画をホームページ、ハローワーク等にて上映。	4~3月	○	○	○			○	○	-	ハローワーク		
		○冊子の配布 ・建設業ガイドブックの配布。	4~3月		○	○					-	無		
		○いしかわインフラフォトクリップ ・広く一般を対象とした写真コンテストの開催による建設業のPR。	7~9月	○	○	○	○	○	○	○	-	石川県土木部		
	資格取得支援													
	合同企業説明会	○ハローワークとの企業ガイダンス等 ・ハローワークとの共催による企業説明会等を開催。	7~3月	○	○	○					-	ハローワーク		
	イベント開催・参加	○2025歩いてみよう!「のと里山海道」への参加 ・ブース設置し、来場者に対する建設業の魅力のPR。	5月	○	○	○	○	○	○	○	来場者1,500名	石川県等		
		○はだしの王国2025への参加 ・ブースを設置し、来場する未就学児や小学生向けの建設業の魅力PR。	10月					○	○	○	-	石川県土木部		
	産官学連携の協議会													
	教諭との意見交換会	○工業系高校専門学校大学の教諭との意見交換会 ・意見交換会を開催し建設業の魅力発信、見学会等の事業、就職についてのなどの情報共有。	3月							○	6名程度	無		
	その他	○工業系高校生優良卒業生表彰 ・会員企業に内定が決まっており、校長の推薦がある生徒を表彰し、記念品を授与。	2月		○						8名	無		
(一社)福井県建設業協会	現場見学会	○高校生の現場見学会 ・施工中の現場見学会を行い、業界理解を深める。	10~11月		○						約70名	各地区業会	https://www.fukui-pbcs.or.jp/	0776-24-1184
	インターンシップ (職業体験学習)	○高校生のインターンシップ ・会員企業による数日間のインターンシップを実施。	6~10月		○						約50名	各地区業会		
	出前講座・講習会	○高校への出前授業 ・ドローン体験BIMソフト体験を実施。	通年		○					○	約40名	無		
		○小中学校への出前授業 ・建設業に関する講話を実施。	通年			○	○		○		約60名	無		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)													
	資格取得支援	○高校生への資格取得支援 ・2級土木施工学科試験に伴う県外会場までのバス補助。	10月		○						約40名	無		
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加	○フクイ建設技術フェア企業団体複数出展のイベントにブース出展 ・建設業界の魅力を発信するためのイベントを開催。	9月		○	○	○	○	○	○	例年5,000名	実行委員会		
		○重機イベント業界の魅力発信重機体験等 ・建設業界の魅力を発信するためのイベントを開催。	10月				○	○			例年4,000名	無		
	産官学連携の協議会													
	教諭との意見交換会													
	その他													

令和7年度 建設産業人材確保育成推進協議会 構成団体における担い手確保育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象							参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先
				大学 (短 大) 生	専 門 学 校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者	教 諭				
(一社)滋賀県建設業協会	現場見学会	○小学生、中学生、高校生を対象とした現場見学会 (公社)滋賀県建設産業団体連合会の主団体として将来の建設産業の担い手となる若年者を対象に開催する。	10~12月		○	○	○				●小原小学校1~6年生 28名 三雲東小学校4年生 50名 ●彦根工業高校2年生 25名 安曇川高校1、2年生 15名 信楽高校2年生 10名 小学校12月(1校)高校12月(2校予定)	無	https://yumeiken.or.jp 077-522-3232	
	インターンシップ (職業体験学習)													
	出前講座・講習会	○建設COCO倶楽部(女性の定着を推進する活動を行っている女性の会)が県内工業高校に出向き出前授業を開催。	1月		○						1校(予定)	無		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○年2回広報誌(季刊号)の発行 ○建設業を広く理解して頂くために、年2回の季刊誌で発信しています。建設業界の取り組み、建設に生きる人の姿、美しい滋賀の自然やそこで生きる人びとの活動等を紹介している。	3月、10月	○	○	○	○	○	○	○	94校 約950部	無		
	資格取得支援													
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加	○滋賀けんせつみらいフェスタ2025への参画 滋賀県建設産業魅力アップ実行委員会の構成団体として、各団体がブースを設けイベントを開催。また、商業施設において出前フェスタを開催。建設業の魅力を発信。	9月	○	○	○	○	○	○	○	約4,600名	主催:滋賀県建設産業魅力アップ実行委員会 共催:建設業協会を含め滋賀県、国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所滋賀国道事務所、厚生労働省滋賀労働局等33団体		
		○第13回夢けんプラザ絵画コンクール 小学生、中学生を対象に小学校低学年、高学年、中学生と分け入賞作品の展示会を開催。	9月			○	○				応募総数755点 小学校396点 中学校182点	後援:滋賀県、滋賀県教育委員会		
	産官学連携の協議会													
	教諭との意見交換会													
	その他													
(一社)京都府建設業協会	現場見学会	○高校生を対象とした現場見学会 施工中の現場の見学会を行い、実際に働いている技能者の仕事を見てもらう。	8月、1月		○					○	京都宮津天橋高等学校生徒等25名 京都工学院高校生徒等35名	無	https://www.kyokenkyo.or.jp/ 075-231-4161	
		○親子でまなぶ京都の建設土木 京都在住もしくは通勤通学している親子を対象とし、建設現場を実際に体感し、建設業界についての理解を深めて頂く事を目的とした見学会。	11月		○	○	○	○	○		約90名	無		
		○高校生インターンシップ 会員企業の建設現場において、高校生が2~3日間、実際の建設の仕事にを体験する職業学習。	7~11月		○						宮津天橋高校25名 農芸高校9名 京都工学院高校30名	無		
	出前講座・講習会	○理工展「建設業における新技術紹介ブース」出展	12月		○					○	京都工学院高校生徒	無		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設業界の働き方ガイドブックの作成 建設業界の働き方ガイドブック(KYOTOの柱になる仕事)を作成し、工業高校生徒へ現場見学会、大型ショッピングモールのイベント等で配布。	8~2月		○	○	○	○	○	○	イベントで親子等に配布200名×4回 宮津天橋高等学校生徒25名 京都工学院高校生徒35名	京都府、(一社)京都府測量設計業協会		
	資格取得支援													
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加	○イオンモール体験イベント 小中学生高校生とその保護者等に対して、建設業界の魅力を発信するためのPRイベントを開催。	9月、10月		○	○	○	○	○	○	ショッピングモール一般客約200名×2回	京都府、(一社)京都府測量設計業協会		
		○ものづくりフェア 京都府主催のイベント会場での建設業の重機乗車体験等啓発活動を実施。	11月	○	○	○	○	○	○		京都府民約500名	京都府主催		
		○魅力向上プロジェクトイベント 綾部市「日東精工アリーナ」に於いて、一般客向けに建設業界の魅力を発信するためのPRイベントを開催。	8月		○	○	○	○	○		一般客約200名	京都府、(一社)京都府測量設計業協会		
		○令和7年度 京都府総合防災訓練 直下型地震と豪雨による複合災害が発生したとの想定で地域住民が一体となった総合的な訓練を実施。当会からも災害時に活躍する車両として建設重機を展示し、地域住民にとって日頃は触れる事の無い建設重機に触れながら、建設業界の災害時の対応やインフラ整備の重要性などを説明。	8月			○	○	○	○		京都府民約200名	京都府主催		
		○京都府除雪機械出動式 雪害対策期間を迎えるにあたり、冬期の安全で円滑な交通を確保する万全の体制をはかるため車両移動訓練の実施にあわせて、除雪作業出動式を行い、地元の小学生に建設業の魅力をアピール。	11月				○	○	○	○	地元小学生等約30名	京都府主催		
	産官学連携の協議会	○京都府魅力向上プロジェクト推進会議幹事会 京都府内における人材の確保・育成を図る取り組みを推進する。『京都府建設業魅力向上プロジェクト推進プラットフォーム』を立ち上げ、建設業の魅力発信等を進めている。	6月							○	10名	京都府、(一社)京都府測量設計業協会		
	教諭との意見交換会													
	その他													

令和7年度 建設産業人材確保育成推進協議会 構成団体における担い手確保育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象						参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先	
				大学 (短 大) 生	専 門 学 校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者	教 諭				
(一社)大阪建設業協会	現場見学会	○現場見学会 施工中の現場の見学会を行い、実際に働いている建設従事者の仕事を理解して頂くことを目的に実施。	11~2月			○							無	https://owave.or.jp/ 06-6941-4821
	インターンシップ (職業体験学習)	○試乗体験・作業体験 建設機械の試乗体験、型枠作業体験を通じ、建設業の魅力を発見して頂くことを目的に開催。	3月			○							大阪府教育委員会協力大阪府後援	
	出前講座・講習会													
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○広報誌(O-WAVE)の発刊 学生を訴求ターゲットとし、建設業界のイメージアップを目的に漫画形式の広報誌(O-WAVE)を発刊する。	3月予定					○					無	
	資格取得支援													
	合同企業説明会	○合同企業説明会 将来を担う優秀な人材確保を図るため、建設業界に入職を希望される建築系土木系学生をいち早く効率的に協会会員企業と出会いの機会を確保することを目的として開催した。	8月	○	○							52名	国土交通省近畿地方整備局 厚生労働省 大阪労働局、大阪府、各後援	
	イベント開催・参加	○リコチャレ2025プログラム 手作り万博カルタでは、子どもたちと交流しながら、建設業が万博の会場整備に大きく貢献していることを伝え、インフラクイズや女性エンジニアのお仕事紹介では、建設業はみんなの生活を守っていることや、普段携わっている建築工事などの仕事紹介することで建設業界には多くの女性技術者が活躍していることを小学生や保護者にアピールした。	7月					○	○			親子10組25名	(一社)土木技術者女性の会 西日本支部	
	産官学連携の協議会													
	教諭との意見交換会	○高校教諭との意見交換会 建設業の魅力や役割について生徒にどのように指導するか、就職について、協会の事業活動などの情報共有を行った。	5月							○	教諭6名行政2名		無	
	その他													
(一社)兵庫県建設業協会	現場見学会	○高校生等を対象とした現場見学会 施工中の現場の見学会を行い、実際に働いている技術者や技能者の仕事を見てもらう。	通年	○	○	○						約200名	高校	https://hyokenkyo.or.jp/ 078-997-2300
	○小中学生を対象とした現場見学会 国県等と連携し、小中学生およびその保護者を対象にした公共事業現場見学会を開催。建設産業の魅力と仕事のやりがいを伝え、将来の人材確保につなげる。		通年				○	○	○			事務所ごとに開催。 約30名/回	国交省 兵庫県	
	インターンシップ (職業体験学習)	○高校生等を対象としたインターンシップ 工業高等学校、専門学校等の学生生徒を会員企業が受け入れ、入職体験してもらう。	4~1月	○	○	○						約250名	無	
		○建設業サマーセミナー 夏休みを活用して、長期にわたって工業高等学校、専門学校等の学生生徒を受け入れ、入職体験してもらう。	7~8月	○	○	○						約100名	無	
		○1日体験実習 施工中の建設現場において、実際に働いている技術者や技能者の仕事を体験してもらう。	9月			○						35名	無	
	出前講座・講習会	○建設業魅説明会(出前講座) 県内の工業高校生等を対象に、建設業の魅力を理解してもらうとともに、建設業への入職促進を図るために、現役の技術者が学校の教壇に立ち、建設業の魅力を伝える。	5~12月			○						8校約300名	兵庫県	
		○女子高校生と女性技術者との交流会 女性の建設業への入職を促進するため、建設業で働く女性から女子高校生に対して建設業の現状や魅力を発信。 (参加予定) 県内工業高校等の女子高生 (一社)土木技術者女性の会女性技術者 「ひょうご建設ディレクターズフォーラム」会員	12月			○						約60名	兵庫県	
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○業界研究スペシャルプロジェクト『まちづくり業界研究大作戦』 Webサイト イベント広報動画や出展企業のPR動画等をコンテンツとするWebサイトを作成。動画はTverやYoutubeで配信。	通年	○	○							大学生等不特定多数	無	
		○若者向け建設業PR動画「地図に残る、"未来を創る" という使命」 「第1弾」「第2弾」 現在の若者たちの最大の情報収集媒体であるネット上に手掛けた案件の数だけ語るに尽くせない物語と感動がある建設業の魅力をPRする動画の第1・2弾をネット配信中。会員企業の会社説明会でも活用。「建設現場へGO！」にも掲載。	通年	○	○	○						大学生等不特定多数	無	
		○女性活躍建設業プロモーション動画「#私が輝く場所」のネット配信 会員企業6社の女性技術者に出演していただき、それぞれが建設現場で働く様子を紹介しながら、出演者自らが建設業の魅力や入職した動機、仕事のやりがい、ICT活用により女性が活躍しやすくなっている建設業の現状などを語る動画をネット配信中。工業高校、専門学校等の授業や会員企業の会社説明会でも放映。「建設現場へGO！」にも掲載。	通年	○	○	○						若年女性不特定多数	無	
		○施工管理仕事紹介動画(ショート)のネット配信 高校生、新規入職社員を対象に、施工管理業務の説明動画を作成、youtube等で配信中。土木編、建築編、総合編(各5分程度)。	通年	○	○	○						大学生等不特定多数	無	
		○施工管理仕事紹介動画(ロング)制作ネット配信 工業高校の授業に使用するため、施工管理の説明動画を作成。出演者6名を会員企業から公募で決定。県立工業高校学科長のアドバイスにより制作。工業高校等の授業用動画として活用。協会HP、youtube等で配信。	通年			○				○	高校生等不特定多数	無		
		○「シン建設業魅力アップ事業」Tver動画配信 建設業への入職者を増加させ、建設業の持続的な発展につなげるため、兵庫県とタイアップし、建設業で活躍する若者女性の動画を作成し、動画配信サイトTverで配信。 第1弾「私たちが輝く場所」 第2弾「地図に残る未来という使命を担う」	7~9月	○	○	○						大学生等不特定多数	兵庫県	
		○建設業界ガイドブックの工業高校等への贈呈 建設業界ガイドブック(建設産業人材確保育成推進協議会)を県内工業高校の進路指導等へ送付。	通年			○						県下高校213校	兵庫県	

令和7年度 建設産業人材確保育成推進協議会 構成団体における担い手確保育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象							参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先		
				大学 (短 大) 生	専 門 学 校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者	教 諭						
(一社)兵庫県建設業協会	資格取得支援	○工業高校生資格取得支援講習会事業の実施 県内の工業高校生等(3年生)を対象に、建設業への入職促進につながる2級土木施工管理技士又は2級建築施工管理技士の学科試験に向けた講習会を開催。	9月～11月		○							工業高校5校約200名	兵庫県	https://hyokenkyo.or.jp/	078-997-2300	
	合同企業説明会	○業界研究スペシャルプロジェクト『まちづくり業界研究大作戦』 広く学生に兵庫県地域建設業の魅力を伝え、理解促進を図る機会を設けることにより、会員の将来を担う優秀な人材の確保につなげる。学生インフルエンサーづくりのためのプレイベントと本番イベントの2本立てで開催。会員有志35社が出展。	プレイベント 9月 本番イベン ト 11月	○	○							大学生等 約200名	無			
	イベント開催・参加	○『地元がイチバン!地元建設業魅力出前講座@工業高校』 地元で活躍する会員企業を知つてもらうとともに、建設業への理解を一層深めてもらうことにより、県内建設企業への就職を促進することを目的に開催。 建設系学科のあるすべての県立工業高校が地元会員企業と連携し開催。	通年		○							5校 約300名	無			
	産官学連携の協議会	○兵庫県建設産業人材確保推進連絡協議会 人材の送り手である工業高等学校等校長と人材の受け手である会員企業経営者が建設産業への人材確保を推進するため、課題と解決方策を率直に意見交換する。意見交換にとどめず、意見の事業化を図った実例がいくつもある。	12月						○			兵庫県教育委員会、兵庫県土木部、工業高校校長、会員企業社長合計約30名	無			
	教諭との意見交換会	○兵庫県建設産業人材確保推進連絡協議会作業部会 上記協議会の下に作業部会を設け、協議会意見提案書等について事業の優先順位付けと事業の具体化に向けた協議を行っている。	通年						○			工業高校建設系学科長5名 会員企業人事部長等5名	無			
	その他	○兵庫県建設産業人材確保推進連絡協議会(再掲) 人材の送り手である工業高等学校等校長と人材の受け手である会員企業経営者が建設産業への人材確保を推進するため、課題と解決方策を率直に意見交換する。意見交換にとどめず、意見の事業化を図った実例がいくつもある。	12月						○			兵庫県教育委員会、兵庫県土木部、工業高校校長、会員企業社長合計約30名	無			
	その他	○兵庫県建設産業人材確保推進連絡協議会作業部会(再掲) 上記協議会の下に作業部会を設け、協議会意見提案書等について事業の優先順位付けと事業の具体化に向けた協議を行っている。	通年						○			工業高校建設系学科長5名 会員企業人事部長等5名	無			
	現場見学会															
	インターンシップ (職業体験学習)	○高校生を対象としたインターンシップ 奈良県立南高校専攻科のインターンシップ受入を実施。学校では学ぶことのできない経験をすることで入職後のギャップを少なくし建設業への入職、定着を促す。	6～9月		○							1年次 2名 2年次 2名	無			
	出前講座・講習会	○高校生を対象とした出前講座 県内高等学校の建設系学科の生徒に、鉄筋組立、鉄筋ガス圧接接頭およびクロス貼り、測量の体験をさせることにより、建設業への興味を深めてもらい入職を促進する。	11月		○							32名	無			
(一社)奈良県建設業協会	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)														http://nake-nkyo.or.jp/	0742-22-3338
	資格取得支援	○経理特研 高校生を対象に建設経理士4級、3級の取得を促進する。	8、12月		○							18名	西日本建設業 保証			
	合同企業説明会	○会員企業による説明会 協会の会員企業が大学、専門学校等の就職希望者を対象に、自企業のPRを行う。	11月	○	○	○						50名予定	無			
	イベント開催・参加															
	産官学連携の協議会															
	教諭との意見交換会															
	その他															
(一社)和歌山県建設業協会	現場見学会	○工業高校向け「木造建築現場見学会」 工業高校・建築科の生徒を対象に大阪・関西万博の大屋根リンクを見学する機会提供。 ○工業高校向け「建築建設・生産性向上フェア見学会」 工業高校建築科の生徒を対象に生産性向上に関する展示会への参加機会提供。 ○工業高校向け「建設技術展見学会」 工業高校土木科の生徒を対象に「橋梁模型製作」等の技術展への参加、見学機会を提供。 ○工業高校向け「ICT活用現場見学会」 工業高校土木科生徒を対象にICT施工での河川工事現場見学会を実施。 ○工業高校向け「ICT建機体験会」 工業高校土木科生徒を対象に、最新のICT建機に触れる体験会を実施。国土交通省和歌山河川国道事務所、アクティオとの共催。 ○工業高校向け「建設現場見学会」 工業高校建設学科生徒を対象に、ICT施工を実施している建設現場見学を実施。	5月2日 7月10日 10月31日 11月7日 12月4日 12月9日		○							和工建築科80名 和工建築科80名 和工土木科40名(2年) 和工土木科40名(2年) 和工土木科40名(1年) 紀北農芸高校環境工学科(全年)	地元民間企業 より入場券提供 無 無 無 無 無 無	http://www.wakenkyo.or.jp/	073-436-5611	
	インターンシップ (職業体験学習)															
	出前講座・講習会															
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○県内小学生向け配布「わかやま探検ミュージアム」へ業界PR記事の掲載 ○県内小学生に対して「建設学習帳」の配布	隔月発行 4月～		○	○	○	○	○	○	○	各号約28,000部 10月現在約2,000冊	無 無			
	資格取得支援	○施工管理2級(一次)受検支援 1. 参考図書 提供 2. 模擬試験 提供 3. 受検会場まで移動手段提供	4月～ 5月～ 6月～		○							建設系学科在校生100名 希望者80名 和工建築／土木	無 無 無			
	合同企業説明会															
	イベント開催・参加	○和歌山市商工まつりへの参画	10月11～12日		○	○						-	無			
	産官学連携の協議会															
	教諭との意見交換会	○教諭との意見交換会	定期						○			-	無			
	その他															

令和7年度 建設産業人材確保育成推進協議会 構成団体における担い手確保育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象						参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先	
				大学 (短 大) 生	専 門 学 校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者					
(一社)鳥取県建設業協会	現場見学会	○高校生を対象とした現場見学会 施工中の現場の見学会を行い、実際に働いている技術者技能者の仕事を見てもらう。	11月			○					鳥取工業高校建築工学科1年生	無	https://www.tori-ken.or.jp/	0857-24-2281
	インターンシップ (職業体験学習)	○高校生のインターンシップ 就職活動開始前の高校2年生を対象に企業の体験入職を実施。	9~10月			○					米子工業高校22名 鳥取工業高校12名 倉吉農業高校3名	県土木整備部		
	出前講座・講習会													
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設業PR用のTVCの放送	4~3月	○	○	○	○	○	○	○	一	無		
		○地元新聞に協会の活動状況広報	9、1月	○	○	○	○	○	○	○	一	無		
		○企業ガイドブックに協会のPR広告を掲載(予定) 県内高校1、2年生に無料配布 B5版約100ページ。	2月			○		○			一	無		
	資格取得支援													
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加	○乗車体験【中部建設業協会】 子供園で建設機械の乗車体験	5月							○	園児108名	無		
		○乗車体験【中部建設業協会】 けんせつフェスタ2025でミニバックホウ乗車体験。	10月	○	○	○	○	○	○		来場者約800名	鳥取県建設技術センター主催		
	産官学連携の協議会	○鳥取県建設分野担い手確保育成連携協議会 産学官が連携し、担い手の確保育成、公共工事の生産性の向上、建設産業の魅力発信に向けた取組の推進。	年3回								一	一		
		○鳥取県建設人材緊急確保プロジェクト会議 産学官連携により、効果的な建設人材の確保対策を検討推進することを目的。	7、9、11月								35名	県土木整備部		
	教諭との意見交換会													
	その他													
(一社)島根県建設業協会	現場見学会	○高校生現場見学会 県内の専門高校7校を対象。	9~11月		○				○	200名	無	https://www.shimakenkyo.or.jp/kaicho/index.html	0852-21-9004	
	インターンシップ (職業体験学習)													
	出前講座・講習会													
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)													
	資格取得支援													
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加	○インフラツアーアー 夏休み親子で学ぼう!インフラツアーアー県内在住の小学校3~6年生とその保護者を対象に、建設業界の魅力を発信するためのインフラツアーアーを実施。	8月					○	○	120名	島根県土木部			
	産官学連携の協議会													
	教諭との意見交換会													
	その他													
(一社)岡山県建設業協会	現場見学会	○高校生を対象とした現場見学会	4~10月		○					工業高校(1~3年生)約480名	県土木部	https://www.okakenkyo.jp/	086-225-4131	
	インターンシップ (職業体験学習)													
	出前講座・講習会													
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設産業ガイドブックの工業高校への贈呈	10月			○				工業高校(1~2年)約800冊	建設業振興基金			
		○建設産業の連携展示 PR動画放映、ポスター掲示、リーフレット設置等。	9月	○	○	○	○	○	○	一般公開	県土木部、測量設計業協会			
	資格取得支援													
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加	○おかやま建設企業ライブ 県立高校の土木建築系学科の二年生を対象とした企業説明会。	1月			○			○	工業高校2年生 約320名	県土木部、測量設計業協会			
	産官学連携の協議会													
	教諭との意見交換会													
	その他													
(一社)広島県建設工業協会	現場見学会												http://www.hirokenkyo.or.jp/	082-511-1430
	インターンシップ (職業体験学習)													
	出前講座・講習会	○高校生出前講座 建築系学科の高校生に対してとび、型枠、左官などの座学および実技実習の実施。	9~12月			○				32名	広島建設アカデミー			
		○大学生に対する実習および意見交換会の開催 大学生に対する「鉄筋組立」「3D測量体験」「舗装実体験」の実習および学生企業行政による意見交換会の実施。	10月17日	○						70名	広島建設青年交流会			
		○建設業を知ってもらう説明会 県内の建設業界への就職希望者の増加を図ることを目的として、土木系学科を有する高校、専門学校などにおいて建設業の役割についての講義と、若手技術者と生徒と意見交換会を実施。	通年	○	○	○				71名	広島県広島建設青年交流会ほか			
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○高校生の作品をバスラッピングする事業 県内高等学校(3校)の美術部が制作した建設業イメージアップ作品をバスにラッピング掲示する。	通年			○				一	広島県広島建設青年交流会			
		○図書館での建設業魅力発信展示 図書館に子供向けの資料の配布や建設重機や土木構造物、建築物等の魅力に関する絵本、図鑑などを展示。	通年					○		一	広島県			
		○路面電車へのラッピング等広報事業 電車内パンフレットラック設置。「建設産業ガイドブック」や「漫画でわかる災害対策(全建)」などをラックに設置して一般に配布。電車外側広告。	通年	○	○	○	○	○	○	一	無			
		○わが家の防災ハンドブックに広告掲載 広島FMが発行する「わが家の防災ハンドブック」に建設業イメージアップ広告を掲載。	通年					○	○	○	広島県内の小学1年生に配布(27,000部)	広島エフエム放送		
	資格取得支援													

令和7年度 建設産業人材確保育成推進協議会 構成団体における担い手確保育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象							参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先	
				大学 (短 大) 生	専 門 学 校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者	教 諭					
(一社)広島県建設工業協会	合同企業説明会	○建設企業ガイダンスの実施 土木系建築学科に所属する就職活動間近の高校生を対象に建設企業がブースを設け、各企業の紹介や建設産業の現在の姿を伝える事業。※今年度より建設業体験会を同時開催	1月27日			○					-	広島県ほか、建設業団体	http://www.hirokenkyo.or.jp/	082-511-1430	
	イベント開催・参加	○ひろしま建設フェア2025 子供を対象とした建設業の仕事体験イベントの実施。	11月8日				○	○			10,000名	広島県ほか、建設業団体			
	産官学連携の協議会														
	教諭との意見交換会														
	その他														
(一社)山口県建設業協会	現場見学会	○高校生現場見学会 普段見ることのできない生の建設現場を体験することで、3Kイメージの払拭とスケールの大きさ、仕事のやりがいを実感させる。	5~9月			○				○	281名	有	http://www.yamaken.or.jp/	y.kyoukai@yamaken.or.jp	
		○けんせつ小町に会おう！現場見学会と座談会 女子学生限定での現場見学会で、けんせつ小町との座談会も同時に開催し、女性の入職を目指す。	8月		○	○				○	55名	有			
		○高校生現場実習(インターンシップ) 会員企業および山口県測量設計業協会と連携して、若年者を対象にしたインターンシップ(現場実習)を行う。	6~2月			○					31名	有			
	出前講座・講習会														
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設業イメージアップポスターの作成配布 高校生を対象にした建設業イメージアップポスターを募集し、最優秀作品を大型ポスターにして、県内全ての高校や関係団体に配布する。更に入選作品については安全大会で掲示し、協会広報誌やホームページにも活用する。	7~11月			○					159名	有			
		○社会貢献活動PR誌ピラーラーの作成配布 地元建設企業が行うボランティアや災害復旧等の社会貢献活動を中心とした一般人向けの広報誌を作成し、現場見学会や地域イベント等で広く配布する。	2月	○	○	○	○	○	○	○	-	無			
	資格取得支援	○建設業経理事務士 高校生に対し、建設企業への就職に有利な建設業経理事務士の資格取得を支援することで入職率のアップを目指す。	7~12月			○					30名	有			
		○建災防の法定教育訓練 若年定着支援事業として、40歳以下を対象とした建災防の法定教育訓練を無料で行い、資格取得を支援する。	9月	○	○	○					27名	有			
	合同企業説明会														
	イベント開催・参加	○やまぐち建設産業魅力発見フェア 高校および中学校を対象に建設12団体による業界PRのための体験会やDVD上映、ドローン等の実演を行う。また、企業ブースを60社分設置し、企業担当者による仕事紹介も行う。	6月			○	○				約700名	有			
		○やまぐち建設フェス 県市建設団体および企業による小中学生以下を対象にした建設機械の展示、搭乗体験、建設業に関わるミニゲーム等を行う。	9月				○	○	○	○	約4,000名	有			
(一社)香川県建設業協会	産官学連携の協議会	○山口県地域を支える建設産業担い手確保育成協議会 県内の建設業団体、教育機関、関係行政機関等が、担い手確保育成取組を効果的に推進するために18団体で構成する。	5月							○	23名			https://www.kaken-honbu.or.jp/	087-851-7919
	教諭との意見交換会														
	その他														
	現場見学会														
	インターンシップ (職業体験学習)	○土木建築関係学科の高校3年生を対象に企業の体験入職の実施	6月			○					125名				
		○土木関係学科の高校2年生を対象に企業の体験入職の実施	10月			○					26名				
		○土木関係学科の高校2年生を対象に企業の体験入職の実施	12月			○					15名				
	出前講座・講習会														
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)														
	資格取得支援														
	合同企業説明会														
	イベント開催・参加	○県内の若年建設従事者確保育成のため、建築関係学科の高校生1年生と若手建設従事者との意見交換会の実施	12月			○					35名		香川県土木部		
		○県内の若年建設従事者確保育成のため、土木関係学科の高校生1年生と若手建設従事者との意見交換会の実施	10月			○					24名				
	産官学連携の協議会														
	教諭との意見交換会														
	その他														

令和7年度 建設産業人材確保育成推進協議会 構成団体における担い手確保育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象							参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先				
				大学 (短 大) 生	専 門 学 校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者	教 諭								
(一社)徳島県建設業協会	現場見学会	○現場見学&体験セミナー 県内の土木建築系の学科を有する高校(県内3校)の学生の、卒業後の進路選択の参考としてもうとも、建設業に対する関心度や建設業界への入職意欲のアップを図ることを目的に、国土交通省や徳島県と連携し現場見学会を実施。昨年度より、見る聞くだけの機会ではなく実際に作業を体験する場面を設け、3Dスキャナやマジックタブ等i-Constructionに対応した重機操縦体験などを提供している。	11月			○						徳島科学技術高校2年 環境土木コース、建築コース、つるぎ高校2年 土木コース 建築コース、阿南光高校2年 都市環境システム科 計100名程度	四国地方整備局、徳島県、徳島県土木施工管理技士会	https://www.tokukens.or.jp/	088-622-3113			
		○現場体験セミナー 実際の建設現場で検査や測量の作業を体験してもらうことで、建設業への関心度や建設業界への入職意欲のアップを図ることを目的に、県内の土木系の学科を有する高校(1校を対象)の学生を対象に現場体験セミナーを開催している。近年は、鉄筋の結束などアナログな体験に加えICT技術を活用した測量や重機の体験を実施している。	11月			○						徳島科学技術高校1年(2年生から環境土木コースに進む生徒)30名程度	四国地方整備局、徳島県土木施工管理技士会					
	インターンシップ (職業体験学習)																	
	出前講座・講習会	○小学校への出前講座(ドローン操縦体験の提供) 徳島県との連携により、県内小学校に出向き、日々の暮らしを支え、生活を便利で快適にし、台風や地震津波などの災害から命と財産を守る「建設の仕事」と、南海トラフ巨大地震などに対する「防災」について説明する出前講座を実施しており、協会としてはドローンの操縦体験を提供している。	9~11月					○				藍畑小4年25名、昼間小6年27名、由岐小4,5,6年12名	徳島県					
		○中学生・高校生への出前講座(建設業に関する講演、意見交換) 中学生や高校生の職業選択の参考としてもうことを目的とし、建設業で働く技術者や女性からの講演により、建設業の仕事、役割、防災対応、女性活躍、ICT技術の進展など、現在は男性女性問わず、建設業を選んでもらえるよう若い人にも魅力がある仕事になってきていることをPRしている。	9~2月			○	○					南部中2年217名、阿南光高1年25名、山川中2年69名、三島中全学年24名	徳島県					
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○地元新聞へのPR広告掲載 「まちをつくり、地域を守る」建設業の果たしている役割を広く正しく知って頂き、建設業に対する理解の増進やイメージアップを図るため、地元新聞等に紙面広告を掲載。	1月	○	○	○	○	○	○	○	-			無				
	資格取得支援	○建設業経理事務士特別研修 建設業経理事務士の資格取得支援による建設業への入職促進を目的とし、県内土木コースなどを有する高校の生徒を対象とした「高校生建設業経理事務士特別研修」を実施している。	7月			○					-			無				
	合同企業説明会																	
	イベント開催・参加	○建設重機の試乗体験 小学生などを対象としたお仕事体験イベントに出展し、建設重機の試乗体験を提供する。	11月					○			-			ハローワーク徳島				
	産官学連携の協議会																	
	教諭との意見交換会																	
	その他	○体幹トレーニングの提供 県内の高校などで部活動に取り組む生徒を対象に、体幹トレーナーの木場克己氏による体幹トレーニングを提供し選手の能力向上と建設業のPRを図っている。	12月			○						バレーボル、サッカーボル、陸上部、バスケ部など1回あたり約80名						
(一社)愛媛県建設業協会	現場見学会	○高校生工事現場見学会 県内の建設事業や建設技術への認識と理解を深め、若者の将来の進路選択の指針となるよう実施。	10~2月				○				○	①西条農業高校環境工学科1年生17名、先生2名 ②東予高校建設工学科1,2,3年生50名、先生3名 ③松山工業高校土木科2年生38名、先生2名 ④松山工業高校建築科2年生40名、先生2名 ⑤松山聖陵高校建築科2年生30名、先生2名 ⑥伊予農業高校環境開発科1年生26名、先生2名 ⑦八幡浜工業高校機械土木工学科2年生11名、先生2名 ⑧吉田高校機械建築工学科1年生38名、先生2名	無	https://www.himekenyo.or.jp/index01.html	089-943-5324			
	インターンシップ (職業体験学習)	○高校生インターンシップ 企業の体験入職を実施。	8~1月			○						①西条農業高校環境工学科2年生12名 ②東予高校建設工学科2年生(人数不明) ③松山工業高校土木科2年生34名 ④松山工業高校建築科2年生36名 ⑤八幡浜工業高校機械土木工学科2年生5名 ⑥吉田高校機械建築工学科1年生(人数不明)	無					
	出前講座・講習会																	
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設産業魅力発信動画配信 将来の進学や職業選択の一助となるよう建設産業の魅力や役割をPRするためYouTube等のSNSを活用し、広く広報することにより建設業への入職促進を図る。	11月	○	○	○	○	○	○	○	-		愛媛県愛媛県建設産業団体連合会					
		○建設産業魅力発信新聞配布(ひめ建新聞) 県内公立中学校1・2年生を対象に、建設産業の魅力や役割をPRするひめ建新聞を発行配布し、建設産業への入職意欲の喚起、イメージアップを図る。	11月					○				-		愛媛県愛媛県建設産業団体連合会				
	資格取得支援	○4級3級建設業経理事務士特別研修 松山工業高校建築科土木科1・2年生に対し、建設業経理事務士特別研修を実施。	7、8月			○						松山工業高校建築科土木科1年生各40名、2年生1~2名	無					
	合同企業説明会																	
	イベント開催・参加	○えひめ産業まつり(すごいもの博)出展 建設機械操作体験や大型重機展示を行うとともに、ひめ建新聞や建設産業ガイドブック等を配布。建設産業の重要性や魅力を広く県民にPRし、イメージアップを図る。	11月	○	○	○	○	○	○	○	-		愛媛県愛媛県建設産業団体連合会					
	産官学連携の協議会																	
	教諭との意見交換会																	
	その他																	

令和7年度 建設産業人材確保育成推進協議会 構成団体における扱い手確保育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象						参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先	
				大学 (短大) 生	専 門 学 校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者					
(一社)高知県建設業協会	現場見学会	○建設バス 建設の専門課程で建設業を学び始めた学生(高校1・2年生、高専3年生)に実施。	11~12月			○				○	安芸高校、高知農業高校、高知工業高校、宿毛工業高校、高知高専 約150名	無	https://www.kokenkyo.or.jp/	088-822-6181
		○土木工事1日体験 県内の高校生中学生とその保護者、教員を対象に、重機見学やドローン操縦体験等を通じて、建設業を職業選択肢のひとつに加えてもらうために実施。	10月			○	○		○	○	40名程度	高知県		
	インターンシップ (職業体験学習)	○高校生現場実習 就職活動開始前の高校2年生を対象に企業の体験入職を実施。	通年			○					安芸高校、高知農業高校、高知工業高校、宿毛工業高校 約50名	無		
	出前講座・講習会	○出前授業、1日現場体験(実施主体は協会各支部) 県内の中学を対象にドローンや重機の操作体験、座学などを高知県土木部と協力して実施。	通年				○				700名	高知県		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○テレビCM、映画館CM、ラジオCM、InstagramYouTube広告 内容は、建設業の魅力をPRしたり、災害時の建設業の役割を伝えるもの。	通年	○	○	○	○	○	○	○	-	無		
		○建設業の魅力PR動画 主として若年層を対象に、建設業のイメージアップ、入職促進につながる内容の動画を作成し、YouTubeに公開する。	通年	○	○	○	○	○	○	○	-	無		
		○リクルートページの運用 会員企業の求人関連情報を掲載したホームページ。	通年	○	○	○	○		○	○	約60社掲載	無		
		○建設業ガイドブックの作成配布 就職活動を目前に控えた高校3年生に配布。				○		○	○	○	1,000部配布	無		
	資格取得支援													
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加	○けんせつの絵コンテスト 建設に因んだ絵を応募してもらいコンテスト形式により実施。知事賞、高知市長賞、四国地方整備局長賞等の各賞を用意し、下記建設フェスタにおいて表彰式を実施。審査員に学校の先生にも参加いただいている。	5~10月					○		○	131作品(応募数)	高知県測量設計業協会		
		○高知県コンストラクション甲子園(高校生が登場) 建設に因んだクイズ大会。後日テレビ番組として放送。 大会当日および後日のテレビ番組による放送で、参加者である高校生の頑張り、地域の建設事業者との関わりの様子などを見ていただくことで、高校生や、その親世代祖父母世代など、幅広い年齢層の方々に建設業に対する興味や理解を頂くことを目的に開催。	12~1月	○	○	○	○	○	○	○	-	無(企画には四国地整、高知県が参画)		
		○こうち建設フェスタ 建設業の役割や魅力を発信し担い手確保、建設業への理解促進を促す。重機、ドローンの操縦体験や、様々な出展ブースとステージイベントを実施。高校、高専にブース出展いただいている。	10月	○	○	○	○	○	○	○	来場者5,000名	無		
	産官学連携の協議会													
	教諭との意見交換会	○高知県高校土木教育研究会 高校の土木教員同士の意見交換会へ建設業協会も参加。授業内容や就職進路状況の情報交換と、協会との意見交換会。								○	安芸高校、高知農業高校、高知工業高校、宿毛工業高校等の教員20名程度	無		
	その他													
(一社)福岡県建設業協会	現場見学会	○高校生の現場見学会(体験も含む) 施工中の現場見学会を行い、技術者(現場代理人)の業務内容や実際に働いている技能者の仕事をみてもらう。	10~12月			○					約200名(4~5高校、5~7クラス)	無	https://fukukensei.or.jp/	092-477-6731
	インターンシップ (職業体験学習)													
	出前講座・講習会													
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○広報誌「ひとまちふくおか」の作成・配布 イメージアップを目的とした冊子を1回当たり14,000部、年3回作成、高校・専門学校・大学・公民館・行政・関係団体等へ配布。	7、12、2月	○	○	○				○	-	無		
		○福岡小学生新聞広告 123,000部発行される新聞に「お仕事たんけん建設業 第1回まちづくり編」として掲載。福岡全小学校へ配布。	10月					○			150校	無		
	資格取得支援													
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加	○ふくおか夏休みチャレンジフェスタ2025 建設産業に関心を持ってもらう為、展示・体験企画を実施し魅力を伝える。	8月					○	○		100名以上	県、測量・設計コンサルタント協会他		
		○ふくおかケンセツ☆ジュニアラボ 建設産業に関心を持ってもらう為、展示・体験企画を実施し魅力を伝える。	11月					○	○		120人	福岡県建設産業魅力発信・女性活躍実行委員会		
		○土木の日フェア2025 土木とのふれあい、工作体験を通じて、土木技術や土木事業に対する認識とご理解を深めてもらう。	10月					○	○		200名以上	土木学会、県、国、市、大学他		
	産官学連携の協議会													
	教諭との意見交換会	○福岡県工業高等学校校長会との意見交換会 インターンシップおよび教師の現場見学会について、当協会労務委員会と意見交換会および現場見学会を実施。	8月							○	校長会(14名)、労務委員会(7名)	無		
	その他													
(一社)佐賀県建設業協会	現場見学会	○夏休み親子見学会 夏休みに県内在住の親子(小学生)を対象に、九州佐賀国際空港とSAGAアリーナのバックヤード見学会を実施。	8月					○	○		30名	無	https://sakenkyo.or.jp/	0952-23-3117
	インターンシップ (職業体験学習)													
	出前講座・講習会	○小中学校への出前講座 県内小中学校で希望のあった学校に対し、座学と重機の試乗体験などを組み合わせた出前授業を実施。	5~12月			○	○		○		約800名	無		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設業界ガイドブックの配布 県内工業系高校に配布した。	通年			○					-	建設業振興基金		
	資格取得支援													
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加													
	産官学連携の協議会													
	教諭との意見交換会	○工業系高校進路指導教諭等との懇談会	7月							○	20名	無		
	その他	○夏休み親子防災教室 夏休みに県内在住の親子(主に小学生)を対象に、防災に対する注意喚起と防災食体験を実施。	8月					○	○		30名	無		
		○女子工業高校生と女性技術者との意見交換会 県内の女子工業高校生と女性技術者(協会・佐賀県)との意見交換会を実施。	12月			○				○	80名	佐賀県		

令和7年度 建設産業人材確保育成推進協議会 構成団体における担い手確保育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象						参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先
				大学 (短大)生	専門 学校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者				
(一社)長崎県建設業協会	現場見学会	○女性のための建設業体験学習 主にこれから担い手になるかもしれない女子高校生を対象として、女性(県職員建設業設計コンサル)が活躍している建設現場の見学会を実施。	11月			○					2会場 26名参加	長崎県	TEL:095- 826-2285 https://ngsk-kenkyou.jp/ メール: master@ngsk-kenkyou.or.jp
	インターンシップ (職業体験学習)	○高校生のインターンシップ 就職活動開始前の高校2年生を対象に企業の体験入職を実施。	10~12月			○					大村工業高校 建設工業科2年生39名 佐世保工業高校 土木科2年生37名 鹿町工業高校 土木技術科2年生22名 諫早農業高校 農業土木科2年生39名 佐世保工業高校 建築科2年生20名 島原工業高校 建築技術科2年37名	無	
	出前講座・講習会	○工業高校への出前講座 ICT測量機器を用いた実習を実施。	5月			○					長崎工業高校3年生39名	無	
		○工業高校への出前講座 DXドローン実習の実施。	11月			○					長崎工業高校1年生40名	無	
		○工業高校への出前講座 施工図実習の実施。	2月			○					長崎工業高校2年生40名	無	
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設業界ガイドブックの工業高校への贈呈 建設業界ガイドブックを工業高校へ贈呈。	5月			○					-	無	
		○学生向け就活情報誌「長崎新聞NRJ」への記事掲載 長崎新聞が毎月初日に発行している高校生大学生向け就活情報誌「NRJ」に、会員企業のPR記事を掲載。	7月	○	○	○	○	○	○	○	-	無	
		○業界PR冊子「今こそ!建設業」の作成配布 建設業の魅力や社会的な役割、建設業で働く方(技術者技能者)のインタビュー記事等を掲載した業界PR冊子を作成し、大学高校等へ配布するほか、県内の職業安定所へ設置。	12月	○	○	○	○	○	○	○	-	長崎労働局	
		○会員企業の紹介冊子「建設会社ガイド」の作成配布 会員企業PRのための冊子の作成配布。	2月	○	○	○					-	無	
	資格取得支援	○建設業経理事務士特別研修 工業高校の生徒を対象に建設業経理事務士特別研修を実施。	1月			○					未定	無	
	合同企業説明会												
	イベント開催・参加	○土木の日イベント 小中学生高校生とその保護者等に対して、建設業界の魅力を発信するためのPRイベントを県内各地で開催。	11月	○	○	○	○	○	○	○	-	九地整長崎河川国道事務所、長崎県土木部、長崎市、佐世保市、諫早市、大村市、長崎大学等	
	産官学連携の協議会	○産学官連携建設業人材確保育成協議会 国県大学工業高校専門工事業団体等と県内雇用動向や人材確保育成に関する情報共有意見交換を実施。	9月							○	九地整長崎河川国道事務所、長崎県土木部、長崎市財務部、長崎大学、長崎総合科学大学、長崎工業高校、大村工業高校、建設技術研究センター、長崎労働局、専門工事業団体等	無	
	教諭との意見交換会	○工業高校教諭との意見交換会 工業高校の教諭と会員企業の採用担当者等との意見交換会を開催。生徒の就職活動や入社後の教育において、学校、企業がお互いにお願いしたいこと等について情報共有を行う。	12月						○	企業38社38名 学校教諭等21名	長崎県		
	その他												
(一社)熊本県建設業協会	現場見学会	○高校生(普通高校含む)を対象とした現場見学会 施工中の現場の見学会を行い、実際に働いている技術者技能者を見てもらう。	10~3月			○			○	○	建設関連学科高校普通高校 約400名 保護者約40名	熊本県建設産業団体連合会	https://kumaken.or.jp/publics/index/141/ 096-366-5111
		○建設関連学科高校生の保護者を対象とした現場見学会【熊本玉名支部】							○				
	インターンシップ (職業体験学習)	○高校生のインターンシップ 就職活動前の高校2年生を対象に企業(現場)の体験入職を実施。	10~12月			○					建設関連学科高校 約200名	熊本県建設産業団体連合会	
	出前講座・講習会	○小中高校生への出前授業【本部各支部】 建設産業の魅力や仕事内容を説明(対面WEB)	通年			○	○	○			小中高生 約400名	無	
		○学校内での出前実習講座【宇城支部】				○	○	○					
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設業ガイドブックノベルティートパックの配布	通年			○	○	○	○		-	無	
		○建設ラボセットの活用 イベント等で活用できるおもちゃのショベルカー等を本部にて購入し、各支部等に貸し出す。	通年			○	○	○	○		-		
		○SNSを活用した広報の実施 公式Instagramの開始 10月から内容を一般向けから高校生向けに変更。フォロワー数2,500。	通年			○					-	無	
		○建設産業のお仕事紹介動画の制作 建設業許可業種29業種のお仕事紹介動画を5分程度で制作。現在、「左官工事編土木技術者編解体工事編」が完成し、公式YouTubeにて公開中。	通年			○	○	○	○	○	-	無	
		○パンフレットの制作(2種類)配布 高校生とその保護者向け、小中学生および一般向けを制作。出前授業やイベント、オープンキャンパス、建設関連学科高校の授業で活用。	通年			○	○	○	○	○	-	無	
		○県内建設関連学科の学生にスポットをあてた「めざせ!くまもとの若き匠たち」への番組協賛および撮影協力	通年			○	○	○	○	○	-	無	
		○中学生向けオープンキャンパスへの支援 建設関連学科高校で行われるオープンキャンパスでパンフレットとノベルティの提供。	7、8月				○		○		県内中学生とその保護者	無	

令和7年度 建設産業人材確保育成推進協議会 構成団体における担い手確保育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象						参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先
				大学 (短 大) 生	専 門 学 校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者				
(一社)熊本県建設業協会	資格取得支援	○2級技士補受検費用補助(土木建築) 建設関連学科高校在学者対象に受験費用の内2,000円を助成。	通年			○					県内建設関連学科高校23年	無	https://kumaken.or.jp/publics/index/141/ 096-366-5111
	合同企業説明会	○高校生を対象とした就職説明会【玉名支部天草支部】	5~12月		○						約250名	無	
	イベント開催・参加	○恋龍祭【芦北支部】 小学生とその保護者を対象に、おもちゃのショベルカ一体験により建設業の魅力を発信する。	5月				○	○			約250名	無	
		○キッズお仕事チャレンジ【青年部本部共催】 小学生とその保護者を対象に、おもちゃのショベルカ一体験させ、建設業の仕事を理解してもらう。	9月				○	○			約100名	無	
		○第35回からいもフェスティバル【菊池支部】 小学生とその保護者を対象に、おもちゃのショベルカ一体験や高所作業車体験により建設業の魅力を発信する。	11月				○	○				無	
		○ORKK祭り【熊本県土木部青年部】 小中高校生および一般向けを対象におもちゃのショベルカ一体験やVRを使用した重機操作をしてもらい建設業について理解を深めてもらう。	10月	○	○	○	○	○	○			無	
		○ハロウィン祭り【熊本県土木部青年部】 小中高校生および一般向けを対象に、おもちゃのショベルカ一体験やVRを使用した重機操作をしてもらい建設業について理解を深めてもらう。	10月	○	○	○	○	○	○			無	
		○御船町防災フェア【上益城支部】 小学生とその保護者を対象に、おもちゃのショベルカ一体験させ建設業の仕事を理解してもらう。	10月				○	○			約120名	無	
		○五木村秋まつり【人吉支部】 小学生とその保護者を対象に、おもちゃのショベルカ一体験させ建設業の仕事を理解してもらう。	10月				○	○			約200名	無	
		○土木の体験会【熊本支部】 小中高校生および一般向けを対象に、重機の試乗体験や、測量体験、ドローンシミュレーション体験などを通じ、建設業に対する理解を深めてもらう。	11月	○	○	○	○	○	○			無	
	産官学連携の協議会												
	教諭との意見交換会	○県内高校教諭との意見交換会	11月						○		約40名	無	
	その他	○3者(行政報道業界)での意見交換会 人材確保のための広報活動において行政報道関係者との意見交換を行い、連携して効果的な手法に取り組む。	1月								行政報道業界関係者	無	
		○熊本建設産業団体連合会と熊本県高等学校教育研究会工業部会との建設関連産業の専門教育に関する協定(高校への出前講座実習)(建産連会員)	通年			○				○		無	
		○熊本建設産業団体連合会と熊本県高等学校教育研究会農業部会との建設関連産業の専門教育に関する協定(高校への出前講座実習)(建産連会員)	通年			○				○		無	
(一社)大分県建設業協会	現場見学会	○高校生向け現場見学体験学習会【県委託】 県からの委託事業で、県内の建設系学科で学ぶ工業高校生を対象に毎年実施。	9~12月		○				○	5校6クラス 1年生250名程度	県主催	https://www.oitakenkyo.or.jp/index.html 097-536-4800	
	インターンシップ(職業体験学習)	○大分工業高校建築科、鶴崎工業高校建築科インターンシップ 上記2校の生徒を対象に毎年実施。	9、10月		○					各校 2年生40名	無		
	出前講座・講習会	※下記産学官連携組織BUILD OITAにて実施している。											
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	※下記産学官連携組織BUILD OITAにて実施している。											
	資格取得支援												
	合同企業説明会												
	イベント開催・参加	○第5回土木建築フェスタin大分駅前【青年部会】 右記3者共催で毎年秋に大分駅前で開催する体験イベント。	10月18日				○	○		R6実績:2,854名	国土交通省大分河川国道事務所 大分県土木建築部 建設業協会青年部会		
							○	○					
	産官学連携の協議会	○おおいた建設人材共育ネットワーク(BUILD OITA) H28年度設立の産学官連携組織。現在38団体で組織し各種出前講座やイベント等の事業を協働で実施している。 https://buildoita.jp/	通年	○	○	○	○	○	○		※左記サイト参照のこと		
	教諭との意見交換会												
	その他												
(一社)宮崎県建設業協会	現場見学会	○高校生を中心とした現場見学会 生徒、教諭に建設工事を見学してもらい、建設業への理解や興味関心を高める機会とする。	7~2月		○				○	工業系高校1、2年生 115名 工業系以外高校1、2、3年生 289名	宮崎河川国道事務所、県県土整備部	http://www.miyazaki-kenkyo.or.jp/ 0985-22-7171	
		○中学生を対象とした現場見学会	7~2月			○				2年生 15名	市(教育委員会)		
	インターンシップ(職業体験学習)	○工業系高校生のインターンシップ 就業体験による建設業の魅力を体感する。	10~12月		○					工業系高校2年生 105名	市(教育委員会)		
	出前講座・講習会	○高校生を対象とした出前講座 企業の代表者による講話を通じ、建設業について理解する。	7~2月		○					工業系高校1、2年生 115名 工業系以外高校1、2、3年生 220名	県土整備部		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○テレビCM 視覚を通じて建設業のPRおよびイメージ戦略。	4~3月	○	○	○	○	○	○	県土整備部	県土整備部		
	資格取得支援												
	合同企業説明会	○工業系高校での企業説明会 地元建設産業企業への入職促進を図るための企業説明会を開催。	7月		○					工業高校3年生 27名	県土整備部		

令和7年度 建設産業人材確保育成推進協議会 構成団体における扱い手確保育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象							参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先	
				大学 (短 大) 生	専 門 学 校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者	教 諭					
(一社)宮崎県建設業協会	イベント開催・参加	○みやざき建設技術フェア 建設業の魅力を広く発信し、人材確保につなげる。	11月			○	○	○	○	○	○	約7,000名	県土整備部	http://www.miyazaki-kenkyo.or.jp/	0985-22-7171
		○工業高校生と若手技術者との交流会の開催 生徒と若手技術者等との交流を通じ、建設業の魅力を伝え県内建設業への就職につなげる。	10月			○						工業高校1、2年生 65名	県土整備部		
		○各支部による魅力発信事業 各地区協会青年部が小中高校において出前講座や共同作業を実施し、建設業をPRする。	9月～12月			○	○	○	○	○	○	約600名	県土整備部		
		○工業系高校生を対象にした「建設業職業体験会」の開催 測量、塗装、コンクリート橋構成の取り付け、ドローン操縦等の体験を通じ、建設業の仕事を理解する。	11月			○						工業系高校1年生 24名	県土整備部		
		○建設産業扱い手確保連携協議会 扱い手確保の取り組みの紹介、求人および就職状況等建設産業への人材確保育成にむけての意見交換会。	2月						○	産 9名 学 4名 官 15名		県土整備部			
	教諭との意見交換会														
	その他														
(一社)鹿児島県建設業協会	現場見学会	○工業系の4高校の1年生又は2年生を対象に、施工中の建設現場を見学してもらい、建設業のやりがいや魅力をPRし、将来の扱い手の入職促進を図る。	10～12月			○						約180名	地方整備局の各事務所 県土木部の出先機関	https://kakenkyo.com/	099-230-0081
	インターンシップ (職業体験学習)	○工業系の4高校の就職活動前の2年生を対象に、建設現場で実習を行い、建設業のやりがいや魅力をPRし、将来の扱い手の入職促進を図る。	11～12月			○						約70名	無		
	出前講座・講習会	○保育所、小中高校や地域活動の場において、建設業を知ってもらうため、建設機械や模型等に触れ合うこと等により、建設業に理解を深めるとともに、興味を持ってもらう。	4～3月			○	○	○	○			約2,400名	無		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○「鹿児島県のおしごと本2025」を活用した広報活動 県内すべての小学5年生に向けて発行される教科書(副教材) 「鹿児島県のおしごと本2025」に「建設(土木)技術者のおしごと」を掲載し、建設業の仕事を理解を深めてもらう。	10月					○				約15,000名	無		
	資格取得支援														
	合同企業説明会	○建設産業合同企業説明会 工業系の9高校(主に2年生)と1専門学校の1年生を一堂に集め、出展ブース方式により参加企業の魅力や、仕事内陽、労働環境等を直接伝えることにより、地元建設業を選択肢の一つとしてもらい、将来の扱い手確保を図る。	2月		○	○						約600名	県土木部		
	イベント開催・参加	○就活応援キャラバン高校別企業ガイダンス 工業系の10高校の主に3年生を対象に、企業(96社)の採用担当者等が各高校を訪問し(延べ325社)質疑応答方式により参加企業の魅力や、仕事内陽、労働環境等を直接伝えることにより、参加企業の採用活動を円滑にし、将来の扱い手確保を図る。	5～6月			○						715名	県土木部		
		○若手経営者と語る会の実施 工業系の1高校の2年生を対象に、若手経営者から建設業の社会的使命や現状を伝えるとともに、質疑応答を行い建設業への理解を深め将来の扱い手確保を図る。	9月			○						約80名	無		
		○若手技術者との交流会等の実施 工業系の1高校の2年生を対象に、現場で活躍する女性技術者から建設産業の魅力や現状を伝えるとともに、質疑応答を行ない、建設業への理解を深め将来の扱い手確保を図る。	9月			○						約80名	県土木部		
	産官学連携の協議会														
	教諭との意見交換会														
	その他														
(一社)沖縄県建設業協会	現場見学会	○現場見学会 施工中の現場の見学会を行い、実際に働いている技術者技能者の仕事を見てもらい、建設業へ入職の啓発を行う。	7～12月			○						沖縄工業高校建築84名 南部工業高校46名 名護商工高校49名 沖縄工業高校土木80名 浦添工業高校1年79名 浦添工業高校2年76名 美里工業高校77名 美来工科高校58名	無	http://www.okikenkyo.or.jp/	098-876-5211
		○現場見学会レポートの作成、配布 現場見学会に参加した学生と教諭から建設業に対する意識調査のアンケートを実施し集計。建設業界に対する理解と認識を深めてもらう。	7～3月			○				○	-		無		
	インターンシップ (職業体験学習)	○入職後のギャップを無くし離職率を下げるよう、実際の職場を体験している。	6～11月			○						美来工科高校17名	無		
	出前講座・講習会	○加工技術等の体験会 技術者等による学校内での指導を行うことにより、現場に即した技術の習得を目指す。(鉄筋型枠実習)	6～1月			○						美里工業高校31名	無		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○会報誌の発行 県内建設業界の動向を紹介すると共に、高校生が働くイメージを持てるよう、先輩からのメッセージ記事を掲載している。	1～12月			○					-		無		
		○フォトコンテスト写真集の作成 広く一般にも建設業の持つ魅力を啓発するフォトコンテストを実施し、広報するための写真集を発刊した。	2月			○				○	○	-		無	

令和7年度 建設産業人材確保育成推進協議会 構成団体における担い手確保育成の取組み一覧(都道府県建設業協会)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象						参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先	
				大学 (短 大) 生	専 門 学 校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者	教 諭				
(一社)沖縄県建設業協会	資格取得支援	○2級土木建築施工管理技士(一次)基本講座開催 放課後に学校の教室で講座を開き資格取得に向けて取り組んだ。受講料の補助も行う。	6月、11月		○						沖縄工業高校33名 浦添工業高校40名 名護商工高校7名 美里工業高校21名 南部工業高校1名 宮古総合実業高校3名	無	http://www.okikenkyo.or.jp/	098-876-5211
		○経理事務士(3・4級)特別研修 夏休み期間に特別研修を開催し、資格取得に向けて取り組んだ。受講料の補助も行う。	7~8月		○						【4級】 沖縄工業高校土木5名 沖縄工業高校建築7名 名護商工高校8名 浦添工業高校3名 美里工業高校9名 南部工業高校1名 【3級】 沖縄工業高校土木4名 沖縄工業高校建築6名 名護商工高校2名 美里工業高校5名	無		
		○小型車両系特別教育 夏休み期間に特別教育を開催し、資格取得に向けて取り組んだ。受講料の補助も行う。	7~8月		○						沖縄工業高校建築17名 沖縄工業高校土木28名 南部工業高校8名 名護商工高校6名 浦添工業高校4名 美里工業高校16名 美来工科高校16名 八重山商工12名	無		
	合同企業説明会	○建設産業合同企業説明会 産学官と連携し、県内建設関連企業合同で企業説明会を行うことにより、企業担当者より直接会社説明を聞くことで就職を促す。	6月	○	○	○					1,000名	(一社)沖縄県建設産業団体連合会		
	イベント開催・参加	○おきなわ建設フェスタへの参画 建設業の魅力や役割を、体験イベントやパネル展示などを通じて、伝え将来の建設業への入職へ繋げる。	11月					○	○		11,000人	無		
	産官学連携の協議会	○雇用改善事業推進委員会 雇用改善事業実施についての計画の策定、効果的な事業の為に必要な事項の検討検証する会議の開催。	10月、2月							○	沖縄労働局2名 沖縄県5名 教諭2名 関係団体2名 沖建協14名	沖縄労働局、 沖縄県商工労働部土木建築部農林水産部、教育庁、 関連団体		
		○地域別産学官との意見交換会 各地域において、産学官と連携し、事業実施に必要な事業の策定効果を検証する会議の開催。	8月							○	5会場/70名 (参加機関) 沖縄公共職業安定所 教諭 関連団体 沖建協	労働政策担当職員、教諭、 関連団体、雇用改善担当職員		
	教諭との意見交換会	○工業高校教諭との意見交換会 県内の工業高校教諭へ当年の雇用改善事業について実施の連絡と意見交換する場としている。	4月							○	沖縄工業高校建築 沖縄工業高校土木 浦添工業高校 南部工業高校 名護商工高校 美里工業高校 美来工科高校	無		
	その他													

令和7年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会以外)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象							参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先	
				大学 (短大 ・生)	専門 学校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者	教 諭					
(一社)日本建設業連合会	現場見学会	○けんせつ探検隊 小中学生の親子を対象とした現場見学会を実施。	通年			○	○	○			219名	無	https://www.nikkenren.com/ 03-3553-4095		
		○市民現場見学会 一般市民や学生を対象にした現場見学会を実施。	4~3月	○	○	○	○	○	○	○	28名(9/25実施分)	無			
	インターンシップ (職業体験学習)														
	出前講座・講習会	○日建協・出前講座	10~1月	○					○	未定		日建連協			
		○土木工学系の大学生を対象とした出前講座	6~1月	○					○	未定		無			
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○日建連表彰・PRコンテンツ作成 普段建設業と関わらない一般の人々、特に若年層へ向けて、建設の仕事の魅力を伝えるために、人気漫画とコラボしたアニメーションを作成、YouTubeや他SNSへ掲載。	12月	○	○	○	○	○	○	-		無			
		○長期ビジョンPR動画 将来の担い手となる若者に向けた、2050年を見据えた建設業のあるべき姿を描いたPR動画を作成し、YouTubeへ掲載、SNS広告や映画館でのCM上映を実施。	10、12月	○	○	○	○	○	○	○	-		無		
		○ACE建設業界(広報誌) 建設業の旬の話題や日建連の活動報告、有識者からの意見・提言などを掲載。	毎月	○	○	○				○	約19,500部発行	無			
		○YouTube/インスタグラム けんせつ小町チャンネル 建設業に関心がある女性に向けて建設現場の技術者・技能者の動画を作成等。	随時	○	○	○	○	○	○	○	-		無		
	資格取得支援	○建設スキルアップサポート制度 高校等在学中の技能・技術資格取得に要した受験料・受講料の半額をキャッシュバック(総額10,000円を限度)。	通年	○	○	○	○				未定	無			
	合同企業説明会														
	イベント開催・参加														
	産官学連携の協議会														
	教諭との意見交換会														
	その他	○「建設現場実装プロジェクト」への協力	5月	○			○	-			無				
(一社)全国建設業協会	現場見学会													https://www.zenken-net.or.jp/ 03-3551-9396	
	インターンシップ (職業体験学習)														
	出前講座・講習会														
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設学習帳 本会並びに各都道府県建設業協会が主催・参加するイベント等で配布(9年間で50万冊を配布)。	7月~				○				年間5万冊	無			
	資格取得支援														
	合同企業説明会														
	イベント開催・参加														
	産官学連携の協議会														
建設産業専門団体 北海道地区連合会	教諭との意見交換会													http://www.kenken.or.jp/ 011-803-0559	
	その他														
	現場見学会	○高校生を対象とした現場見学会 札幌工業高校建築科2年生69名 左官・型枠・鉄筋・鳶土工体験学習会および現場見学会	7月			○					69名	有			
	インターンシップ (職業体験学習)														
	出前講座・講習会	○高校生を対象とした体験学習 札幌工業高校建築科2年生69名体験学習会	7月		○				○	69名	有				
		○高校生を対象とした体験学習 札幌近郊高校1・2年生体験学習会	9~11月		○				○	4,110名	有				
		○中学生を対象とした体験学習 札幌近郊中学校2年生体験学習会	10月			○			○	1,050名	有				
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)														
	資格取得支援														
	合同企業説明会														
建設産業専門団体 東北地区連合会	イベント開催・参加	○「建設産業ふれあい展」札幌駅前地下歩行空間 老若男女に対して、建設業界の魅力を発信するためのPRイベント・体験学習会を開催	1、10、11月	○	○	○	○	○	○	約20,000名	有			http://www.kenken.or.jp/ 022-265-0887	
	産官学連携の協議会														
	教諭との意見交換会														
	その他														
	現場見学会														
	インターンシップ (職業体験学習)														
	出前講座・講習会	○みやぎ建設産業架け橋サロン 宮城県主導で地元高校を訪問し、生徒に対し建設産業の魅力ややりがいを伝える。	12月~3月		○						40名×6校	県土木部			
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)														
	資格取得支援														
	合同企業説明会														
建設産業専門団体 四国地区連合会	イベント開催・参加	○建設フェスティバル 従来の表彰式典に加え、新たに体験・展示ブースを設けて開催した。 (専門工事業団体18、大手ゼネコン2、大学1、行政3出展)。加えて、小学生の絵画コンクールも実施した。また、基調講演は藤本社介氏を招いてを行い、講演後は、東北工業大学建築科の学生とトークセッションを実施した。	10月	○	○	○	○	○	○	1,150名 (内、大学生150名)	(一社)宮城県建設専門工事業団体連合会 (一社)日本建設業連合会東北支部 (一社)宮城県建設業協会			http://www.kenken.or.jp/ 022-265-0887	
	産官学連携の協議会														
	教諭との意見交換会														
	その他														
	現場見学会	○高校生を対象とした現場見学会 令和7年度建設産業活性化助成事業として現場見学会を実施予定	令和7年度内		○					30名	建設業振興基金 鉄琴、型枠、鳶土工、左官の各組合				
	インターンシップ (職業体験学習)	○匠の学舎よりのOJT受入	令和7年度内		○					15名延べ60名	鉄筋組合				
	出前講座・講習会	○高校への出前講座 多度津高校出前講座開催	7月		○					7名	鉄筋組合				
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○令和7年度建設産業活性化助成事業として技能士資格取得ビデオの作成	令和7年度内	○	○					-	建設業振興基金				
	資格取得支援														
	合同企業説明会														
	イベント開催・参加														
	産官学連携の協議会														
	教諭との意見交換会														
	その他														

令和7年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会以外)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象						参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先	
				大学 (短大 ・生)	専門 学校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者					
建設産業専門団体 九州地区連合会	現場見学会												https://f-kendanren.or.jp/ 092-406-6776	
	インターンシップ (職業体験学習)													
	出前講座・講習会	○出前授業 鞍手童徳高校、福岡第一高校、福岡工業高校	2、6月		○					鞍手童徳高校40名 福岡第一高校40名 福岡工業高校50名	無			
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)													
	資格取得支援													
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加													
	産官学連携の協議会													
	教諭との意見交換会													
(一社)日本建設業経営協会	その他													
	現場見学会	○建築学科学生対象の現場見学 建築学科学生を対象とする建築施工現場見学。現場見学を通して、建築学科学生の「建築施工職」への理解を高める。	5~11月	○						50名(5回合計)	無		https://www.nikkenkei.jp/ 03-6458-7291	
	インターンシップ (職業体験学習)													
	出前講座・講習会	○コンクリートひび割れ対策講義 建築学科での「コンクリートひび割れ防止」に関する講義。大学講義では扱わることの少ない、設計・施工の実務段階でのひび割れ防止対策。を講義を行い、学生の実務への興味向上を図る。	5月	○						35名	東京電機大学			
		○基礎構造の実務講義 建築学科での「基礎構造」に関する講義。地盤調査～基礎構造施工の実務内容を講義を行い、学生の実務への興味向上を図る。	11月	○						62名	金沢工業大学			
		○学生向け講義 ゼネコンにおける多様な業務/キャリアパスを建築学科学生向けに講義。	6月	○						40名	東北学院大学			
		○女子大学建築学科学生へのゼネコンの女性技術者働き方に関する講義 ゼネコンにおける女性技術者の働き方/活躍を女子大学建築学科学生向けに講義。	2月	○						35名	共立女子大学			
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)													
	資格取得支援													
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加	○事例発表会(生産性向上) 施工現場での生産性向上のための取り組みに関する事例発表を大学建築学科と共に。学生も聴講し、施工技術に関する認識向上を図る。	11月	○						120名	東京電機大学			
	産官学連携の協議会													
	教諭との意見交換会													
	その他													
(一社)日本道路建設業協会	現場見学会	○現場見学会 施工中の現場見学会を行い、現場技術者や技能者の仕事を見てもらう。	随時	○	○	○	○	○	○	30名程度	地区によっては、地元協会等と共に催する場合もある		https://dohkenkyo.or.jp/ 03-3537-3056	
	インターンシップ (職業体験学習)													
	出前講座・講習会	○出前講座 道路インフラの重要性、道路舗装業界の役割と仕事内容、社会への貢献などをわかりやすく、楽しく学んでもらう。		○	○	○	○	○	○	20~100名程度	発注機関との共催の場合もある			
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○リクルート誌(道路で未来を描く仕事)の教育機関への配布	6月	○	○	○				高校:285校 高専:63校 大学:161校	無			
	資格取得支援													
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加													
	産官学連携の協議会													
	教諭との意見交換会													
(一社)日本埋立浚渫協会	その他													
	現場見学会	○うみの現場見学会 社会の皆様に港湾整備の重要性や港湾土木技術などへの理解を深めてもらうことを目的とした現場見学会を、「金沢港(大野地区)航路(-13m)浚渫工事」で実施。	8月	○						金沢大学、金沢工業大学 学部生等17名	無		https://www.umeshunkyo.or.jp/ 03-5549-7468	
		○うみの現場見学会 社会の皆様に港湾整備の重要性や港湾土木技術などへの理解を深めてもらうことを目的とした現場見学会を、「清水港新興津地区岸壁(-15m)土留外工事」で実施予定。	10月	○					○	東海大学 学部生等27名	無			
	インターンシップ (職業体験学習)													
	出前講座・講習会													
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○情報誌(マリンボイス21)の配布 海洋土木等に関わる内容を掲載し、広く一般に周知。	年4回	○	○				○	大学・高専等 約200箇所	無			
	資格取得支援													
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加													
	産官学連携の協議会													
	教諭との意見交換会													
	その他													

令和7年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会以外)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象						参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先
				大学 (短大 ・生)	専門 学校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者				
現場見学会	○大学生を対象とした現場見学会 施工中現場の工事概要説明と現場見学。 体験学習として現場で活用しているUAV測量の実演。	4月	○							西日本工業大学 土木工学科 3、4年生 40名	無		
		5月	○							九州産業大学4年生6名、3年 生1名、2年生4名、1年生2名	九州地方整備局苅田港湾事務所		
		6月			○					高稲高校3年生 33名	主催:若松区役所		
		6月			○					34名	無		
		6月			○					川崎総合科学高校1年生39名	無		
		7月			○					八幡工業高校土木科3年生 28名	発注者(九州地方整備局 北九州 港湾・空港整備事務所)		
		8月			○	○				30名	主催:山口県		
		8月			○	○				80名	沖縄総合事務局 県建設業協会女性部会		
		8月			○					長崎商業高校4名、長崎工業 高校4名、大村工業高校2名	無		
		9月			○					若松高校 就職希望者 2年 生 17名	無		
		10月			○					八幡工業高校土木科 2年生 37名	無		
		11月			○					八幡工業高校2年生 27名	無		
(一社)日本海上起重技術協会	○京都府立海洋高校の現場見学会 令和7年12月 に開催予定	京都府立海洋高校の現場見学会 令和7年12月 に開催予定		○						23名(仮)	埋没・潜水協会		https://www.kaigikyo.jp/ 03-5640-2941
		10月、1月			○					枝幸中学校 2名(10月) 未定(1月)	無		
		2月		○						4名	無		
		6月			○					5名	東亜建設工業㈱		
		6~9月 8~9月	○							22名(6~9月) 長崎総合科学大学2名(8~9 月)	無		
		8月		○						-	無		
		8月		○						北海道枝幸高等学校1名	無		
		8月			○					長崎大学教育付属中学4名	無		
		8~9月	○							長崎総合科学大学2名	長崎県インターンシップ協議協会		
		8~12月	○	○						大学生7名 専門学校生2名	無		
		9月	○							阿南高専4年生 1名	無		
		9月	○							福島工業高等専門学校 1名	無		
出前講座・講習会	○高校生の建設現場実習 工業高校2年生を対象に現場実習を実施。	10月		○						未定	建設業協会		
		11月		○						八幡工業高校 土木科 参加者未定 八幡工業高校2年生 2名	無		
		11~2月の間 で予定	○							西日本工業大学 サッカーチーム 参加者未定	無		
		2月		○	○					未定	無		
		5月		○						佐世保工業高等学校	無		
	○高校生への出前授業 OBが自身の経験や、土木の施工管理の仕事について、後輩に説明。	6月		○						平工業高校3年生 36名	無		
		6月			○					手鏡小学校6年生 75名	無		
		7月				○				東朽網小学校5年生 26名	無		

令和7年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における扱い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会以外)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象						参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先	
				大学 (短大 ・生)	専門 学校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者					
(一社)日本海上起重技術協会	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○建設産業の魅了に関するテレビのCM動画の配信【沖縄支部会員(3社)】 主に高校生等の若年者、その保護者、就職希望者を対象に建設業界への入職促進に資する動画を制作しCMにて配信。	4~3月	○	○	○	○	○	○	○	-	無		
		○Instagramの運用 主に学生向けに会社の情報や現場の様子を発信する。	6月	○	○	○	○	○	○	○	-	無		
		○高校生求人ガイドブック「ハピワク」への企業紹介掲載 鹿児島県内高校2年生の就職希望者を対象に冊子を配布。	10~3月		○						鹿児島県内 高校2年生就職希望者	協賛:MBC開発(株)		
		○「今こそ!建設業」発行	12月	○				○	○	-		厚生労働省長崎労働局・長崎県建設産業団体連合会		
		○Instagram投稿 保護者を意識したCM放映	毎週	○	○	○	○	○	○	○	-	無		
		○CM放映 保護者を意識したCM放映	通年	○	○	○	○	○	○	○	-	無		
	資格取得支援													
	合同企業説明会	○進路ガイダンス 早稲田高等学校3年生を対象とした、合同企業説明会。	5月		○						250名程度	主催:早稲田高等学校、株ライセンスアカデミー/キャリア教育支援協議会		
		○令和7年度就活応援キャラバン【鹿児島県】 鹿児島県内の高校任意4校を訪問し、高校2・3年生を対象に就職説明会を実施。	5~6月		○						鹿児島県立加治木工業高等 高校:139名 鹿児島県立鹿児島工業高等 高校:77名 私立鹿児島実業高等学校:不 明 鹿児島県立薩南工業高等学 校:36名	鹿児島県建設業協会		
		○職業勉強会 業務内容の説明 扱い手確保入職を図るため、大学生対象の企業説明会。	6月	○							30名	無		
		○ふるさと山口企業合同就職フェア 県内高校生を対象(6月)と学生・一般対象(9月)に合同説明会を実施。	6、9月	○	○	○					200名程度	主催:山口労働局、各公共職業安定所、若年者地域連携事業受託企業		
		○進路フェスタ 県内高校生を対象に、企業合同説明会を実施。	7月		○						600名程度	主催:株さんぽう		
		○合同企業研究会in下関市立大学 下関市立大学の学生を対象とした合同企業説明会。	10月	○							500名程度	主催:下関市		
		○合同企業説明会の出展(高校) 株さんぽう主催の合同企業説明会に出席。	10~11月		○						-	株さんぽう		
		○建設企業合同説明会 学生・一般を対象とした会社説明会。	11月	○	○						5名程度	主催:山口県		
		○山口きらめき企業の魅力発見フェア 学生・保護者対象の県内企業合同説明会。	11月	○	○	○		○			1,000名程度	主催:大学リーグやまぐち県内就職部会		
		○合同企業説明会の出展(高専) 阿南高専主催の企業研究セミナーに出席。	12月		○						-	阿南高専		
	イベント開催・参加	○合同企業説明会の開催 扱い手を確保する為、大学生・専門学生・高校生を対象の企業説明会に参加。		○	○	○		○	○	-		長崎県未来人材課、マイナビ、総合資格、日建学院、各学校等		
		○建設産業合同企業説明会の開催【沖縄支部会員8社】 扱い手確保を図るため専門学校生・高校生を対象に企業説明会を開催。		○	○			○		14学校 791名		沖縄県建設業協会	https://www.kaigikyojo.jp/	
		○やまぐち建設産業魅力発見フェア 土木系学科の学生対象に、建設企業の魅力を知つてもらうイベント。会社説明を実施。	6月		○						700名程度	主催:山口県		
		○企業サロン 山口大学の学生を対象に、座談会形式で会社説明を実施。	6月	○							400名程度	主催:山口大学キャリアセンター		
		○Talk & Cafe~学生と若手社員の交流会~ 下関市立大学の学生を対象に、雑談を交えながら就職相談や質疑応答を実施。	7月	○							40名程度	主催:下関市		
		○しものせき未来創造jobフェア 中高生中心で誰でも参加可能なイベント。キャリア教育の一環として下関市内企業の疑似仕事体験を実施。	8月	○	○	○	○	○	○		5,000名程度	主催:下関市		
		○「ジモトのシゴトワク! WORK!」出展 木材でダービンチの橋を製作体験。	9月		○				○	札幌近郊高校生 5,000名		札幌市(株)マイナビ		
		○ミニさっぽろ2025 木材でダービンチの橋を製作体験。	10月					○		札幌近郊小学生 3~4年生 3,200名		札幌市ミニさっぽろ2025実行委員会		
		○出張お仕事体験会 木材でダービンチの橋を製作体験。	10月			○					札幌市内中学生1,000名		札幌商工会議所	
		○馬関みなとまつり 下関市主催のイベントで、関門航路で働く船2隻を一般公開。そのうちの1隻は会員企業保有のグラブ渡瀬船。	10月	○	○	○	○	○	○		3,000名程度		主催:下関市、共催:国土交通省九州地方整備局、関門国際航路整備期成同盟会、協賛:関門港湾建設株、ドローンスクール下関	
	教諭との意見交換会	○進路探求 山口県立下関工科高等学校1年生を対象に会社説明、仕事内容の紹介などを実施。	10月		○			○			200名程度	無		
		○土木フェスタ【奄美市】 小中学生・高校生とその保護者他一般の方に対して、建設業界の魅力を発信するためのPRイベントを開催。	11月		○	○	○	○			4,000名規模程度		鹿児島県大島支庁 奄美市	
		○大学と産学連携協定締結 産学連携協定の締結。後日協議会の設置と運営実施予定。	9月	○								無		
		○企業と高等学校進路指導担当者との情報交換会	5月						○	35校、169社		ハローワーク		
		○県内就職促進協議会 県内高校の就職担当者との就職についての意見交換など。	5月						○	20名程度		主催:山口県		
		○工業高校の教諭と面談 建設業の魅力や役割、就職について情報共有。	6月						○	2名		無		
		○工業高校教諭、ハローワーク就職担当者との意見交換会 沖縄県内工業高校教諭および那覇ハローワーク就職担当者を集め、生徒の県内建設企業への就職について情報の共有を行った。	7月						○	20名		沖縄県内工業高校		
		○キャリア担当教職員向けオンライン説明会 大学のキャリア担当職員向けのオンライン意見交換会。	9月						○	2名		主催:大学リーグやまぐち県内就職部会		
		○企業と大学等関係者の就職情報交換会	9月						○	20校、63社		長崎県未来人材課		
		○採用・就職担当者との意見交換会 大学・短大のキャリア担当職員向けのオンライン意見交換会。	10月						○	20名程度		主催:山口しごとセンター		

令和7年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会以外)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象						参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先	
				大学 (短 大 生)	専 門 学 校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者	教 諭				
(一社)日本海上起重技術協会	その他	○地元小・中・行政、地域、JICA、大学合同防災訓練 会社紹介の実施。学生に混じり防災訓練へ参加。災害時にも活躍するドローンについて紹介。	10月	○		○	○				藤木小学校 271名 石嶺中学校 141名 行政 10名 地域 60名 J I C A 10名 大 学 未定	主催:地域まちづくり協議会	https://www.kaigikyojo.jp/	03-5640-2941
		○夢授業 山口県立下関中等教育学校2年生を対象としたキャリア教育イベント。職業紹介を実施。	10月			○					100名程度	主催:キャリア教育研究会		
(一社)日本型枠工事業協会	現場見学会	○高校生現場見学会【日本型枠北海道支部(北海道型枠工事業協同組合)】 専門工事業4団体(とび・鉄筋・型枠・左官)の職業体験 工事現場内に、4団体それぞれのブース用意。型枠は柱2本と梁のモックアップを設置し、型枠の取付取り外しの体験を行った。	7月		○				○		札幌工業高校 建築科2年生70名 教諭8名	主催:札幌建設業協会 北海道建設躯体工事業協同組合、 北海道鉄筋業協同組合、北海道左官業組合連合会	http://do-katawaku.org/	011-867-0737
	インターンシップ (職業体験学習)	○出張お仕事体験会【日本型枠北海道支部(北海道型枠工事業協同組合)】 建設業15団体の職業体験。型枠は、柱2本と梁、簡易型のモックアップを設置し、型枠の取付取り外しを体験。	10月		○		○	○	○		札幌市内中学校 9校 1,050名	主催:札幌市商工会議所主催 建設業15団体	http://do-katawaku.org/	011-867-0737
		○日本大学理工学部建築学科による型枠・鉄筋組立実習【日本型枠東京支部(東京建設工事業協同組合)】 「コンストラクションワークショップ」に対する指導支援を行う。	8月	○							日本大学理工学部建築学科 3・4年 約35名	東京都鉄筋業協同組合	https://nihonkatawaku.or.jp/	03-6434-6208
		○中央工学校施工管理実習(基礎躯体)【日本型枠東京支部(東京建設工事業協同組合)】 型枠組立教育指導支援。	8、9月	○							中央工学校建築工学科 3・4年 約45名	東京都鉄筋業協同組合	https://nihonkatawaku.or.jp/	03-6434-6208
		○ものづくり大学建設学科躯体施工実技研修非常勤講師【日本型枠埼玉支部(埼玉県型枠工事業協会)】 型枠の授業を実施する。	10~2月	○							ものづくり大学1年、2年生	無	https://www.katawaku.daiku.jp/	048-862-9258
		○埼玉県立工業高等学校建設科実技実習講師【日本型枠埼玉支部(埼玉県型枠工事業協会)】 技能検定3級資格補助を実施する。	10~3月		○						埼玉県立工業高等学校3年生	無	https://www.katawaku.daiku.jp/	048-862-9258
		○岐阜県立岐南工業高校 技能検定3級課題の実技講習	4~11月		○						33名	無		
		○岐阜県立岐南工業高校 L型擁壁の型枠、鉄筋、打設まで実技講習	11月		○						33名	SKK・中部工業		
		○岐阜県立岐南工業高校 3年生対象の企業アピール【日本型枠東海支部(東海地区型枠工事業協同組合)】	5月		○						27名	無		
		○岐阜県立岐阜総合学園高校 壁梁床型枠の実技講習	5~9月		○						29名	無		
		○岐阜県立岐阜総合学園高校 3年生対象の企業アピール【日本型枠東海支部(東海地区型枠工事業協同組合)】	5月		○						29名	無		
		○愛知県立愛西工科高校 技能検定3級課題の実技講習【日本型枠東海支部(東海地区型枠工事業協同組合)】	7月、9月		○				○	2名(7月教諭) 12名(9月学生)	無			
		○名古屋市立工芸高校【日本型枠東海支部(東海地区型枠工事業協同組合)】 L型擁壁の型枠、鉄筋、打設まで実技講習。	6、7月		○						24名	中部工業	https://katawaku-tokai.com/	052-355-9696
		○名古屋工業高校【日本型枠東海支部(東海地区型枠工事業協同組合)】 H=1,800 壁型枠の実技講習。	9月		○						27名	無		
		○東海工業専門学校熱田校【日本型枠東海支部(東海地区型枠工事業協同組合)】 基礎ベース廻り型枠実技講習。	7月	○							25名	無		
		○東海工業専門学校金山校【日本型枠東海支部(東海地区型枠工事業協同組合)】 L型擁壁の型枠、鉄筋、打設まで実技講習。	10月	○							28名	無		
		○名古屋技術専門校 壁梁床型枠の実技講習【日本型枠東海支部(東海地区型枠工事業協同組合)】	5月	○							17名	無		
		○東三河技術専門校 壁梁床型枠の実技講習【日本型枠東海支部(東海地区型枠工事業協同組合)】	11月	○							15名	無		
		○高校への出前講座(3高校)【日本型枠富山支部】 型枠材料・工具を使用し、実際に体験してもらう。 座学(DVDを視聴し、その後型枠工事についての講話)。	7、12月		○						工業高校30名 桜井高校20名 工芸高校20名	無	http://katawakudaiku-toyama.com	
資格取得支援	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)													
		○岐阜県立岐南工業高校【日本型枠東海支部(東海地区型枠工事業協同組合)】 技能検定3級の実技指導。	12、1月		○						未定	無	https://katawaku-tokai.com/	052-355-9696
合同企業説明会	○名古屋工業高校【日本型枠東海支部(東海地区型枠工事業協同組合)】 技能検定3級の実技指導。	12、1月		○							3名	無		
	○合同企業説明会(午前企業説明、午後作業体験会)【日本型枠秋田支部】 高校2年生を対象とした専門工事業者のみで主催する合同企業説明会を毎年7月に開催・参加。	7月		○				○	企業:30社 参加生徒:120名		秋田県専門工事業人材確保協議会 秋田県中小企業団体中央会		018-839-5012	
イベント開催・参加	○第21回技能フェスティバル【日本型枠北海道支部(北海道型枠工事業協同組合)】 札能協会会員15団体の職業体験。型枠は柱2本と梁、簡易型モックアップを設置し、型枠の取付取り外しを体験。	8月			○	○	○				主に札幌市内小中学生 来場者数800名	主催:札幌地方職業能力開発協会 会員14団体	http://do-katawaku.org/	011-867-0737
	○第11回専門工事業合同体験フェア【日本型枠東海支部(東海地区型枠工事業協同組合)】 中部管内の工業高校・専門学校の学生を対象に、専門工事業の職業体験を通じ建設業の魅力ややりがいを伝え、入職につながる場を提供する体験フェアに型枠職種にて参加する。	5月		○	○						308名	建設産業専門団体連合会	https://katawaku-tokai.com/	052-355-9696
	○第12回専門工事業合同体験フェア【日本型枠東海支部(東海地区型枠工事業協同組合)】 中部管内の工業高校・専門学校等7校の生徒、学生を対象とした型枠などの各職種業種ごとに仕事を体験するフェアに参加した。			○	○						315名	建設産業専門団体連合会	https://katawaku-tokai.com/	052-355-9696
	○ケンセツジョブフェス2025【日本型枠富山支部】 富山県内の高校生を対象とした建設現場VR体験、ミニチュアラジコン操作などの体験やクイズで建設知識を競う企画などを通じて建設業の仕事内容や県内企業で働くことの魅力を伝えるイベントに参加した。	9月			○	○	○				130名	富山県土木部建設技術企画課	http://katawakudaiku-toyama.com	
産官学連携の協議会														
教諭との意見交換会														
その他														

令和7年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会以外)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象						参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先
				大学 (短大 ・生)	専門 学校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者				
(一社)日本造園組合連合会	現場見学会												https://www.jflc.or.jp/ 03-3293-7577
	インターンシップ (職業体験学習)												
	出前講座・講習会												
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)												
	資格取得支援												
	合同企業説明会												
	イベント開催・参加												
	産官学連携の協議会												
	教諭との意見交換会	○造園実習指導力向上研修会 造園関係の学校の先生を対象とした研修会で、造園連の熟練技能者の指導のもと、学校の先生が実際に課題をつくり体験することで、授業で実技を教える際のポイントやコツを習得していただく。	2月頃						○	全国各地から高校、専門学校等の先生が30名程度参加	無		
	その他												
(一社)日本造園建設業協会	現場見学会												https://www.jalc.or.jp/ 03-5684-0011
	インターンシップ (職業体験学習)												
	出前講座・講習会	○高校への出前講座 女性活躍推進部会長が冊子の「造園建設業の仕事入門」をアレンジしたパワポを使い、県内の名所や花のクイズを交えて造園について講義を行い、部会員等も交えてディスカッションを実施。	8月			○			○	1年生25名、先生3名	無		
		○高校への出前講座 女性活躍推進部会長が冊子の「造園建設業の仕事入門」をアレンジしたパワポを使い、県内の名所や花のクイズを交えて造園について講義を行い、部会員等も交えてディスカッションを実施。	12月または1月			○			○	2年生13名、先生1名	無		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)												
	資格取得支援												
	合同企業説明会												
	イベント開催・参加	○全国造園デザインコンクール 造園のデザインと製図技術の向上を図るために、造園家を目指す学生などを対象とした造園デザインのコンテストを開催。文部科学省、国土交通省、NHK等にも後援していただいている。審査委員としてもご協力いただいている。	1~2月	○	○	○			○	○	コンクール応募 803名(応募点数641点)	有	
	産官学連携の協議会												
	教諭との意見交換会	○農業高校教諭との意見交換会 上記デザインコンクール受賞校に出向き、入賞者に賞状を授与し、教諭と意見交換を実施。				○			○	6校 教諭6名、学生10名	無		
	その他												
(公社)全国鉄筋工事業協会	現場見学会	○札幌工業高校学校建築科2年生の現場見学会【北海道】 見学場所:株田中組本社ビル新築工事 躯体、型枠、左官、鉄筋の仕事を体験し理解する	7月			○			○	札工2年生69名 教諭5名	主催:札幌建設業協会	http://hokkaidotekkin.wixsite.com/index	011-642-6551
		○高校生の現場見学会【山口】 山口県建築協会主催の現場見学会にて、専門工事業の鉄筋を紹介。	5~9月			○			-		無	https://www.facebook.com/yamaguchitekkin	0836-67-0303
		○令和7年度建設産業活性化助成事業として現場見学会を実施予定【香川】	令和7年度内			○				30名	建設業振興基金 鉄琴、型枠、鳶工、左官の各組合		
	インターンシップ (職業体験学習)	○東神楽中学校職業体験【北海道】	9月				○			7名	無	http://hokkaidotekkin.wixsite.com/index	011-642-6551
		○12歳のハローワーク「鉄筋ふれあい会」【北海道】	1月					○		未定	無	http://hokkaidotekkin.wixsite.com/index	011-642-6551
		○匠の学舎よりのOJT受入【香川】	10月			○				60名	鉄筋組合		

令和7年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会以外)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象						参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先
				大学 (短大 ・生)	専 門 学 校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者				
(公社)全国鉄筋工事業協会	出前講座・講習会	○留萌高等学校出前授業【北海道】	10、11月		○					20名	無	https://hokkaidotekkin.wixsite.com/index	011-642-6551
		○五所川原農林高等学校への出前講座【青森】 鉄筋業について座学、その後鉄筋組立実習。	9月8日		○					五所川原農林高等学校2年生 28名	青森県職業能力開発協会		017-738-5764
		○鉄筋マイスター高校出前講座【群馬】	9月8日		○					前橋工業高校2年生 30名	群馬県		017-738-5764
		○ものづくり大学 3級鉄筋技能検定組立講習【埼玉】	9~11月	○						ものづくり大学1年生 90名程度	無		048-525-6617
		○出前講座【千葉】 技能検定3級の組立実習、講話、職人とのディスカッション、ガス圧接 継手・機械式継手体験。	10月10日		○					東総工業高校 23名	関東圧接業 協同組合	https://www.toutetu.jp/	047-404-5690
			11月13日		○					市川工業高校 22名			
			11月17日		○					京葉工業高校 29名			
		○ものづくり魅力発信講座【千葉】 講話、鉄筋の重さ体験、道具・保護具着用体験、結束体験。	10月29日			○			○	千葉市立松ヶ丘中学校 21名	無		047-404-5690
		○出前講座【東京】 柱3本に梁を渡し壁を組む鉄筋を組み立てる実習。	4月18日 5月16日 6月20日		○					墨田工科高校3年 各8名	無		
		○出前講座【東京】 RC造に関する座学・3級鉄筋組立て実習。	7月15日		○					田無工科高校1年 64名	無		
		○出前講座【東京】 3級鉄筋組立て実習。	7月18日		○					中央工学校 36名	無		
		○コンストラクションワークショップ【東京】 ベース・柱・梁の鉄筋組立て実習。	8月6日	○						日本大学理工学部3年 22名	無		
		○施工管理実習【東京】 基礎躯体・ベース及び柱に梁を渡す鉄筋を組み立てる実習。	8月25~29日		○					中央工学校 34名	無		
		○施工管理実習(施管)特別選択【東京】	9月16~18日		○					中央工学校 計25名	無		
		○総合建設実習(総合)建工2A【東京】	9月23日		○					中央工学校 22名	無		
		○総合建設実習(総合)建学2A【東京】	9月29~30日		○					中央工学校 35名	無		
		○総合建設実習(総合)設備1A【東京】	10月9日 11月24~25日		○					中央工学校 計56名	無		
		○総合建設実習(総合)建設1B【東京】	12月3~4日		○					中央工学校 32名	無		
		○出前講座【東京】 柱3本に梁を渡す鉄筋を組み立てる実習。	10月28日 11月25日 1月13日		○					総合工科高校2年 各6名	無		
		○職業能力開発総合大学校【協同組合東京鉄筋工業協会】 鉄筋施工と配筋検査について(座学)。	10月	○						大学3年生 22名	無		
		○職業能力開発総合大学校【協同組合東京鉄筋工業協会】 鉄筋組立て加工(実技)。	10月	○						大学3年生 22名	無		
		○職業能力開発総合大学校【協同組合東京鉄筋工業協会】 鉄筋組立て加工(実技)。	10月	○						大学3年生 22名	無		
		○職業能力開発総合大学校【協同組合東京鉄筋工業協会】 鉄筋組手ガス圧接、機械式継手作業 (座学・デモンストレーションと体験)。	12月	○						大学3年生 22名	無	https://www.tetukkyo.com/	03-6709-9411
		○埼玉県立大宮工業高等学校【協同組合東京鉄筋工業協会】 建設業の仕組みと魅力について(座学)。 技能検定鉄筋施工組立て3級の実技試験に挑戦。	1月		○					高校2年生 40名	(一社)埼玉県建設業協会		
		○埼玉県立熊谷工業高等学校【協同組合東京鉄筋工業協会】 建設業の仕組みと魅力について(座学)。 技能検定鉄筋施工組立て3級の実技試験に挑戦。	2月		○					高校2年生 50名	(一社)埼玉県建設業協会		
		○鉄筋施工の講習【新潟】	6~2月		○					高校3年生 建築科37名	新潟県職業能力開発協会	新潟県職業 筋業協同 組合	0250-25-7162
		○高校への出前講座【富山】 基本的な鉄筋組立の実技講習。	7、12、1月		○					富山工業40名、桜井高校30名、高岡工芸30名	建専協		076-478-4081
		○高校への出前講座【福井】	9月		○					敦賀工業高等学校3年生21名	無		
		○長野工業高校 出前講座【長野】 ・長野県鉄筋業協会と鉄筋業の業務紹介 ・鉄筋組立施工体験会	毎年11月末		○					40名ほど	無		026-262-1595
		○高校への出前講座【静岡】 工業高校系に鉄筋の組み立てや鉄筋の魅力を、実技講習、座学にて授業している。	5、7、11月		○					科学技術高校 40名 掛川工業高校 40名 天童高校 20名 笛田学園 20名	無	sizuoka_kumai@zentekkkin.or.jp	053-582-6351
		○高等技術専門校 出前講習【愛知】 鉄筋に関する座学と鉄筋組立の実習を実施。	5月	○						10名	無	https://aic-hitekkkin.or.jp	052-888-5070
		○高校・短大への出前講座【島根】 鉄筋結束等の体験。	4~6月、11月 (高校) 10~12月(短大)	○	○					出雲工業高校3年生 40名(4~6月) 松江工業高校2年生 19名(11月) ポリテクカレッジ島根2年生 17名	職業能力開発協会、高校	http://www.s-tekkkin.jp/	0853-63-0764
		○多度津高校出前講座開催【香川】	7月		○					7名	鉄筋組合		
		○高校への出前講座【愛媛】 技能検定3級の材料を用いての組立体験および鉄筋圧接の体験。	7月		○					松山工業高校建築科2年生 40名			
			9月		○					吉田高校(機械建築工学科2年生26名)			
			11月		○					東予高校建設工学科2年生 17名)			
			12月		○					松山工業高校土木科1年生 40名			
			2月		○					松山聖陵高校建築科1年生 35名			
		○出前授業【福岡】 梁、柱等の組立。	10月		○		○			福岡県立三筑小学校6年生 11名 福岡県立香椎東小学校出前授業5年生 10名(10月) 福岡県立香椎工業高校電気科2年生 80名(2月)	福岡市技能職団体連合会(小学校) 建専連(高校)		
		○工業高校等への出前講座【佐賀】	5月	○						産業技術学院建築技術・設計科2年 11名	無		0954-23-5480
		○鉄筋組立ての基礎知識、2級技能検定課題の組立て実習など【佐賀】	1~2月		○					鳥栖工業高校2年生 35名	職能協会		0954-23-5480
		○県内工業高校 出前講座 鉄筋3級【長崎】			○					1~3年生	無		
		○体験授業【宮崎】 鉄筋の結束、講習を高校で実践した。			○					宮崎県立日向工業高等学校 80名	職業能力開発協会		
		○工業高校の鉄筋組立の結束作業・鉄筋組立3級実技指導【沖縄】	4、5、6、9月		○					沖縄工業高校 浦添工業高校 南部工業高校計340名	無		

令和7年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における扱い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会以外)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象						参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先	
				大学 (短大 ・生)	専門 学校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者					
広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○Facebook【静岡】 組合の行事を公報している。	○建設ポータルサイト(やま建Navi)【山口】 県土木課主催の県内企業紹介のポータルサイト(WEB)を開設。キャリアバスや動画などの撮影協力を実行。	○建設ポータルサイト(やま建Navi)【山口】 県土木課主催の県内企業紹介のポータルサイト(WEB)を開設。キャリアバスや動画などの撮影協力を実行。	令和7年度内	○	○	○	○	○	○	-	無	sizuoka_ku mai@zente kkkin.or.jp	053-582- 6351
					○	○	○	○	○	○	-	無	https://ww w.facebook. com/yamag uchitekkin	0836-67- 0303
					○	○					-	建設業振興基金		
資格取得支援	○技能検定3級・2級の組立指導【千葉】	12~1月		○							市川工業高校 10名前後 京葉工業高校 10名前後	無		047-404- 5690
	○出前講座【東京】 2級・3級鉄筋組立て技能士試験準備実習。	9月、11~1月		○							墨田工科高校1~3年 計66名 葛西工科高校1~3年 蕨前工科高校1~3年 計66名	無	https://ww w.toutetu.jp /	03-3861- 0527
	○鉄筋施工技能向上講習【神奈川】 2級・3級鉄筋組立て。	12月13日 12月20日 1月17日 1月24日		○					○	各回 生徒8名、教諭1名	無	https://ww w.kanatets u.com/	045-222- 4010	
	○鉄筋施工技能士(鉄筋組立て)3級の試験準備・実習【新潟】	10~1月		○						高校2年生	新潟県職業能力	新潟県鉄 筋業協同 組合	0250-25- 7162	
	○高校生に技能検定3級の実技、座学講習【福井】	1月		○						敦賀工業高校生	無			
	○県内工業高校 出前講座 鉄筋3級【長崎】			○						1~3年生	無			
合同企業説明会	○山口県UIJターンふるさと合同就職フェア【山口】 県内企業と県外の求職者を対象とした就職フェア。	6~11月	○	○				○		-	山口県	https://ww w.facebook. com/yamag uchitekkin	0836-67- 0303	
	○県内進学・仕事魅力発信フェアinやまぐち【山口】 県内高校生を対象とした県内大学、県内団体企業などの紹介。	2、12月		○						-	私学教育振興財団	https://ww w.facebook. com/yamag uchitekkin	0836-67- 0303	
(公社)全国鉄筋工事業協会	○建築フェア2025inあおもり…こども建築アカデミア…【青森】 職人体験として基本的な鉄筋組立てを体験してもらう。	9月27、28日			○	○				27日40名、28日40名	青森県建設業協会		017-738- 5764	
	○ものづくりフェア【青森】 職人体験として基本的な鉄筋組立てを体験してもらう。	11月	○	○	○	○	○	○		各日20名ほど予定	青森県職業能力開発協会		017-738- 5764	
	○第45回技能祭【茨城】 重さ当てクイズ・結束体験。	11月中旬	○	○	○	○	○	○	リリーアリーナMITO	県技能士会	tekkin- seinen@k8. dion.ne.jp	029-244- 7155		
	○ものづくり匠の技の祭典2025【東京】 ものづくり体験・ものづくり実演。PR冊子「鉄筋専科」の配布。	7月26、27日	○	○	○	○	○	○	26日131名体験 27日152名体験	無	https://ww w.toutetu.jp /	03-3861- 0527		
	○ケンセツジョブフェス【富山】 ハッカーを使った結束線縛りを体験してもらう。	9月	○	○	○	○	○	○	鉄筋組合ブース来訪179名	県土木部		076-478- 4081		
	○フクイ建設技術フェア【福井】 高校生体験会。	9月		○					県内高校6校 生徒41名	福井県建専連				
	○静岡建設まつり【静岡】 小中学生・高校生とその保護者等に対して、建設業界の魅力を発信するためのPRイベントを開催。	11月		○	○	○	○	○	-	静岡市	sizuoka_ku mai@zente kkkin.or.jp	053-582- 6351		
	○合同体験フェア【静岡】 東海地区の工業高校に向けた職業体験。	5、9月		○					-	中部建専連	sizuoka_ku mai@zente kkkin.or.jp	053-582- 6351		
イベント開催・参加	○建設専門工事業合同体験フェア【愛知】 愛知・岐阜・三重・静岡の高校を招いて、建設専門工事業の体験実習を実施。	5月、9月		○	○				(5月) 東海工業専門学校 熱田校 120名 岐阜工業高等学校 40名 岐阜総合学園高等学校 25名 三河高等技術専門校 28名 岐南工業高等学校 33名 関商工高等学校 40名 (9月) 東海工業専門学校金山校 市工芸高等学校 名古屋高等技術専門校 浜松工業高等学校 建設業振興基金育成支援事業 名古屋工業高等学校 愛西工科高等学校 岐南工業高等学校 合計241名	建設産業専門団体中部地区連合会	https://aic hi- tekkin.or.jp	052-888- 5070		
	○やまぐち建設産業魅力発見フェア【山口】 中高生を対象とした建設業に特化した体験事業。	6月		○	○			○	700名	無	https://ww w.facebook. com/yamag uchitekkin	0836-67- 0303		
	○博多職人展【福岡】 鉄筋の結束体験等。	10月	○	○	○	○	○	○	-	福岡市技能職団体連合会				
	○建設産業魅力体験イベント【福岡】 建設関係5団体による結束の体験、鉄筋の切断曲げ加工、映像による紹介を行った。	11月	○	○	○	○	○	○	-	建専連				
	○技能フェア【熊本】 公園で様々な職種の技能者が集まり、大人から子供まで広く一般に鉄筋の結束等に参加し理解してもらう。	4、11月	○	○	○	○	○	○	計200名	(一社)熊本県技能士会連合会	https:// ktekkin.com	096-382- 4594		
	○宮崎県技能士会技能祭り【宮崎】 イオンモールで2日間様々な職種の紹介。鉄筋の実演と結束の参加等。			○	○	○	○	○	一般 60名	技能士会				
産官学連携の協議会	○やまぐち建設フェス【山口】 幼稚園から一般までの方を対象にお祭りのような建設業に特化したイベント。	9月	○	○	○	○	○	○	4,200名	無	https://ww w.facebook. com/yamag uchitekkin	0836-67- 0303		
	○山口県地域を支える建設産業扱い手確保・育成協議会【山口県鉄筋工事業協同組合】 山口県土木建築部、厚生労働省山口労働局、国土交通省中国地方整備局山口河川国道・中国地方整備局山陰西部国道・宇部土木建設、和木町都市建設、建設業関連団体、山口大学、徳山高等専門学校、山口県工業教育研究会、山口県建設技術センター、山口県職業能力開発、山口県県鳴連合会、山口県鉄筋工業協同組合、やまぐち建設21の会、山口県建設業協会、山口県建築協会等が集まりイベントや連携事業を行う会。	通年							23名(仮)	無	https://ww w.facebook. com/yamag uchitekkin	0836-67- 0303		
	○建設工事従事者安全健康確保推進会議【佐賀】	5月							他業種の組合等13名	県土整備部建設・技術課		0954-23- 5480		

令和7年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における扱い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会以外)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象						参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先	
				大学 (短大 ・生)	専門 学校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者					
(公社)全国鉄筋工事業協会	教諭との意見交換会	○人事・就職担当者セミナー【山口】 企業の人事担当者と高校就職担当の先生との意見交換会。							○	300名	無	https://www.facebook.com/yamaguchitekkin	0836-67-0303	
	その他	○駿府学園出前講座【静岡】 少年院への出前講座を通じて、出所後の就労支援を行う。	6、11、2月		○	○				15~20名	関東矯正局	sizuoka_kumai@zenetkkink.or.jp	053-582-6351	
(一社)全国基礎工事業団体連合会	現場見学会													
	インターンシップ (職業体験学習)													
	出前講座・講習会													
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○業界PR用の冊子作成 若年層や異業種からの就業者を増やすため、杭工事業の魅力や社会的役割を分かりやすく発信。	~10月	○	○	○				-	無	http://www.ktrrim.or.jp/~zenkirenl/index.html	03-3612-6611	
		○業界PR用動画作成 杭工事の仕事の魅力や作業工程を、映像を通じて分かりやすく発信し、冊子と同様に若年層や未経験者への興味を高める。	取組中	○	○	○				-	無			
	資格取得支援													
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加													
	産官学連携の協議会													
	教諭との意見交換会													
	その他													
(一社)全国クレーン建設業協会	現場見学会													
	インターンシップ (職業体験学習)	○鹿児島県中小企業家同友会【鹿児島支部】 生徒も先生も、受け入れ企業も共に学びと共に育つ機会とする。生徒と地域未来のために全員が主体的に考動する。	8月		○					1名	有			
		○クレーンの魅力を知つてもらうため、クレーンの体験・クレーンについての講義等【愛媛支部・東予地区】	12月		○					愛媛県東予高等学校建設工学科2年生 11名	無			
	出前講座・講習会	○移動式クレーン実技指導 座学・運転指導・玉掛け図指導【千葉支部】	7月(1回) 9月(2回)		○					市川工業高校13名 東総工業高校37名 京葉工業高校29名	無			
		○高校への出前講座	5~12月		○				○	松山聖陵高校2年生 59名	無			
		○クレーン・ユンボ・ユニック・高所作業車の体験会【愛媛支部・松山地区】	5~12月		○				○	八幡浜工業高校2年生 38名 松山工業高校2年生 38名 伊予農業高校2年生 35名	無			
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○漫画を作成、学校、ハローワーク、コンビニ等へ配布予定【三重支部】	今期中		○					未定 500冊以上配布予定	無			
	資格取得支援	○あいちクレーン塾の活用・パンフレットの配布【三重支部】	年数回		○						振興基金			
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加	○金堀重機感謝祭【福島支部】 チラシを作成し、来場された方にクレーン見学や試乗体験をしてもらう。	4月	○	○	○	○	○	○	700名	無			
	産官学連携の協議会													
	教諭との意見交換会	○商工会を通じて県内の高校進路指導との企業説明会に参加【三重支部】	年1回						○		商工会			
	その他													
(一社)全国防水工事業協会	現場見学会													
	インターンシップ (職業体験学習)													
	出前講座・講習会	○ものづくり大学 防水施工実習への講師派遣 1年生を対象に、座学でアスファルト防水(トーチ工法)の講義を行った後に、ルーフィングをバーナーで焼ながら張り付ける作業等を実体験してもらう。	7月	○						147名	無			
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)											https://www.wjrca.or.jp/	03-5809-1306	
	資格取得支援													
	合同企業説明会	○ものづくり大学 企業研究交流会への参加 協会のブースを設け、防水工事業に興味を持つ就職活動を行っている学生に対して、業務内容や待遇等の説明を行う。	12月	○						未定	無			
	イベント開催・参加													
	産官学連携の協議会													
	教諭との意見交換会													
	その他													
(一社)全国建設室内工事業協会	現場見学会													
	インターンシップ (職業体験学習)													
	出前講座・講習会	○ものづくり大学 内装授業(学科・実技) ○ものづくり大学 内装乾式仕上げ実習 ○内装工事の実技演習(兵庫県の高等技術専門校)	4~6月 2月 5月	○						100名 50名 30名		http://www.zsk.or.jp	03-3666-4482	
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○会員企業による全室協DVDの活用	不定期	○	○	○								
	資格取得支援													
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加	○合同体験フェア 高校生を対象に、内装の実技体験をしてもらい、内装工事業の扱い手促進を図る。	9月		○					100名				
	産官学連携の協議会													
	教諭との意見交換会													
	その他													
(一社)全国タイル業協会	現場見学会													
	インターンシップ (職業体験学習)													
	出前講座・講習会	○タイルの魅力を将来建築業へ進む若者へPR タイルの歴史・製法・機能・デザイン等を紹介するとともに、タイル張り施工実演および施工実習を行う。	5月16日宇都宮大学 6月17日東京理科大学(金町) 7月15日東京都市大学 10月7日東京理科大学(野田) 10月28日名古屋工業大学 11月10日東北大 12月3日早稲田大学	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○						60名 33名 35名 50名(予定)		https://www.tile-net.com/	052-935-7941	

令和7年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会以外)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象						参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先	
				大学 (短大 ・生)	専門 学校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者					
(一社)全国タイル業協会	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)											https://www.tile-net.com/	052-935-7941	
	資格取得支援													
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加													
	産官学連携の協議会													
	教諭との意見交換会													
	その他													
(一社)日本左官業組合連合会	現場見学会	○札幌工業高校建築科2年生に向けた現場見学会 建設業の魅力を伝えるとともに、建設業で働くイメージを具体的にもつてもらう。	7月			○					札幌工業高校建築2年生 69名	(一社)札幌建設業協会	https://www.nissaren.or.jp/	03-3269-0560
	インターンシップ (職業体験学習)	○高校生を対象とした就業体験 名古屋市立工芸高校	11月			○					名古屋市立工芸高校1名	無		
	出前講座・講習会	○ものづくりマイスター派遣事業【中央工学校】 現場監督志望の生徒に左官とは何かを説明した後に、養生と塗り壁の体験をしてもらう。	10月15日		○						32名	東京都職業能力開発協会からの依頼		
		○ものづくりマイスター派遣事業【板橋区立板橋第八小学校】 小学6年生と担任の先生に左官とは何かを説明した後に、鎧絵の体験をしてもらう。	11月					○	○	○	板橋区立板橋第八小学校63名 江東区立第四大島小学校73名	東京都職業能力開発協会からの依頼		
		○課外授業【鹿島建設】	2月			○				○	5校90名	鹿島建設		
		○左官PR事業【愛左連】	3月			○					3校30名	無		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)													
	資格取得支援	○技能検定講習会【愛左連】	6月			○					名古屋工業高校1名	無		
	合同企業説明会	○進路ガイダンス【名古屋市立工芸高校】	2月			○					3校 30名	工芸高校		
	イベント開催・参加	○ジモトのシゴト ワク！WORK！ ものづくり企業や地元企業の魅力を発信することで将来的な地元企業への就職を促す。	9月			○					札幌市及び札幌市近郊の高校 1・2年生 92名 (イベント全体の参加者:4,110名)	札幌市、(株)マイナビ		
		○技能体験会【名古屋竹和会】	2月			○				○	愛知県立一宮工科高校40名	竹中工務店		
		○建設業技能体験会【鹿島建設】	3月			○				○	5校160名	鹿島建設		
		○専門工事業合同体験フェア【建専連中部】	5、10月		○	○				○	13校560名	建専連中部		
	産官学連携の協議会	○中部圏建設業担い手ネットワーク協議会【中部地整】	2月							○	30名	中部地整		
	教諭との意見交換会	○合同体験フェア参加校教諭 意見交換会	5、10月							○	6名	建専連中部		
	その他													
(一社)全日本瓦工事業連盟	現場見学会												https://www.yane.or.jp/	03-3265-2887
	インターンシップ (職業体験学習)	○中学生のインターンシップ【岡山県瓦工事協同組合】 進路活動開始前の中学生を対象に企業の体験入職を実施。	10月			○					1名	倉敷市産業雇用企画課		
	出前講座・講習会	○瓦の講習 瓦の知識を深める【宮城県瓦工事業組合】 瓦を使用したデザイン、設計について基礎・基本を学ぶ。 鬼瓦製作体験 鬼瓦の作り方役割について学ぶ。 伝統的な瓦の文化に触れる。	9月			○					生徒37名 指導講師6名	宮城県白石高等学校 建築課		
		○高校への出前講座【岡山県瓦工事協同組合】	12月			○					60名	職業能力開発協会		
		○中学校への出前講座【岡山県瓦工事協同組合】	10~1月			○					60名	倉敷市産業雇用企画課		
		○小学生への出前講座【岡山県瓦工事協同組合】	8~10月			○					120名	職業能力開発協会		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)													
	資格取得支援													
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加													
(一社)日本タイル煉瓦工事工業会	現場見学会												https://www.nittaren.or.jp/	03-3260-9023
	インターンシップ (職業体験学習)													
	出前講座・講習会	○タイル張りの体験型教室実施 当会参加会員組合が、小中学校で、生徒を対象とした体験教室(モザイクタイル張り)実施	年間			○	○	○	○		1回平均30名	都道府県、都道府県職能会等		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)													
	資格取得支援													
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加													
(一社)日本電設工業協会	現場見学会	○高校生・大学生を対象にした現場見学会 現場見学で、電気工事の作業を知つもらう。 当協会として、開催費用の一部助成を実施。	随時	○	○				○		400名	無	https://www.jeca.or.jp/	03-5413-2161
	インターンシップ (職業体験学習)	○高校生・大学生のインターンシップ 就職活動前に企業・仕事を体験し、就職で検討。	随時	○	○						20名	無		
	出前講座・講習会	○工業高校生を対象に実施 開催費用の助成を実施。・5~6協会が活動 5~6団体にて実施。	随時			○					30~50名	無		
		○メルマガ等の広報 当協会の「電設技術」メルマガ等にて広報。	随時	○	○	○					-	無		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○ビデオ放映 電設業界PRのビデオ等をJECA FAIRにて放映。	年1回	○	○	○					-	無		
		○冊子配布 「業界の働き方」小冊子を各電業協会(49団体)に約54冊を無償配布。	随時	○	○	○					-	無		
	資格取得支援													
	合同企業説明会													

令和7年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における扱い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会以外)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象						参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先	
				大学 (短大 ・生)	専門 学校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者					
(一社)日本電設工業協会	イベント開催・参加	○JECA FAIR 東京・大阪で交互開催 2025年 大阪開催(インテックス大阪) 2026年 東京開催(東京ビッグサイト)	5月	○	○	○	○	○	○	○	800名程度 大阪開催 来場者 98,000名超	無	https://www.jeca.or.jp/	03-5413-2161
	産官学連携の協議会													
	教諭との意見交換会	○工業系高校・大学で意見交換会 上記意見交換会の開催費用一部助成。 年間10団体超が活動。	随時						○	-		無		
	その他													
(一社)日本空調衛生工事業協会	現場見学会	○現場見学会【岐阜県】 高校1年生(化学・設備群)のうち、2年生で設備学科へ進学する生徒を対象として、会社および現場施設見学会を開催。	11月			○					40名	無	https://www.nikkuei.or.jp/	03-3553-6431
		○現場見学会【新潟県】 工業高校3年生を対象に県内の図書館を主とした複合施設の現場見学会を開催。	12月			○					30名	無		
		○現場見学【沖縄県】 工業高校2校の2年生を対象に①施工中現場(90名)と②美ら海水族館の機械室見学(40名)を実施。	12、2月			○					130名	①無②沖縄総合事務局営繕部		
		○「建築関係学生生徒の現場研修」【岩手県】 建築関係3校の学生が建築知識や技術を深め進路選択の意識の向上が図れるよう、工事現場等の現場研修を実施。	11月	○	○						85名	無		
	インターンシップ (職業体験学習)	○インターンシップ【滋賀県】 県内4校(工業・総合・商業高校)2年生を対象に県内企業の体験入職を実施。	7、8、11、12月		○						30名	無		
	出前講座・講習会	○模擬企業展【岐阜県】 求人活動が始まる前に3年生(設備科)へのキャリア教育として、模擬企業展を学校で開催。	6月			○					40名	無		
		○出前講座(配管実習)【三重県】 工業高校2年生を対象に配管実習を実施。40名の生徒を4班に分け、1回/週×3週実施。	9~2月			○					40名	無		
		○出前講座(配管実習)【神奈川県】 工科高校3年生を対象に空調/衛生設備の座学や冷媒フロンの回収作業の実習を実施。	7月			○					28名	無		
		○出前講座【千葉県】 高校1年生を対象に給湯器の分解とシーケンス作動確認(9月)、同2年生CADや工事現場の仕組みを説明。	9、2月			○					80名	無		
		○出前講座(設備業界説明)【滋賀県】 工業高校建築科の1年生2年生を対象に、設備業界の内容、魅力、資格等を説明。	7、2月			○					80名	無		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○業界の魅力PR事業【秋田県】 県内中学2年生の全生徒へ建築設備の魅力に関するリーフレットを発送。	5月				○				7,117部 (リーフレット発送部数)	無		
		○高校進路指導担当へ設備業界資料を発送【滋賀県】 進路指導者に業界PR。担当者の変更もある年度初めに、資料を送付(アンケート依頼あり)。							○	県内30校		無		
	資格取得支援	○配管技能士養成に係る練習用資材の支援【広島県】 工業高校設備科学生の建築配管技能士養成のために必要な練習用資材を提供。	10月			○					20名	無		
		○3級配管技能検定受検技術指導【愛媛県】 工業高校の2校の受検生徒に対し、練習資材の提供と実技指導を訪問実施。	9~2月			○					15名	無		
	産官学連携の協議会													
	合同企業説明会	○建設産業合同企業説明会2025【沖縄県】 県内会員企業の扱い手確保を図るために、大学生・専門学校生・高校生を対象に企業説明会を開催。	6月	○	○	○					入場者1,000名	沖縄県建設業協会・同建設産業団体連合会		
	イベント開催・参加	○けんせつみらいフェスタ2025【滋賀県】 建設業界の魅力を発信するためのPRイベントを開催。当協会は「給水管配管材料で作る水でっぽう」を提供。	9月			○	○	○			入場者4,600名 空手ブース40名	滋賀県、滋賀県建設業団体連合会		
		○第7回おきなわ建設フェスタ【沖縄県】 小学生とその保護者等に対して、建設業界の魅力を発信するためのPRイベントを開催。	11月			○	○	○			入場者10,000名	おきなわ建設フェスタ実行委員会		
	教諭との意見交換会	○扱い手確保情報交換会【岩手県】 学生が建築知識や技術を深め進路選択・就職先選択の意識の向上が図れるよう、建築関連3校の教諭と情報共有。	2、3月						○	10名		無		
		○高校進路指導担当へ設備業界を説明【滋賀県】 毎年2、3校へ訪問し進路指導担当者へ設備業界の説明。インターンシップに繋がるケースもあり。	6月						○	2名		無		
		○工業高校教諭との意見交換会【沖縄県】 工業高校教諭と意見交換会を開催。建設業界の魅力や役割についての指導や、就職について情報交換。	8月						○	10名		無		
	その他	○配管技能コンテスト(学生の部)支援【滋賀県】 配管技能コンテストへの支援として講師の派遣(半日×5回)と練習用資材20セット提供と大会当日支援。	8~9月			○					4名	大阪空調和衛生工業協会		
全国管工事業協同組合連合会	現場見学会												https://zenkanren.jp/	03-5981-8957
	インターンシップ (職業体験学習)													
	出前講座・講習会													
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○「能登半島地震における応急復旧活動の記録」をHP上で公開	令和6年4月~	○	○	○	○	○	○	-		無		
		○漫画「命の水物語」HPで公開	令和4年度~	○	○	○	○	○	○	-		無		
		○「毎日の快適をつなげる管工事の仕事を知る」をHP上で公開	令和4年度~	○	○	○	○	○	○	-		無		
		○「管工事のお仕事 紹介動画(リクルート編/一般・子供編)」をHP上で公開	平成30年3月~	○	○	○	○	○	○	-		無		
		○「配管の仕事に必要な材料・工具用語集」の配布	6月			○			○	1校50冊×24校=1,200冊		無		
	資格取得支援	○技能検定「配管工」の受検用練習材料の提供	11月			○			○	270名を予定		無		
	合同企業説明会													
	イベント開催・参加													
	産官学連携の協議会													
	教諭との意見交換会	○全国設備工業教育研究会(青森大会)への協力、出席	7月						○	青森県連会長、全管連事務局長	無			
	その他													

令和7年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会以外)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象						参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先
				大学 (短大 生)	専門 学校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者				
(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会	現場見学会	○大学生対象の現場見学会 大学生対象に会員企業の施工中の現場で、現場見学会を実施し、建設業に対する理解を深め入職促進へ繋げる。		○						名古屋工業大学 環境都市分野(3回生) 参加人数46名	無	https://www.poken.or.jp/activities/promotion/?id=year2025	03-3260-2518
	インターンシップ (職業体験学習)												
	出前講座・講習会	○OPC技術専門家派遣 大学、専門学校にてプレストレスト・コンクリートの座学を実施。	4~7月	○	○					全国、現在13校にて開催	無		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)												
	資格取得支援												
	合同企業説明会												
	イベント開催・参加												
	産官学連携の協議会												
日本室内装飾事業協同組合連合会	教諭との意見交換会											http://www.nissouren.jp/	03-3431-2775
	その他												
	現場見学会												
	インターンシップ (職業体験学習)												
	出前講座・講習会	○出張職業体験 施設内の壁紙張り替え体験	9月			○	○			児童養護施設「名広愛児園」 20名	愛知県室内装飾事業協同組合		
	○高校出前授業 座学及び壁装(クロス)貼り作業の体験授業		11月			○				広島県立福山工業高校2年生 35名	広島県室内装飾事業協同組合		
	○高校出前授業 座学及び壁装(クロス)貼り作業の体験授業		3月			○				北海道札幌工業高校2年生 72名	北海道インテリア事業協同組合		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)												
(公社)全国解体工事業団体連合会	資格取得支援											https://www.zenkaioren.or.jp/	03-6262-0321
	合同企業説明会												
	イベント開催・参加												
	産官学連携の協議会												
	教諭との意見交換会												
	その他												
	現場見学会	○高校生就職希望者に対する解体現場見学【(一社)愛知県解体工事業協会フジ建設】	3月			○				通信制高校1名	無		
	○あきた次世代エネルギーパーク 施設現場見学会 4校の小学生を対象に事業所・現場の見学会を行い、実際に働いている技能者の仕事を見てもう。 (一社)秋田県解体工事業協会ユナイテッド計画株		10月~11月				○			川尻小学校 5年生64名、引率3名、市職員2名 計69名 旭北小学校 5年生30名、引率3名、市職員2名 計35名 四ツ小屋小学校 5年生24名、引率3名、市職員2名 計29名 河辺中学校 2年生26名、引率3名、市職員2名 計31名	経済産業省自然エネルギー庁、一般社団法人あきた地球環境会議		
(一社)秋田県解体工事業協会	インターンシップ (職業体験学習)	○中学生を招いての事業研修【(一社)愛知県解体工事業協会フジ建設】	1月			○				吉根中学校4名	無	http://www.zenkaioren.or.jp/	03-6262-0321
		○高校2年生の3日間インターンシップ (一社)秋田県解体工事業協会(株)柳沢建設	7月			○				女性生徒1名	鹿角高校		
		○高校生のインターンシップ 高校生を対象とした現場見学や測量体験など (一社)秋田県解体工事業協会(株)小野建設	8月			○				湯沢翔北高等学校雄勝校2年生1名	無		
		○技術専門校のインターンシップ 1年生を対象に企業の就職体験訓練を実施 (一社)秋田県解体工事業協会(株)鈴木兼工務店	10月		○					2名	無		
		○高校生を対象としたインターンシップ 就職活動開始前の高校2年生を対象に企業の体験入職を実施。 (一社)秋田県解体工事業協会ユナイテッド計画株	9月			○				秋田工業高等学校2年生 2名 秋田商業高校2年生 2名	無		
		○高校2年生を対象に企業の体験入職を実施 (一社)岩手県解体工事業協会	10月、12月			○				一関修紅高等学校各2名	無		
	出前講座・講習会	○小坂中学校への出前講座 ドローン操作とVR重機操作体験 (一社)秋田県解体工事業協会(株)柳沢建設	7月			○				約30名	鹿角建設業協会/鹿角地域振興局	https://www.zenkaioren.or.jp/	03-6262-0321
		○鹿角高校への出前講座 ドローン操作とVR重機操作体験 (一社)秋田県解体工事業協会(株)柳沢建設	9月			○				約100名	鹿角建設業協会/鹿角地域振興局		
		○十和田中学校への出前講座 PLATEAUにある大館市の3D都市モデルを変換し、マイクラフトのワールドデータとして体験 (一社)秋田県解体工事業協会(株)小野建設	11月			○				約200名	鹿角地域振興局/鹿角公共職業安定所/鹿角市教育委員会		
		○高校への出前講座 建設DXの講座、ドローン体験 (一社)秋田県解体工事業協会(株)小野建設	6月			○				羽後高等学校	無		
		○高校への出前講座 測量授業、測量コンテスト (一社)秋田県解体工事業協会(株)小野建設	10月			○				湯沢翔北高等学校雄勝校2年生8名	主催:雄勝建設業協会		
		○高校への出前講座(予定) 土木授業、割りばしで作るブリッジコンテスト (一社)秋田県解体工事業協会(株)小野建設	2月			○				湯沢翔北高等学校雄勝校2年生8名	主催:雄勝建設業協会		
		○令和7年度「中学生向け秋田地域企業ガイダンス」 複数の中学校の学生を対象に、地元企業に关心をもってもらい、若者の県内定着を促進する取り組みに参加。 (一社)秋田県解体工事業協会ユナイテッド計画株	10月			○				飯島中学校1年生 25名 城東中学校1年生 36名 御野場中学校1年 26名	秋田地域振興局、秋田公共職業安定所		
		○建設企業による高校生向け出前説明会 金足農業高校に向けて企業説明会を実施予定。 (一社)秋田県解体工事業協会ユナイテッド計画株	12月			○				金足農業高校	一般社団法人秋田中央建設業協会、秋田県建設部建設政策課		
		○県内定着キャリアプランFes 秋田工業高等専門学校生に向けて企業説明会を実施。 (一社)秋田県解体工事業協会ユナイテッド計画株				○				秋田工業高等専門学校 本科3年生、4年生 保護者 18名	秋田高専グローカル人材育成会、秋田工業高等専門学校		
(一社)秋田県解体工事業協会	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○解体工事業を紹介する内容の広報誌を作成し配布する【(協)長野県解体工事業協会】	年度内	○	○	○				-	有	https://www.zenkaioren.or.jp/	03-6262-0321
		○中学生のお仕事ノートへの掲載【(一社)愛知県解体工事業協会フジ建設】	4月			○				-	無		
		○あきたタウン情報COURSEへの掲載 あきたタウン情報様が全県の高校2年生へ配布 (一社)秋田県解体工事業協会(株)小野建設	10月			○				全県の高校2年生	無		
		○ブログ、Instagramへの投稿 建設業・会社の魅力を社長のブログや会社公式Instagramで発信 (一社)秋田県解体工事業協会(株)小野建設	4月~3月	○	○	○	○	○	○		無		
(一社)秋田県解体工事業協会	資格取得支援												

令和7年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における扱い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会以外)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象						参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先
				大学 (短大 ・生)	専門 学校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者				
(公社)全国解体工事業団体連合会	合同企業説明会	○合同説明会への参加【(一社)愛知県解体工事業協会フジ建設】	9月	○						大学3回生 24名	無	https://www.zenkaikeuren.or.jp/ 03-6262-0321	
		○地元高校2年生対象の合同企業説明会への参加 (一社)秋田県解体工事業協会(株)柳沢建設	2月			○				約40名	鹿角地域振興局/鹿角公共職業安定所/かづの商工会		
		○地元高卒者対象の合同企業説明会への参加 (一社)秋田県解体工事業協会(株)柳沢建設	7月			○				約40名	鹿角地域振興局/鹿角公共職業安定所/かづの商工会		
		○秋田県開催の大卒等対象の合同企業説明会への参加 (一社)秋田県解体工事業協会(株)柳沢建設	6月	○	○					約60名	秋田県・秋田労働局		
		○ハローワーク湯沢主催合同企業説明会へ参加 高校3年生を対象に会社・求人について説明 (一社)秋田県解体工事業協会(株)小野建設	6~8月			○				湯沢雄勝の就職希望の高校3年生	秋田県、あきた就職ナビ、ハローワーク等		
		○かたがみ企業就職フェア2025 大学生・専門学校生・高校生を対象とした就職説明会に参加。 (一社)秋田県解体工事業協会ユナイテッド計画株	6月	○	○	○				-	潟上市、ハローワーク秋田、ハローワーク男鹿、秋田地域振興局、秋田県教育委員会		
	イベント開催・参加	○小学生対象の建設業PRイベント ドローン体験 (一社)秋田県解体工事業協会(株)柳沢建設	8月				○			約15名	鹿角建設業協会/鹿角地域振興局		
		○解体工事業ポスタークンクール【(一社)栃木県解体工事業協会】	7~8月			○	○	○		-	無		
		○雄勝建設業協会主催建設フェスタへ参加 高校生を対象に舗装、型枠工などの体験、小型建設機械の資格取得を支援 (一社)秋田県解体工事業協会(株)小野建設				○				湯沢雄勝の希望生徒	主催:雄勝建設業協会		
		○うご町すげーな祭りへ参加 パックホウ2台への試乗、重機ラジコンでおかしづくい (一社)秋田県解体工事業協会(株)小野建設				○				-	主催:うご町すげーな祭り実行委員会		
	産官学連携の協議会	○けんせつ未来フェスタへ参加 フェスタスタッフ、ミニD1グランプリ選手として参加 (一社)秋田県解体工事業協会(株)小野建設		○	○	○	○	○	○	御所野イオン来場者	主催:秋田県 共催:秋田河川国道事務所、秋田県建設業協会、秋田県建設業団体連合会、秋田県建設技術協会		
	教諭との意見交換会	○【秋田高専グローカル人材育成会】令和7年度「何があるの?あきたのお仕事を知ろう!」 小学生と保護者向けの事業紹介を行った。 (一社)秋田県解体工事業協会ユナイテッド計画株	11月				○	○		-	秋田高専グローカル人材育成会、秋田工業高等専門学校		
		○【秋田高専グローカル人材育成会】令和7年度「学生のための業界研究会」 秋田高専本科3年生に向けた業界研究会。 (一社)秋田県解体工事業協会ユナイテッド計画株	11月			○				秋田高専本科3年生(170名)	秋田高専グローカル人材育成会、秋田工業高等専門学校		
		○高校を訪問し、就職に対する意見交換を実施【(一社)愛知県解体工事業協会フジ建設】	6月						○	教員1名×名古屋市の高校10校	無		
全国建設労働組合総連合	現場見学会											https://www.zenkensoren.org/ 03-3200-6221	
	インターンシップ (職業体験学習)												
	出前講座・講習会	○学校教育協力運動 国土交通省の建築大工技能者等の扱い手確保・育成事業、厚生労働省の建設労働者確保育成助成金、若年技能者人材育成支援等事業を活用し、教育現場で技能者が建設業の啓発・啓蒙、課題指導を実施。			○	○	○			149校 5,754名	無		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)	○「建設産業ガイドブック」の配布 建設産業人材確保・育成推進協議会が作成している同冊子を希望する加盟組合に無償で配布。その後、地域での教育現場指導で資料として活用。			○	○	○	○		2,500部	無		
		○「木の家づくりと大工さん」の作成・配布 関係団体で構成する木造技能者育成検討委員会で作成。木の家の素晴らしさを伝える内容となっている他、職業能力基準、キャリアパス等も記載。 希望する加盟組合に無償で配布。その後、地域での教育現場指導で資料として活用。				○	○			5,700部	無		
	資格取得支援												
	合同企業説明会												
	イベント開催・参加	○ものづくり体験教室 住宅デーまたは地域の住宅フェア、技能フェア等の催事においてCDラックや本立てなどの作成指導し、ものづくりの魅力を伝える。				○	○			木工教室 980か所 住宅デー全体で263,746名	無		
	産官学連携の協議会	○「学校教育協力運動」は授業時間の一環として取り組まれているため、当団体の加盟組合やその支部等の一部で、各学校や教育機関との意見交換が行われている。 ※集約を行っていないため詳細は不明	不明						○	不明	無		
	教諭との意見交換会	○大工になろうNET 学生などの求職者向けに、職業訓練校の紹介や大工のインタビュー等を掲載。大工の魅力を発信するサイトの管理・運営を行う。			○	○	○	○	○	-	建築大工技能者等検討会		
建設業労働災害防止協会	現場見学会											https://www.kensaibou.or.jp/ 03-3453-8201	
	インターンシップ (職業体験学習)												
	出前講座・講習会												
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)												
	資格取得支援												
	合同企業説明会												
	イベント開催・参加	○全国建設業労働災害防止大会の開催 当大会に招待し、労働安全衛生行政に関する講演、建設企業等における安全衛生活動の発表等を聴講していただき、建設業における職場の安全衛生対策への理解を深める。	10月			○			○	兵庫県立兵庫工業高等学校 教諭14名・生徒203名	無		
	産官学連携の協議会												
	教諭との意見交換会												
	その他												

令和7年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会以外)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象						参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先
				大学 (短 大) 生	専 門 学 校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者	教 諭			
全国建設関係訓練校等連絡会議【(職訓)近畿建設技能研修協会】	現場見学会												<div style="display: inline-block; width: 150px; height: 150px; background-color: #f0f0f0; border: 1px solid #ccc; border-radius: 50%; margin-bottom: 10px;"></div> <div>https://www.kensetsu-sanda.ac.jp/</div> <div>079-564-4745</div>
	インターンシップ (職業体験学習)												
	出前講座・講習会												
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)												
	資格取得支援												
	合同企業説明会												
	イベント開催・参加	○高校生夏休み就業体験 高校生に対して型枠組立および重機乗車体験を通して建設業の魅力をPR。	8月		○						学校2校 計5名	奈良県建設業協会	
		○高校生一日体験セミナー 高校生に対して型枠組立および重機乗車体験を通して建設業の魅力をPR。	9月		○						学校1校 35名	兵庫県	
	産官学連携の協議会												
	教諭との意見交換会	○兵庫県建設産業人材確保推進連絡協議会作業部会 送り手である工業高校、受け手である企業、建設業協会と教育訓練校による意見交換会。 工業高校の教諭と意見交換会を開催し、建設業の魅力や役割について生徒にどのように指導するか、就職状況についてなどの情報共有を行った。	6、8、10、12月					○	学校5校 企業3社 団体2社		兵庫県建設業協会		
	その他												
全国建設関係訓練校等連絡会議【(一社)職人育成塾】	現場見学会												<div style="display: inline-block; width: 150px; height: 150px; background-color: #f0f0f0; border: 1px solid #ccc; border-radius: 50%; margin-bottom: 10px;"></div> <div>https://www.shokuninjuku.com/</div> <div>087-880-3987</div>
	インターンシップ (職業体験学習)												
	出前講座・講習会	—	—								—	—	
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)												
	資格取得支援												
	合同企業説明会												
	イベント開催・参加	○香川県技能フェスティバルに参加 左官ワークショップでの泥団子作りを開催。小学生と保護者に建設業の魅力をPRした。	8月		○	○		—			香川県職業能力開発協会		
全国建設関係訓練校等連絡会議【(一社)利根沼田テクノアカデミー】	産官学連携の協議会												<div style="display: inline-block; width: 150px; height: 150px; background-color: #f0f0f0; border: 1px solid #ccc; border-radius: 50%; margin-bottom: 10px;"></div> <div>https://www.w.t-academy.jp/</div> <div>0278-25-8852</div>
	教諭との意見交換会												
	その他												
	現場見学会												
	インターンシップ (職業体験学習)	○高校生への職業体験および各業種説明会 ・1年生➡各業種の理解を目的とした内容 ・2年生➡1年生よりも1ステップアップした体験・説明	7～8月	○					・利根実業高等学校建設コース 1年生 20名 ・利根実業高等学校建設コース 2年生 4名 ・前橋工業高等学校建築科 1年生 40名 ・前橋工業高等学校建築科 2年生 8名	無			
	出前講座・講習会												
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)												
	資格取得支援												
全国建設関係訓練校等連絡会議【(一社)北陸建設アカデミー】	合同企業説明会												<div style="display: inline-block; width: 150px; height: 150px; background-color: #f0f0f0; border: 1px solid #ccc; border-radius: 50%; margin-bottom: 10px;"></div> <div>https://hokuriku.or.jp/</div> <div>0254-20-8106</div>
	イベント開催・参加	○ワークショップ(設備工作、左官工作) 小学生を対象とした工作	7、10月		○		○		利根小学校 約30名 多那小学校 約30名		沼田市社会福祉協議会		
	産官学連携の協議会												
	教諭との意見交換会												
	その他	○二地域居住における二拠点教育 東京都内の学生が群馬県の山間地域で木材の伐倒や製材など現場体験などを実施経験してもらう。	9、11月	○				豊田高専 10名 葛西工科高等学校 建築科 10名(予定) 田無高等学校 5名(予定)	無				
全国建設関係訓練校等連絡会議【(一社)北陸建設アカデミー】	現場見学会												<div style="display: inline-block; width: 150px; height: 150px; background-color: #f0f0f0; border: 1px solid #ccc; border-radius: 50%; margin-bottom: 10px;"></div> <div>14</div>
	インターンシップ (職業体験学習)	○中高生職場体験インターンシップ受入 中学生は職場体験の一環として(株)小野組を選択し、本社内の見学やドローン操作を体験した。高校生は、インターンシップの一環として参加した。会社説明、ドローン体験、実際の現場見学を通して地域と建設業のつながりを理解し、将来自分が働く姿を想像してもらうような内容とした。	7月	○	○			7名 (中学生2名、高校生5名)	(株)小野組				
		○総合的な学習の時間郊外活動 胎内市黒川地区的様々な施設を訪問することで、改めて郷土の良さを発見し、郷土を愛する心を養う。地域で働く人達へのインタビューを通じて、地元で働くことの意義や魅力を発見する。	10月		○			2名	胎内市立黒川中学校				

令和7年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における扱い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会以外)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象						参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先
				大学 (短大 生)	専門 学校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者				
全国建設関係訓練校等連絡会議【(一社)北陸建設アカデミー】	出前講座・講習会	○学校キャラバン 進路選択を控えた高校2年生を対象に、建設業について講習、左官実習、重機体験等の機会を提供し、建設業への入職促進につなげる。	7月			○				19名	新潟県立中条高等学校	https://hokuuriku.or.jp/	0254-20-8106
		○豊田工業高等専門学校2拠点教育 (一社)利根沼田テクノアカデミーにおける重機訓練シミュレータ体験、小型車両建設機械操作体験指導。	9月			○				10名 (高専生)	(一社)利根沼田テクノアカデミー		
		○産学連携事業計画 建設現場で働くための基礎知識(建設業の役割、土木工事とは、土木施工管理の流れ、自然災害対応、会社説明、工事現場見学)。	9~11月		○					6名	新潟工科専門学校		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)												
	資格取得支援												
	合同企業説明会												
	イベント開催・参加	○重機パイロット選手権協力 胎内市建設業協会主催の重機パイロット選手権において、重機訓練シミュレータのブースを設置。子ども連れの家族を対象に重機操作が体験できる機会とした。	9月				○	○		100名	胎内市建設業協会		
	産官学連携の協議会												
	教諭との意見交換会												
	その他												
全国建設関係訓練校等連絡会議【(職)広島建設アカデミー】	現場見学会											http://www.fukuikenseitu.co.jp/academy/	082-235-1877
	インターンシップ (職業体験学習)												
	出前講座・講習会	○県内高校への出張教育(とび) とび技能検定3級課題組扱し。	10月			○				福山工業建築科1年生37名	広島県建設業協会		
		○県内高校への出張教育(左官) 壁塗り体験、洗出し工法体験。	10月			○				福山工業建築科1年生37名	広島県建設業協会		
		○県内高校への出張教育(左官) 壁塗り体験、洗出し工法体験。	11月			○				府中東高校都市システム科1年生24名	広島県建設業協会		
		○県内高校への出張教育(とび) とび技能検定3級課題組扱し。	11月			○				府中東高校都市システム科1年生24名	広島県建設業協会		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)												
	資格取得支援												
	合同企業説明会												
	イベント開催・参加												
	産官学連携の協議会	○若年技能者人材育成支援等事業連携会議	4、12月						○	大学教授2名、労働局1名、県職員3名、団体職員2名、民間3名、事務局6名	広島県職業能力開発協会主催		
	教諭との意見交換会												
	その他												
全国建設関係訓練校等連絡会議【(職訓)全国建設産業教育訓練協会】	現場見学会											https://www.fuji-kkc.ac.jp/	0544-52-0968
	インターンシップ (職業体験学習)												
	出前講座・講習会	○建築系大学生を対象に施工管理実習を実施	夏季休暇	○						東洋大学3名 名城大学1名 立命館大学6名	無		
		○(学校法人)中央工学校OSAKA主催の技能体験研修へ協力。 ものづくりのむずかしさや楽しさ、奥深さを感じられるよう施工体験のプログラムを構成し、実施した。	10月上旬		○					中央工学校OSAKA61名	無		
		○東日本保証からの支援により、将来の扱い手となる就職前の学生を対象に、各県建設業協会が対象者を募り、就職前準備研修を実施予定。	2月中旬 3月中	○	○	○				30~100名/回を4回程度で実施の予定	東日本建設業保証㈱ (一社)青森県建設業協会 (一社)岩手県建設業協会 (一社)秋田県建設業協会 (一社)山形県建設業協会 (一社)宮城県建設業協会 (一社)福島県建設業協会 (一社)栃木県建設業協会 (一社)茨城県建設業協会 (一社)群馬県建設業協会 (一社)埼玉県建設業協会 (一社)千葉県建設業協会 (一社)神奈川県建設業協会 (一社)山梨県建設業協会 (一社)東京都建設業協会 (一社)新潟県建設業協会 (一社)富山県建設業協会 (一社)石川県建設業協会 (一社)福井県建設業協会 (一社)岐阜県建設業協会 (一社)三重県建設業協会 (一社)静岡県建設業協会 (一社)愛知県建設業協会 (一社)愛知県土木研究会		
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)												
	資格取得支援	○(一社)静岡県建設業協会主催のサマーワークシップへ協力 資格取得を目指す意欲的な高校生へ受講環境を整え、実施した。	夏季休暇			○				磐田農業高等学校3年生2名 科学技術高等学校3年生4名 静岡農業高等学校3年生4名	(一社)静岡県建設業協会		
		○学校法人中央工学校主催の夏季技能訓練合宿へ協力 資格取得を目指す意欲的な専門学校生へ受講環境を整え、実施した。	8月上旬		○					中央工学校10名	中央工学校		
		○学校法人浅野工学専門学校主催の夏季技能訓練合宿へ協力 資格取得を目指す意欲的な専門学校生へ受講環境を整え、実施した。	8月下旬		○					浅野工学専門学校5名	浅野工学専門学校		
	合同企業説明会												
	イベント開催・参加												
	産官学連携の協議会	○静岡県人材確保育成コンソーシアムに参加 県内の高等学校や大学などの専門課程への進学者数減少について協議した。また、就職先としての県内建設関連企業への数も伸び悩んでおり、協議の対象となった。	8月中旬						○	20名程度	静岡県 (一社)静岡県建設業協会 県内各専門高校 静岡理工科大学		
	教諭との意見交換会	○大学教授や業界有識者と意見交換 指導方法の在り方やハラスメント対策、職業訓練校の活用などを協議した。	8月下旬						○	12名	(公社)日本建築士会連合会 (一財)建設業振興基金 (一社)建設産業専門団体連合会		
	その他												
全国建設関係訓練校等連絡会議【(職訓)富士吉田職業訓練協会】	現場見学会											http://fyo5hidakunenko.jp/	0555-22-5214
	インターンシップ (職業体験学習)												
	出前講座・講習会												
	広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)												
	資格取得支援												
	合同企業説明会												

令和7年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会以外)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象						参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先
				大学 (短大 ・生)	専門 学校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者				
全国建設関係訓練校等連絡会議【(職訓)富士吉田職業訓練協会】	イベント開催・参加	○森のおまつり 親子でものづくり体験を行い、ものづくりの魅力を発信するためにイベントに参加。	10月			○	○	○		100名(体験人数)	無	http://fyoshidakunrenko.jp	0555-22-5214
		○訓練校まつり 未就学児・小学生・中学生・高校生を中心に来場者に対して体験教室を行い、ものづくりの魅力を発信するためのイベントを開催。	10月	○	○	○	○	○	○	200名	無		
	産官学連携の協議会												
	教諭との意見交換会												
	その他												
全国建設関係訓練校等連絡会議【関西鉄筋工業協同組合】	出前講座・講習会	○現場見学会										https://kantetu.com/	06-6946-2137
		○インターンシップ (職業体験学習)											
		○工業高校への出前講座 技能検定3級モデルの組立体験と鉄筋工事の役割についての座学。	10月			○			○	篠山産業高校14名	無		
		○工業高校への出前講座 技能検定3級モデルの組立体験。	11月			○				宮津天橋高校29名	無		
		○専門学校への5職種合同出前講座 とび・型枠・左官・圧接・鉄筋。	11月		○					修成建設専門学校50名	有		
		○工業高校への5職種合同出前講座 とび・型枠・左官・圧接・鉄筋。	11月			○				西野田工科高校16名	有		
		○工業高校への出前講座 技能検定3級モデルの組立体験。	11月			○				奈良商工高校36名	有		
	イベント開催・参加	○工業高校への出前講座 技能検定3級モデルの組立体験。	11月			○				奈良南高校4名	有		
		○工業高校への出前講座 技能検定3級モデルの組立体験。	12月			○				都島工業高校54名	有		
		○みらいのたからばこ2025inあべのキューズモール春に出演 簡単な鉄筋作業の体験(職人なりきり体験、結束体験、鉄筋加工体験)。	4月				○	○		大阪府内小学生 来場者2500名 ブース来場者500名	有		
		○みらいのたからばこin関西万博に出演 簡単な鉄筋作業の体験(職人なりきり体験、結束体験、鉄筋加工体験)。	10月				○	○		万博来場者小学生 来場者10,000名 ブース来場者1,000名予定	有		
		○日本コンクリート工学会主催のイベントへ参加 簡単な鉄筋作業の体験(結束体験、鉄筋加工体験)。	10月				○	○		京都府内小学生 来場者500名予定	有		
		○みらいのたからばこ2025inインテックス大阪に出展 簡単な鉄筋作業の体験(職人なりきり体験、結束体験、鉄筋加工体験)。	11月				○	○		大阪府内小学生 来場者17,000名 ブース来場者700名	有		
		○みらいのたからばこ2025inあべのキューズモール冬に出演 簡単な鉄筋作業の体験(職人なりきり体験、結束体験、鉄筋加工体験)。	1月				○	○		大阪府内小学生 来場者2,500名 ブース来場者500名予定	有		
（一社）全国地質調査業協会連合会	インターンシップ (職業体験学習)	○現場見学会										https://www.zenchiren.or.jp/	03-3518-8873
		○インターンシップの実施【東北地質調査業協会の会員会社の活動】 就職活動開始前の学生を対象に、就労体験型インターンシップを実施予定(一部有償)。	8～9月	○	○	○				9名	無		
		○職場体験の実施【東北地質調査業協会の会員会社の活動】 中学校からの依頼により土質試験、UAV撮影等の実務体験。施工中現場の見学を行い、工事内容を知ってもらう。	平成31年度～現在				○			3名/年	無		
		○インターンシップの実施【東北地質調査業協会の会員会社の活動】 会員企業からの呼びかけで、地すべり現場の現地踏査、踏査結果を用いた座学を実施。	7月	○						10名	無		
		○1日仕事体験、インターンシップの実施【東北地質調査業協会の会員会社の活動】 就職活動開始前の大学生、高専学生を対象に企業の就業体験の実施。	8、2月	○	○					50名程度	無		
		○インターンシップの実施(2日コース・5日コース) 【東北地質調査業協会の会員会社の活動】 施工中現場の見学やボーリングコアからの柱状図作成体験等。	9月	○						4名	無		
		○インターンシップの実施【石川県地質調査業協会】 大学3年生を対象に企業の体験入職の実施(5日間および1日)。	8、9、10、1、2月	○						数名/企業	無		
		○インターンシップの実施【広島県地質調査業協会会員会社の活動】 ①就職活動開始前の学生を対象に、就労体験型インターンシップを実施、②近隣の小中学生からの依頼で、地質踏査、土質試験、UAV撮影等の職場体験を実施。	8～9月(大学) 5～7月(小中学生)	○			○	○		対応企業により参加人数に差 異あり①大学:3～40名②小中 学生:5～15名	無		
		○インターンシップの実施【四国地質調査業協会の会員会社の活動】 大学3年生を対象に最大5日間の職場体験型インターンシップを年2回実施。	令和2年度より 実施 8、12月	○						5～10名	無		

令和7年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会以外)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象						参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先
				大学 (短大 ・生)	専門 学校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者				
(一社)全国地質調査業協会連合会	出前講座・講習会	○大学、高専等への訪問説明【全国地質調査業協会連合会】 国土交通省と建設関連業3業種で構成する建設関連業イメージアップ促進協議会では、PR活動として、地質、測量、設計の3団体が大学等を訪問し、学生を対象に業の役割や魅力について説明している。	平成24年度～現在	○	○					3～5校/年 計200～300名	建設関連業イメージアップ促進協議会、国土交通省建設市場整備課	https://www.zenchirenen.or.jp/	03-3518-8873
		○工業高校への出前講座【東北地質調査業協会】 仙台市立工業高校に地質調査に関する出前講座を年2回(春:定期制、秋:全日制)実施している。	平成20年度～現在			○				定期時:10名程度 全日制:30名程度	工業高校等実践教育導入事業クラフトマン21、経済産業省		
		○大学、高専等への訪問説明【東北地質調査業協会の会員会社の活動】 大学教授等への訪問を実施。一部、学生への業界説明、会社説明等を実施。	平成30年頃～	○	○					約20校/半年	無		
		○小学校への出前講座【東北地質調査業協会の会員会社の活動】 会員企業の近隣小学校(6年生)を対象に、地域の地層・地歴の講座と、化石の展示、軟弱地盤のレクリエーション等を通じて、地質に興味を持つてもらう。	平成24年～現在					○		50名程度	無		
		○高等学校『地質調査実習授業』【新潟県地質調査業協会】 高校生にサウンディング試験(半自動式および手動式)の体験を通じ地質調査の役割の重要性を理解してもらい、地質調査業への関心の拡大を図る。	未定			○				40名程度	無		
		○小学校出前授業『地盤の液状化とは?』【新潟県地質調査業協会】 実験キット「エッキー君」(ペットボトル、砂、水、マップビン)を使い、液状化の仕組みを学習する。併せて、新潟地震など液状化被害の実際を見てもらい、地質調査のアソシエ全地連作成などを用いて「地質調査の仕事」の重要性を紹介する。	12月頃					○		実施小学校との調整による (令和7年度は30名程度)	無		
		○石の標本づくり【石川県地質調査業協会】 小学生を対象に石の標本づくりを通して、身近な石(岩石)に興味を持つてもらう。標本づくりは、手取川河川敷の石を岩種毎に区分し、該当の石(岩)を收集。	6、11月					○	○	30組(60名程度)	金沢大学、白山手取川ジオパーク		
		○出前講座【石川県地質調査業協会】 地質調査業の魅力を伝えるセミナー 地質調査に使用するボーリングマシン等の機械や器具の体験学習を実施する予定。	12月		○	○				30名	無		
		○大学への出前講座【東京都地質調査業協会】 大学生を対象とした地質調査業の紹介セミナー開催 3大学(東京海洋大学・東京理科大学・千葉工業大学)で各1回実施。	10～12月	○						30～140名	無		
		○小学生～中学校生対象【中部地質調査業部協会】 女性活躍WGの方で「2025夏のリコチャレ」副題「天然石の万華鏡を作ろう」の題女性技術者と学ぶ地質のお仕事を開催した。	8月				○	○		30名	無		
		○高校への出前講習を行う【中部地質調査業部協会】 小牧工科高校(12/10)、犬山工科高校の2校へ10～12月間に出前講習会を実施(予定)。 ・地質調査の紹介 ・地すべりまたは液状化に関する知識とミニ実験 ・防ぐ対策工は?(対策工の検討)	10～12月		○				○	各35～40名	無		
		○大学への出前講習を行う【中部地質調査業部協会】 三重大学の「生物資源学部」に所属する教員免許取得希望の学生を対象にアクティブラーニング形式の出前授業(地学演習)を開催 ・事前学習(地すべり調査の基礎知識) ・「地すべり調査」事例を題材にしたグループワークと発表 ・地質調査結果の解釈と機構解析結果の紹介	8月	○						25名	三重県 県土整備部		
		○大学での特別講演講師【関西地質調査業協会】 関西地質調査業協会の若手メンバーにより、地学・地質およびAIやDXも含めた内容で講師を務める。「地球科学のすゝめ」として特別講演の講師を行った(令和4年より実施)。	6月24日、7月2日	○						150～250名	立命館大学 龍谷大学		
		○「親と子の地学教室」【(一社)中国地質調査業協会、鳥取県地質調査業協会】 地域社会貢献の一環として一般の方々を対象に、自然に親しみながら地学を学ぶことを目的とする。主には小学生を対象に、化石・鉱物・岩石採取やジオパーク見学等を行っている。	平成8年度～現在(年1回)			○	○	○	○	20～50名/回	無		
		○「地盤のプロと防災を考えよう!」【(一社)中国地質調査業協会、鳥取県地質調査業協会】 鳥取県主催、山陰海岸ジオパーク推進協議会共催による屋内実験・実習・座学への参加。屋内実験(土の侵食実験、液状化実験)と、実習(模型スケール作成、紙でホイッスル、スリッパなどの防災グッズ工作)、および座学(災害と土質との関係、災害を想定したクロスロードゲーム)を行っている。 ※昨年までの「調べてみよう! 地面の下」から名称など変更	平成26年度～現在(年1回)				○	○		10～30名/回	山陰ジオパーク推進協議会		
		○応用地質研究発表会の開催【山口県地質調査業協会】 山口県内の地質技術者、地盤技術者や山口大学の学生等が一堂に会し、地質・地盤技術および応用地質に関する情報交換する機会を設けることを目的としている。	春 5月頃	○						40名程度	山口大学理学部、一社 日本応用地質学会中国四国支部 一社 山口県測量設計業協会		
		○技術講習会の開催【山口県地質調査業協会】 地質調査に関わる先端技術・情報の収集、同業企業の研鑽・情報共有、就学生の方々への業務内容の紹介、産官学の意見交換を目的としている。	秋 9～11月	○						150名程度	山口大学理学部 山口大学工学部		
		○防災学習ワークショップ授業【四国地質調査業協会高知支部】 中学校生徒の防災意識の向上と、災害発生時における適切な行動を習得することにより、主体的に防災対策に取り組むことができるよう、中学校周辺の地形地質や過去の災害履歴から、自然災害や防災知識を学ぶための講座を実施。	9月				○		○	60名 (1～3年生)	自衛隊、消防署、南国市危機管理課、工業高校、企業他		
		○高等技術学校での地質調査実習講義【四国地質調査業協会香川支部】 高等技術学校(建築システム科)の生徒を対象に座学(地形・地質について、地質調査について)と現地実習(ボーリングと原位置試験の実演)を実施。	3月頃			○				5～10名程度	無		
広報活動(メディア、DVD、冊子の活用)		○リクルート・パンフレットの作成・配布【(一社)北海道地質調査業協会】 北海道地質調査業協会では、地質調査業とは何かということを高校生等にPRするため、北海道内約300校にパンフレットを送付している。	令和2年度～	○	○					約300校	無		
		○都立高校への調査関連冊子の寄贈【東京都地質調査業協会】 技術ノートNO.57「東京の鍾乳洞(東京協会編)」を寄贈。	10月			○				192校(192部 1部/1校)	無		
		○県立高校・附属中学校および中等教育学校への調査関連冊子の寄贈【茨城県地質調査業協会】 「日本ってどんな国」シリーズ～地震を知って身を守ろう～(全地連編)、「地質調査業の紹介」(関東協会編)を寄贈	6月			○	○			113校(226部 2部/1校)	無		
		○大学生、高専生、高校生向けのパンフレット作成、配布【島根県地質調査業協会等】 地質調査・地質エンジニアの仕事の紹介および島根県地質調査業協会の紹介のパンフレットを作成し、就職活動をされている学生の皆さんに地質調査業について理解を深めてもらう。	令和5年4月～現在	○	○	○				2～5校/年	無		
資格取得支援		○熊本県の建設産業魅力発見ガイドへの参加【熊本県地質調査業協会】 熊本県が開催する高校生向けの建設産業ガイドに参加し、地質調査業の仕事の紹介、パンフレットの配布を行い、地質調査業の理解を深めてもらう。	平成29年度～			○				工業系11校	無		
合同企業説明会		○熊本県の建設産業魅力発見ガイドへの参加【熊本県地質調査業協会】 熊本県が開催する高校生向けの建設産業ガイドに参加し、地質調査業の仕事の紹介、パンフレットの配布を行い、地質調査業の理解を深めてもらう。	平成29年度～			○				工業系11校	無		

令和7年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会以外)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象						参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先		
				大学 (短大 ・生)	専 門 学 校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者	教 諭					
(一社)全国地質調査業協会連合会	イベント開催・参加	○「そなエリア東京防災イベント」への参加【関東地質調査業協会】防災体験学習施設での、防災パネル展示・液状化実験装置の実演・宅地診断(地盤検索システム)の実施。	8月			○	○	○		300名程度 (2日間)	東京都主催	https://www.zenchiren.or.jp/	03-3518-8873		
		○ケンセツジョブフェス(富山県主催)に参加【富山県地質調査業協会】富山駅構内で、建設関係団体が出展し、主に中高生を対象に建設業の魅力を伝える。	9月			○	○	○	○	○	全体でのべ5,000名	無			
		○学生のためのキャリア支援【関西地質調査業協会】建設技術展2025近畿において、来場いただいた学生等に対し、業界に興味をもって貰えるような説明と質問に答えていくコーナーに、関西地質調査業協会として毎年参加。※平成21年度より実施	10月	○	○	○					100~200名/年	国・各建設関連業界団体・土木学会、日刊建設工業新聞等多数			
		○「しまね大交流会2025」への共催、出展(予定)【島根県地質調査業協会】学生・生徒が、地域の企業・行政・NPO等から社会の在りようを学び、また、学生自身の研究や学びを発信する場を広く提供することにより、自身の生き方・働き方を主体的に考え、地域を支え、地域で活躍する人材の育成を図る。	11月	○	○	○				○	学生・生徒 約900名予定	島根県、島根大学、松江高専、島根県商工会議所、島根県中小企業団体中央会等			
(一社)建設コンサルタント協会	産官学連携の協議会	○「島根県地質技術者育成コンソーシアム」への参加【島根県地質調査業協会等】令和3年1月より、島根大学地球科学科、島根県地質調査業協会、島根県測量設計業協会、島根県土木部の4者は地質技術者育成に向けた連絡会を開始し、現在は「島根県地質技術者育成コンソーシアム」を形成して活動している。コンソーシアムでは、それぞれの立場から地質技術者の育成や獲得にかかる産官学の取組や諸課題、現状報告、活動方針など定期的に情報交換を行い、県土の維持発展に貢献する専門人材育成を目指している。	令和3年1月～現在						○	1校 (現在、島根大学のみ。今後、高専、県内高校も対象とするよう進めていく。)	島根大学地球科学科、島根県測量設計業協会、島根県土木部	https://www.w.jcca.or.jp/	03-3239-7993		
		○「島根大学、島根県測量設計業協会、および中国地質調査業協会島根県支部(現、島根県地質調査業協会)との包括的連携に関する協定書」の締結 県民の安全・安心・便利な生活環境および経済活動基盤の維持・構築、ひいては持続可能な地域社会の実現に寄与するため、この協定を締結。	平成7年2月14日～現在							○	-	島根大学、島根県測量設計業協会			
		○「しまねを守る建設コンサルタントエンジニア育成奨学金【島根県地質調査業協会等】この奨学金制度は、島根県測量設計業協会と島根県地質調査業協会により令和5年4月に共同設立された、「しまねを守る建設コンサルタントエンジニア育成機構」が運営している。 島根県内の建設コンサルタントへの就職を希望する学部生・大学院生に対して奨学金を給付することで、将来のしまねの県土を守るエンジニアの育成に寄与し、県土の持続的な維持発展に貢献しようとするもの(県内出身・県外出身は問わない)。	令和5年4月～現在	○							2校 (島根大学、松江高専)	島根県測量設計業協会			
		○「まちづくり出前講座【中国支部】」 ○夏休みドローン体験イベント【四国支部】 ○出前授業【四国支部】 ○高校への出前授業、まちあるきワークショップ(SDGs探究活動)【九州支部】	8月 5～6月 6～1月												
(一社)建設コンサルタント協会	出前講座・講習会	○環境学習会【四国支部】 ○自然環境学習会【四国支部】	9月 10、11月			○	○	○	○	100名	無	https://www.w.jcca.or.jp/	03-3239-7993		
		○産官三機関合同インターンシップ【中部支部】	8月	○	○					10名	有				
		○工業高校出前講座(座学+現地見学)【北陸支部】 ○防災出前授業【北海道支部】 ○出前講座(児童会館)【北海道支部】 ○工業高校への出前講座【関東支部】 ○土木出張PR(新潟県内約50校)【北陸支部】 ○出前講座(尼崎市サマーセミナー)【近畿支部】 ○出前講座(京都市みんなの学校)【近畿支部】 ○出前講座(神戸市立水木小学校6年生)【近畿支部】 ○小・中学生への出前講座(防災教育)【中国支部】 ○まちづくり出前講座【中国支部】 ○夏休みドローン体験イベント【四国支部】 ○出前授業【四国支部】 ○高校への出前授業、まちあるきワークショップ(SDGs探究活動)【九州支部】	9月 10、11月 8月 ○工業高校出前講座(座学+現地見学)【北陸支部】 ○防災出前授業【北海道支部】 ○出前講座(児童会館)【北海道支部】 ○工業高校への出前講座【関東支部】 ○土木出張PR(新潟県内約50校)【北陸支部】 ○出前講座(尼崎市サマーセミナー)【近畿支部】 ○出前講座(京都市みんなの学校)【近畿支部】 ○出前講座(神戸市立水木小学校6年生)【近畿支部】 ○小・中学生への出前講座(防災教育)【中国支部】 ○まちづくり出前講座【中国支部】 ○夏休みドローン体験イベント【四国支部】 ○出前授業【四国支部】 ○高校への出前授業、まちあるきワークショップ(SDGs探究活動)【九州支部】												

令和7年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(都道府県建設業協会以外)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施時期	対象							参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先
				大学 (短 大 大 生)	専 門 学 校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者	教 諭				
(一社)建設コンサルタント協会	イベント開催・参加	○土木遺産な旅2025、旅ノートコンテスト【九州支部】	4~7月	○							22名	無	https://www.jcca.or.jp/ 03-3239-7993	
		○EEE東北'25【学生&企業交流広場】【東北支部】	6月	○	○	○					500名	無		
		○みやぎ元気まつり【PRコーナー出展】【東北支部】	8月					○	○		500名	無		
		○ダ・ヴィンチ祭【北陸支部】	8月	○							130名	有		
		○ケンセツジョブフェス2025【北陸支部】	9月	○		○					300名	有		
		○土木フェスティバル【北陸支部】	10月	○	○	○	○	○	○		2,300名	有		
		○建設技術フェア2025in中部【学生ひろば】【中部支部】	12月	○							200名	有		
		○建設コンサルタントフェア2025in中部【中部支部】	11月	○	○	○	○	○	○		145名	無		
		○打ち水大作戦2025in名古屋【中部支部】	8月	○	○	○	○	○	○		500名	有		
		○建コン近畿フォトコン【近畿支部】	10月	○	○	○	○	○	○	○	-	無		
		○建設技術展 キャリア支援活動【近畿支部】	10月	○	○	○					-	建設技術展内のイベント参加		
		○建設技術フォーラムinchiyugoku【中国支部】	10月	○	○	○				○	-	有		
		○まちあるき(土木施設見学会)【中国支部】	10月					○	○		-	無		
		○トイドローン体験会【中国支部】	9月					○	○		62名	有		
		○イコイコひろば～シャレオを五感で楽しむ23日間～【中国支部】	9~10月	○	○	○	○	○	○		1,400名	有		
		○シャレオdeASOBOSAI(遊ぼう×防災)【中国支部】	9月					○	○		40名	有		
		○ひろしま建設フェア2025	11月				○	○	○		684名	無		
		○みんなのあそびスタジアム【中国支部】	12月					○	○		-	有		
		○業界紹介・若手技術者の仕事内容紹介【中国支部】			○	○					500名	無		
		○土木の日ファミリーフェス【九州支部】	10月					○	○		3,000名	無		
		○九州建設技術フォーラム2025(リクルーティングプレゼンテーション)【九州支部】	10月	○	○	○					230名	無		
		○フォトコンテスト(小・中・高部門)【本部】	6~9月			○	○	○			220名	無		
	産官学連携の協議会	○建設関連業イメージアップ促進協議会(私立大学)【本部】									400名	有		
		○福岡県建設産業魅力発信・女性活躍委員会【九州支部】									50名	無		
	教諭との意見交換会													
	その他	○学生論文の実施【本部】			○						30名	無		

令和7年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(資格取得支援)(都道府県建設業協会)

注: 下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	資格取得支援取組内容	実施時期	対象							参加者 参加人数	共催団体等 の有無
			大学 (短大) 生	専 門 学 校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者	教 諭		
(一社)北海道建設業協会	○建設関連学科の高校生の資格取得支援 当協会の会員である地方協会が、高校生を対象に建設関連の施工管理技士等資格取得の支援(土木建築電気造園の2級第一次検定受験費用助成等)を実施。	6~11月			○					約900名	北海道建設業信用保証㈱
(一社)岩手県建設業協会	○受験準備講習会の開催 在校中での2級土木施工建築施工(第一次検定)受験者に対し講師を派遣し、合格者の確保を促す。 ○検定試験半額助成 2級土木建築造園、測量士、測量士補、技能系資格等の検定試験の受験率を高めるため、受験料の半額助成をし受験者PTAの負担を軽減する。 ○県内高校生を対象としてCADソフトの習熟度を高めるための講習会の実施 3DCADソフトを使ったBIM/CIM体験授業を開催し、就職後の積算技術やスキル向上に対応できる生徒を養成する。	10~12月	○	○	○					300名~	無
(一社)宮城県建設業協会	○建設業経理事務士特別研修 専門学校工業高校の生徒を対象に在学中に勉強する機会がなかった建設業経理事務士特別研修を実施することで、建設業に興味関心を持つてもらい、生徒の就職する際の選択肢として選定してもらうことを目的に実施する。	10~12月	○	○	○					300名~	無
(一社)秋田県建設業協会	○高校生の資格取得支援【(一社)北秋田建設業協会】 地元建設系高校生を対象として、2級土木建築施工管理技士受験対策テキストを提供。 ○建築施工管理技士 試験対策【(一社)秋田中央建設業協会】 建築施工管理技士受験に向けたテキストおよび問題集の寄付。 ○施工管理技士試験対策テキスト贈呈【(一社)由利建設業協会】 2級土木施工管理技士1次試験対策テキスト贈呈。 2級建築施工管理技士1次試験対策テキスト贈呈。 ○2級土木施工管理学科試験対策講座【(一社)平鹿建設業協会】 横手清陵学院高校ヘテキストの贈呈と講師を派遣し対策講座を行う。 ○2級土木施工管理学科試験テキスト一式無料プレゼント【(一社)平鹿建設業協会】 普通高校向けに実施。	5~11月			○				80名~	無	
(一社)山形県建設業協会	○高校生および県産業技術短期大学校を対象とした小型車両系建設機械運転特別教育 建設産業への入職促進を図るため、高校生および短大生を対象として実施した。	7~8月	○		○					仙台工科専門学校、仙台工業石巻工業古川工業白石工業高校土木科建築科合計約250名(予定含)	(一財)建設業振興基金
(一社)福島県建設業協会	○若年者資格取得支援に伴うバス借上げ支援 資格試験(2級施工管理技士等)会場までの交通費支援(バス代高速代支援)の実施	6月、10月			○					大館桂桜高校 土木17名 建築18名	無
(一社)茨城県建設業協会	○資格取得講習会の実施 2級土木施工管理技術検定第一次検定の受験対策講習会。 ○資格取得講習会の実施 2級建築施工管理技術検定第一次検定の受験対策講習会。	9~11月			○					秋田工業建築科	無
(一社)栃木県建設業協会	○高校生経理事務士(3~4級)特別研修【本部】 工業高校の生徒を対象に建設業経理事務士特別研修を実施。	11~1月			○			○		西目高校土木科3年生13名 由利工業高校建築科2年生31名	無
(一社)埼玉県建設業協会	○小型車両系建設機械運転特別教育支援 建設現場で必要となる小型車両系建設機械運転の資格取得を促進するため、特別教育の受講費用を助成する。	11~1月			○					16名	無
(一社)東京建設業協会	○「土木建築 2級 第一次検定 工科高等学校出前講座」の実施 建設業への就職の動機付けを高めるため、2級施工管理技術検定の受験者を対象に対策講座を実施する。	通年			○					(4月)都立田無工科高等学校建築科2年生20名、3年生11名 (7月)都立墨田工科高等学校2年生15名 (7月)都立総合工科高等学校建築類型2年生6名、3年生4名 (10月)都立田無工科高等学校都市工学科3年生25名 (10月)都立田無工科高等学校建築科2年生12名、3年生7名	東京土木施工管理技士会
(一社)山梨県建設業協会	○2級施工管理検定試験会場へのバスの配車 受験会場までの送迎バスの配車等資格取得の援助する。 ○高校生等に対する建設関連図書の配布	10、11月			○					150名	無
(一社)長野県建設業協会	○2級土木建築施工管理技士試験受験準備講習会 建設系学科の高校生を対象に受験準備講習会を開催し、資格取得により将来の就職の選択肢となるよう支援を行う。	8月			○					-	有
(一社)岐阜県建設業協会	○小型車両系(整地等)運転特別教育 ○建設業経理事務士(3、4級)特別研修				○			○		60名 70名	無

令和7年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(資格取得支援)(都道府県建設業協会)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	資格取得支援取組内容	実施時期	対象							参加者 参加人数	共催団体等 の有無
			大学 (短大) 生	専門 学校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者	教 諭		
(一社)静岡県建設業協会	○静岡県専門高校生サマータイム体験学習 工業農業高校の3年生を対象に小型移動式クレーン資格取得を目的に体験学習を実施。	7月			○					工業農業高校3年生 10名	無
(一社)三重県建設業協会	○建設業経理事務士特別研修(4級) 工業高校の生徒を対象に建設業経理事務士特別研修を実施。	7~8月			○					-	無
	○建設業経理事務士特別研修(3級) 工業高校の生徒を対象に建設業経理事務士特別研修を実施。	12月			○					-	無
(一社)富山県建設業協会	○会員企業への入職予定者を対象とした技能向上研修 就職前の高校生を対象とし、スムーズな入職につなげるための就職直前講習(玉掛け、小型移動式クレーン技能講習)。	3月			○					県内4校6学科 延べ80名程度を予定	無
(一社)福井県建設業協会	○高校生への資格取得支援 2級土木施工学科試験に伴う県外会場までのバス補助。	10月			○					約40名	無
(一社)兵庫県建設業協会	○工業高校生資格取得支援講習会事業の実施 県内の工業高校生等(3年生)を対象に、建設業への入職促進につながる2級土木施工管理技士又は2級建築施工管理技士の学科試験に向けた講習会を開催。	9月~11月			○					工業高校5校約200名	兵庫県
(一社)奈良県建設業協会	○経理特研 高校生を対象に建設経理士4級、3級の取得を促進する。	8、12月			○					18名	西日本建設業保証
(一社)和歌山県建設業協会	○施工管理2級(一次)受検支援										
	1. 参考図書 提供	4月~			○					建設系学科在校生100名	無
	2. 模擬試験 提供	5月~			○					希望者80名	無
(一社)山口県建設業協会	3. 受検会場まで移動手段提供	6月~			○					和工建築／土木	無
	○建設業経理事務士 高校生に対し、建設企業への就職に有利な建設業経理事務士の資格取得を支援することで入職率のアップを目指す。	7~12月			○					30名	有
	○建災防の法定教育訓練 若年定着支援事業として、40歳以下を対象とした建災防の法定教育訓練を無料で行い、資格取得を支援する。	9月	○	○	○					27名	有
(一社)徳島県建設業協会	○建設業経理事務士特別研修 建設業経理事務士の資格取得支援による建設業への入職促進を目的とし、県内土木コースなどを有する高校の生徒を対象とした「高校生建設業経理事務士特別研修」を実施している。	7月			○					-	無
(一社)愛媛県建設業協会	○4級3級建設業経理事務士特別研修 松山工業高校建築科土木科1・2年生に対し、建設業経理事務士特別研修を実施。	7、8月			○					松山工業高校建築科土木科1年生各40名、2年生1~2名	無
(一社)長崎県建設業協会	○建設業経理事務士特別研修 工業高校の生徒を対象に建設業経理事務士特別研修を実施。	1月			○					未定	無
(一社)熊本県建設業協会	○2級技士補受検費用補助(土木建築) 建設関連学科高校在学者対象に受験費用の内2,000円を助成。	通年			○					県内建設関連学科高校23年	無
(一社)沖縄県建設業協会	○2級土木建築施工管理技士(一次)基本講座開催 放課後に学校の教室で講座を開き資格取得に向けて取り組んだ。受講料の補助も行う。	6月、11月			○					沖縄工業高校33名 浦添工業高校40名 名護商工高校7名 美里工業高校21名 南部工業高校1名 宮古総合実業高校3名	無
	○経理事務士(3・4級)特別研修 夏休み期間に特別研修を開催し、資格取得に向けて取り組んだ。受講料の補助も行う。	7~8月			○					【4級】 沖縄工業高校土木5名 沖縄工業高校建築7名 名護商工高校8名 浦添工業高校3名 美里工業高校9名 南部工業高校1名 【3級】 沖縄工業高校土木4名 沖縄工業高校建築6名 名護商工高校2名 美里工業高校5名	無
	○小型車両系特別教育 夏休み期間に特別教育を開催し、資格取得に向けて取り組んだ。受講料の補助も行う。	7~8月			○					沖縄工業高校建築17名 沖縄工業高校土木28名 南部工業高校8名 名護商工高校6名 浦添工業高校4名 美里工業高校16名 未来工科高校16名 八重山商工12名	無

令和7年度 建設産業人材確保・育成推進協議会 構成団体における担い手確保・育成の取組み一覧(資格取得支援)(都道府県建設業協会以外)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	資格取得支援取組内容	実施時期	対象							参加者 参加人数	共催団体等 の有無
			大学 (短大) 生	専 門 学 校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者	教 諭		
(一社)日本建設業連合会	○建設スキルアップサポート制度 高校等在学中の技能・技術資格取得に要した受験料・受講料の半額をキャッシュバック(総額10,000円を限度)。	通年	○	○	○	○				未定	無
(一社)日本型枠工事業協会	○岐阜県立岐南工業高校【日本型枠東海支部(東海地区型枠工事協同組合)】 技能検定3級の実技指導。	12、1月			○					未定	無
	○名古屋工業高校【日本型枠東海支部(東海地区型枠工事協同組合)】 技能検定3級の実技指導。	12、1月			○					3名	無
(公社)全国鉄筋工事業協会	○技能検定3級・2級の組立指導【千葉】	12~1月			○					市川工業高校 10名前後 京葉工業高校 10名前後	無
	○出前講座【東京】 2級・3級鉄筋組立て技能士試験準備実習。	9月、11~1月			○					墨田工科高校1~3年 計66名 葛西工科高校1~3年 蔵前工科高校1~3年 計66名	無
	○鉄筋施工技能向上講習【神奈川】 2級・3級鉄筋組立て。	12月13日 12月20日 1月17日 1月24日			○				○	各回 生徒8名、教諭1名	無
	○鉄筋施工技能士(鉄筋組立て)3級の試験準備・実習【新潟】	10~1月			○					高校2年生	新潟県職業能力
	○高校生に技能検定3級の実技、座学講習【福井】	1月			○					敦賀工業高校生	無
	○県内工業高校 出前講座 鉄筋3級【長崎】				○					1~3年生	無
(一社)全国クレーン建設業協会	○あいちクレーン塾の活用・パンフレットの配布【三重支部】	年数回			○						振興基金
(一社)日本左官業組合連合会	○技能検定講習会【愛左連】	6月			○					名古屋工業高校1名	無
(一社)日本空調衛生工事業協会	○配管技能士養成に係る練習用資材の支援【広島県】 工業高校設備科学生の建築配管技能士養成のために必要な練習用資材を提供。	10月			○					20名	無
	○3級配管技能検定受検技術指導【愛媛県】 工業高校の2校の受検生徒に対し、練習資材の提供と実技指導を訪問実施。	9~2月			○					15名	無
全国管工事業協同組合連合会	○技能検定「配管工」の受検用練習材料の提供	11月			○				○	270名を予定	無
全国建設関係訓練校等連絡会議【(職訓)全国建設産業教育訓練協会】	○(一社)静岡県建設業協会主催のサマータイム 資格取得を目指す意欲的な高校生を対象に、技能講習等の体験を合宿形式で実施した。	夏季休暇			○					磐田農業高等学校3年生2名 科学技術高等学校3年生4名 静岡農業高等学校3年生4名	(一社)静岡県建設業協会
	○学校法人中央工学校主催の夏季技能訓練合宿 資格取得を目指す意欲的な専門学校生を対象に、技能訓練合宿を実施した。	8月上旬		○						中央工学校10名	中央工学校
	○学校法人浅野工学専門学校主催の夏季技能訓練合宿 資格取得を目指す意欲的な専門学校生を対象に技能訓練合宿を実施した。	8月下旬		○						浅野工学専門学校5名	浅野工学専門学校

令和7年度 人材協構成団体における担い手確保・育成の取組み状況について

構成団体：「都道府県建設業協会」と「建設産業団体約60団体」

（単位：団体数）

取組内容	取組団体数						
	(対象者)						
	大学 (短大)生	専門 学校生	高校生	中学生	小学生	保護者	教諭
現場見学会	16	11	52	14	14	16	28
インターンシップ（職業体験学習）	10	8	45	9	2	0	2
出前講座・講習会	15	11	47	25	23	12	22
広報活動（メディア、DVD、冊子の活用）	39	39	49	37	37	34	39
資格取得支援	3	5	34	1	0	0	4
合同企業説明会	17	16	24	0	0	3	6
イベント開催・参加	27	28	39	36	47	46	28
産官学連携の協議会	2	0	1	1	1	1	23
教諭との意見交換会	0	0	1	0	0	0	35
その他	8	5	15	5	5	4	6
合計	137	123	307	128	129	116	193

注1) 取組団体数の集計は、情報提供を受けた時点における令和7年度に「実施した取組み」「実施予定の取組み」を合計したもの。

注2) 合計欄は、各団体における取組内容区分ごとの実施状況を延べで集計。

各取組欄は、同一団体が当該取組を複数回実施している場合も、1団体として計上しているため、実施回数を示すものではない。

令和7年度 建設産業人材確保育成推進協議会 構成団体における担い手確保育成の取組み(優良事例の紹介)

注:下表は各団体からの情報提供日時点の内容

団体名	項目	事業名称 と 取組内容	実施 時期	対象						参加者 参加人数	共催団体等 の有無	団体 URL	団体 連絡先	
				大 学 (短 大) 生	専 門 学 校 生	高 校 生	中 学 生	小 学 生	保 護 者	教 諭				
(一社)秋田県建設業協会	現場見学会	○女性エンジニアSAKURAと行く現場体験体験会 【(一社)平鹿建設業協会】 実際に稼働している現場を数ヶ所回り、ドローンの操作体験や重機乗車体験等を実施。	7月				○	○	○		45名	県建設部	https://a-kenkyo.or.jp/	018-823-5495
(一社)埼玉県建設業協会	現場見学会	○県立高校生はたらく魅力実感講座 ～建設業の世界を知ろう～ 建設系学科以外の高校生や保護者に「建設業で働くこと」の魅力について理解を深めてもらい、就職先候補のひとつとして心に留めてもらう。 座学(3講座)+現場見学を実施。	8月			○			○	○	滑川総合高校 1年生 17名 2年生 12名 3年生 3名 保護者 2名 教諭 2名	県教育局 ※協力(国土 交通省関東地 方整備局荒川 調節池工事事 務所)	https://skk.or.jp/index.htm	048-861-5111
(一社)熊本県建設業協会	現場見学会	○建設関連学科高校生の保護者を対象とした現場見学会 【熊本玉名支部】	定期						○		建設関連学科高 校 普通高校 約400 名 保護者 約 40名	熊本県建設産 業団体連合会	https://kumaken.or.jp/publics/index/141/	096-366-5111

女性エンジニア「SAKURA」と行く！建設現場体験会(秋田県建設業協会)

■開催内容

開催日時 令和7年7月25日(金)9:30～13:30

開催場所 横手市内の建設工事現場など、秋田ふるさと村

参 加 横手市内の小学生22名と保護者17名、中学生4名

参 進 行 (一社)平鹿建設業協会女性部SAKURA会員

主 催 (一社)平鹿建設業協会、横手市建設業協会、横手市建設部、平鹿地域振興局建設部

■工事現場の体験

○八幡根岸線街路工事

(根岸町工区 道路改良工事)の体験

・オペレーターの指導のもと、
バックホウを操縦

○横手川河川改修工事

(朝倉工区 護岸工事)の体験

・石積を体験、ドローンを操縦

○橋梁点検業務

(前郷跨線橋 点検業務)の体験

・橋梁点検車に乗り、橋脚を点検



女性エンジニア「SAKURA」と行く！建設現場体験会(秋田県建設業協会)

■ランチミーティング

秋田ふるさと村において、ランチミーティングを実施。

(一社)平鹿建設業協会女性部SAKURAの会員の方から女性エンジニアになった理由や、女性部SAKURAによる建設業の魅力発信のための活動について発表していただきました。

また、「建設現場は女性や力のない人でも楽しく働ける。建設業に従事してほしい。」と話しかけがありました。



■参加者の感想

○小中学生

- ・色々な体験が出来て楽しかった
- ・体験会に参加して、建設業に更に興味を持った
- ・ICTや機械にふれることが出来る体験会があったら参加したい

○保護者

- ・親も職に関する理解を深めることで、将来の夢に対する支援がしやすい
 - ・女性が気持ちよく働ける環境が増えて、子供にとっても選択肢が増えてありがたい
 - ・子供に体験させてやることが出来て良かった
- ※今後も体験会の継続を望む声が多かった

県立高校生はたらく魅力実感講座～建設業の世界を知ろう！～

次 第

日時：令和7年8月19日（火）9：30～15：30

場所：埼玉建産連研修センター202会議室

荒川第二調節池工事現場

1 講 座

(1) 「チームビルディング研修」 9：30～10：45

(株)STEAM Sports Laboratory 代表取締役社長 山羽 教文 氏

(2) 「ライフ＆マネー講座」 11：00～12：00

SMBC コンシューマーファイナンス(株)社会的価値創造推進部
金融経済教育グループ(東京) 鈴木 裕子 氏

《 昼 食 》

(3) 「建設業の魅力」 13：00～13：30

(株)ユーディケ一人事部 人事課長 門倉 和也 氏

《 移 動 》

2 現場見学

荒川第二調節地 工事現場 14：00～15：30

(1) 第二排水門 (飛島建設(株))

(2) ゲート設備 ((株)IHI インフラ建設)

(3) 池内水路 ((株)ユーディケー)

(1) 実施日

令和7年8月19日（火）

(2) 場所

埼玉県建産連研修センター（説明）・荒川第二調節池工事現場（見学）

(3) 参加者

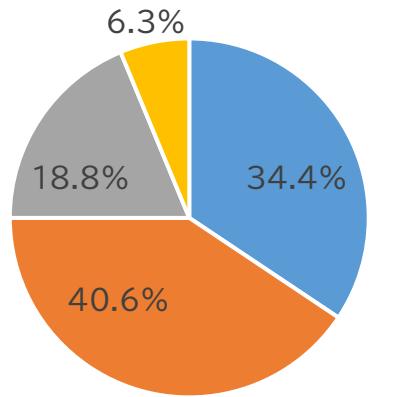
滑川総合高等学校 ラグビー部生徒全学年32名 同保護者2名 同顧問教諭2名

(4) アンケート対象

生徒32名

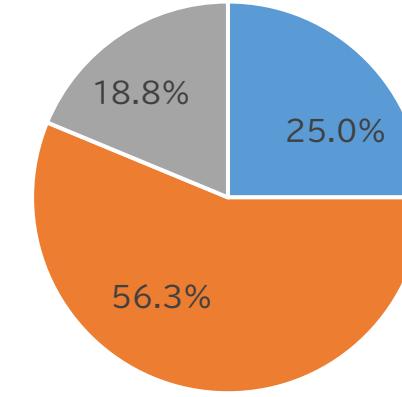
事前質問

(1) 建設業界について、どの程度知っていますか？



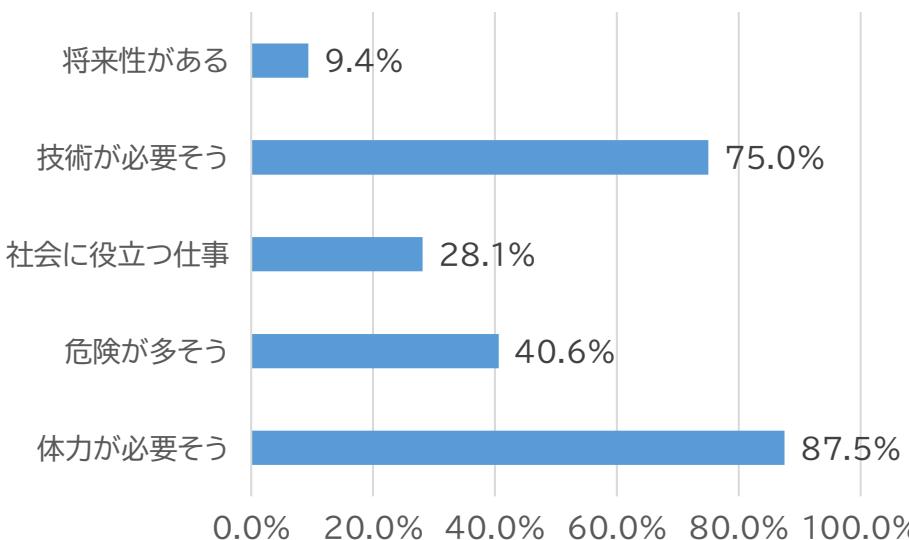
- あまり知らない
- ほとんど知らない
- ある程度知っている
- よく知っている

(3) 将来の進路について

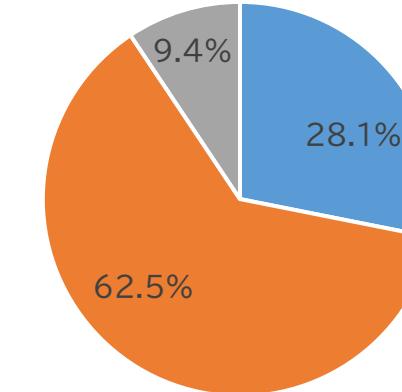


- 高校卒業後すぐに働きたい
- 大学や専門学校に進学したい
- まだ決めていない／迷っている

(2) 建設業界に対して、どんなイメージを持っていますか？
(複数選択可)



(4) 高卒で働くことについて、どんな印象を持っていますか？



- 前向きに考えている
- 少し不安がある
- あまり考えたことがない

事前質問

(5) 今日の講座で、どんなことを知りたいですか？（自由記述） ※主なものを抜粋

ア 建設業の内容に関するもの

- ・建設業界をあまり知らないのでどんな仕事が知りたい
- ・建設業の具体的な職務内容
- ・働くために必要な技術を学びたいです
- ・建設する為にどんな工程があるのか
- ・その職業に関する必要な知識や具体的な仕事内容
- ・私たちの生活している建物がどのように作られているか

イ 建設業界の位置づけ等

- ・社会的にどのような役割や地位があるのか、またどのような種類があるのか
- ・建設業は何のためにあるのか詳しく知りたい
- ・建設業がどのように社会に役立っているのか
- ・建設業界について詳しく知りたい
- ・建設業のおもしろさ
- ・建設業の大変さ
- ・建設業界の大変さや人材不足により何が問題になっているのか

ウ 給与面

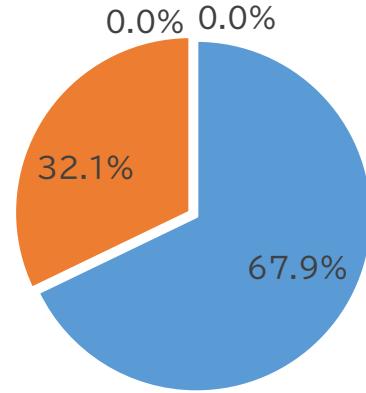
- ・給料について

エ その他

- ・高卒で働くメリット、建設についての流れ
- ・人材不足の解決
- ・働く意味、素晴らしさ、大変さ

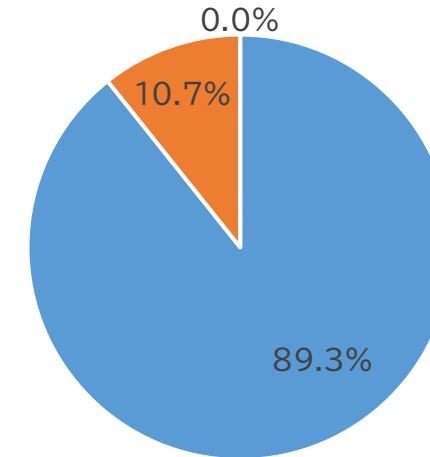
事後質問

(1) 今日の見学を通じて、建設業界への理解は深まりましたか？



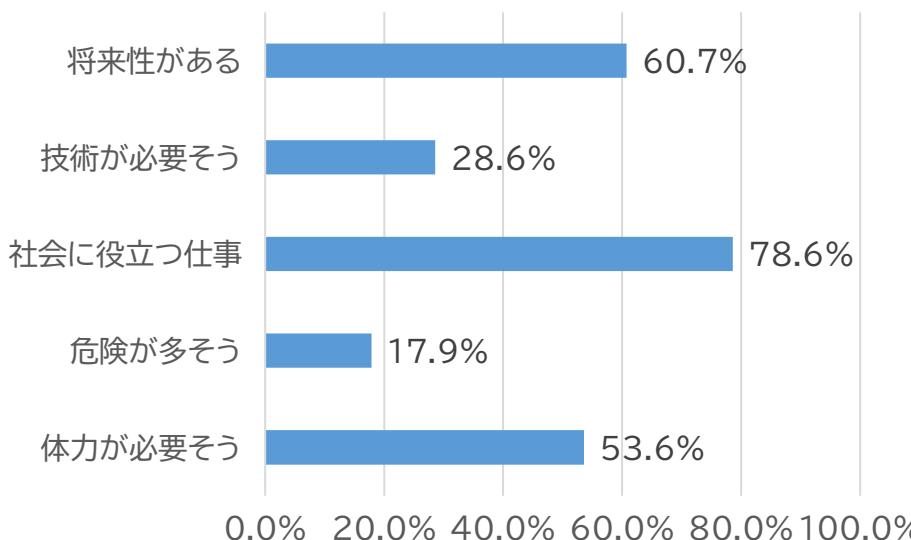
- とても深まった
- 少し深まった
- あまり変わらない
- わからなかった

(3) 建設業界に対するイメージは変わりましたか？

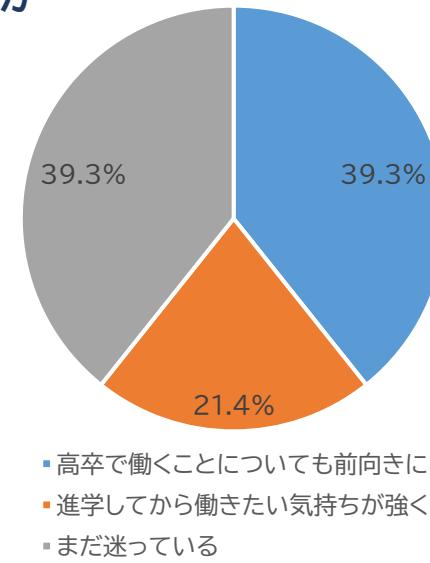


- 良い方向に変わった
- 変わらなかった
- 悪い方向に変わった

(2) 建設業界に対して、どんなイメージを持っていますか？
(複数選択可)



(5) 将来の進路について、今日の体験を通じて気持ちに変化はありましたか？



- 高卒で働くことについても前向きになった
- 進学してから働きたい気持ちが強くなった
- まだ迷っている

事後質問

(4) 建設業界に対して、「良い方向に変わった」と答えた方は、どのように変わったか記述してください。

- ・体力をあまり使わなさそう
- ・将来性があり、希望が見えるというお話を聞いていい方向に考えが変わりました
- ・見方が変わりました
- ・建設業は人が全部動いてやると思っていたけど、ドローンや機械化など進化していると感じたから
- ・現場の人の話などを聞いて、業界のことを説明してもらい、理解が深まったから
- ・汚いなどの悪いイメージが変わった
- ・日本の未来がとても明るくなった！
- ・みんなでまとまる
- ・将来性がありとても社会の役に立つ仕事
- ・大変な環境で作業している訳ではなく、ITやドローン等様々な技術を活用していることが分かり、より快適に作業できる環境に置かれているとわかった
- ・建設業界が進化したお陰で災害時や日常生活で不自由なく生活できていることがいいと思った
- ・社会からの悪いイメージをなくすために頑張っていることが分かったから
- ・将来性もあり給料面もいいところ
- ・どんな人でも建設業に携わることができてとても働きやすそうだった
- ・ドローンなどでスマートにできていた
- ・働いている環境などが時代に合わせて変わっていて、最先端な技術も取り込んでいてすごいなと思った
- ・体力や技術が必要そうな仕事だったけど、情報の発展で誰でも簡単に出来るようになったため関心を持った
- ・思っていたよりも雰囲気や仕事が良いものだとわかった
- ・やりがいのある仕事だと思いました
- ・キツくて辛いだけだと思っていたが、ICT施工など最新技術を活用し負担を減らしていて、建設業界のイメージが変わった
- ・人への負担が減っている
- ・安定している仕事だと感じた
- ・近未来で最新だと思った

事後質問

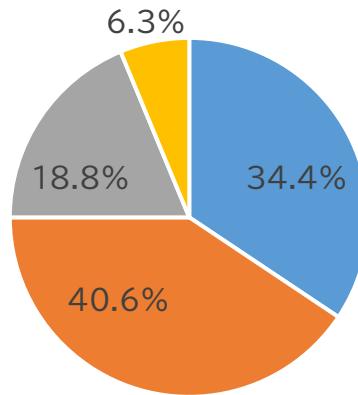
(6) 今日の講座で印象に残ったことは何ですか？（自由記述）

- ・ドローン
- ・旧3Kが新3Kにかわってとてもいい印象が着きました
- ・MRのゴーグル
- ・土木業や建設業も時代とともに進化していて働きやすい環境になっていると知ることができた
- ・ドローンを現場で使ってるってこと
- ・色々な技術が発達しているのだと感じた
- ・技術が進んでいてすごいとおもった
- ・建造物を作るときの過酷さが知ることができた
- ・行動力とかつきそう
- ・建設業界は日本の社会のためにとても役立つ仕事でありとても大切な仕事であることが分かりました
- ・チームビルディング、お金についてのこと
- ・ドローンを使って指定した所を勝手に掘ってくれる技術
- ・MR技術を使って頑張っていることに感心した。
- ・ドローン等のAI技術の発展
- ・建設業で使う道具だったりが便利でイメージと違っていて楽しそうだった
- ・丁張がなくなったこと
- ・ドローンなどを活用した現場に感心した
- ・手動で地形を測るんじゃなくて、自動で測れるようになっていたこと
- ・人の手だけでなくドローンやAIなどを活用した取り組み
- ・ドローンの技術力がすごく印象に残りました。
- ・建設現場でのICT施工の体験や実際に見れて滅多にできない経験が出来たこと
- ・今の工業会では機械を使用して人への負担が減ってきている
- ・とてもわかりやすい説明でUDKに入社したくなった
- ・ドローンやVR

質問 前後比較

事前質問

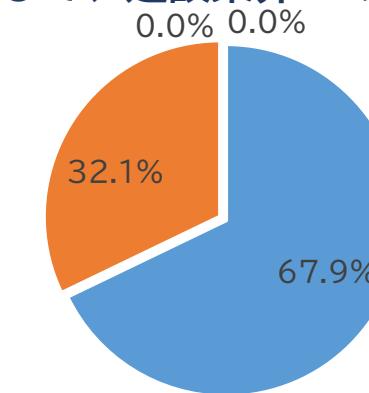
(1) 建設業界について、どの程度知っていますか？



■ あまり知らない ■ ほとんど知らない
■ ある程度知っている ■ よく知っている

事後質問

(1) 今日の見学を通じて、建設業界への理解は深まりましたか？

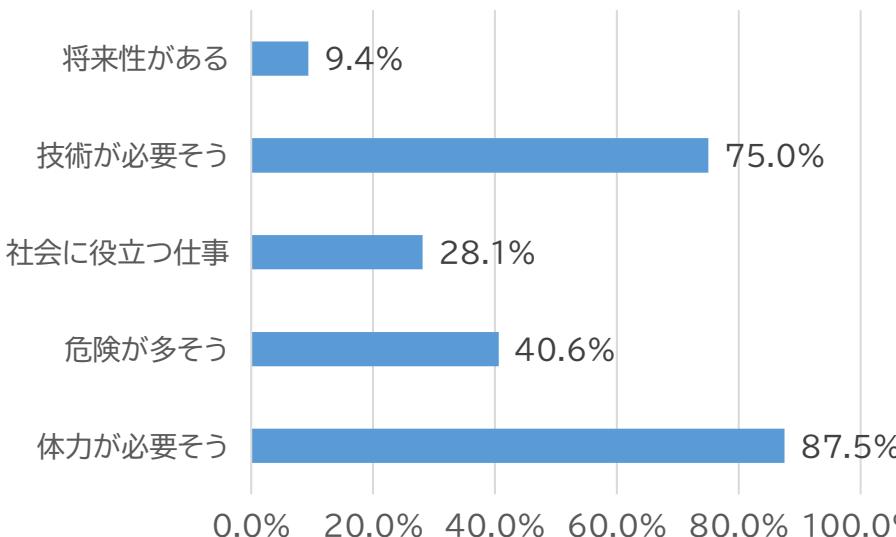


■ とても深まった ■ 少し深まった
■ あまり変わらない ■ わからなかった

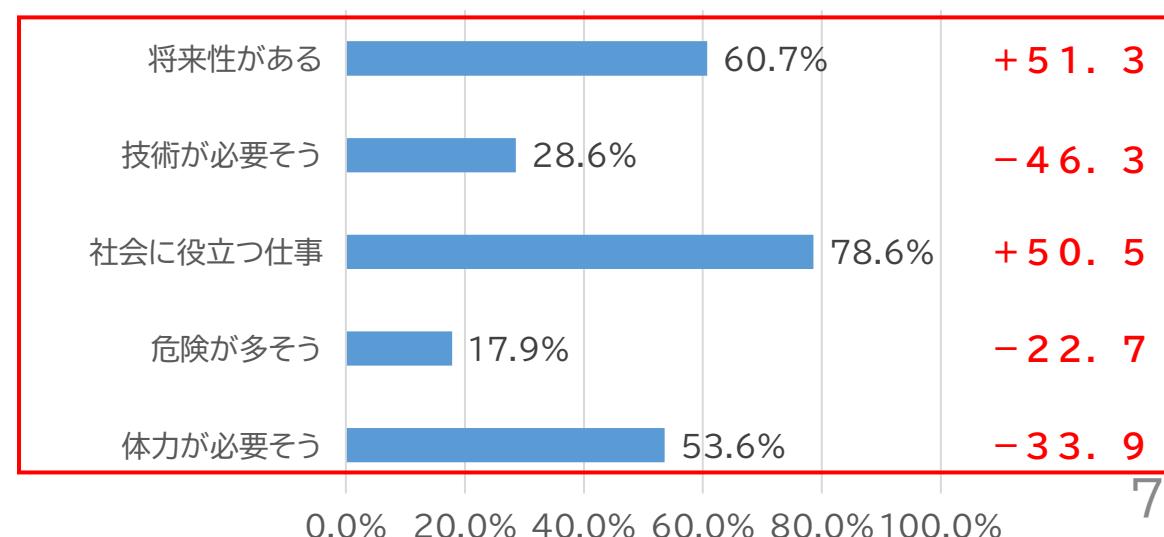
あまり知らない ⇒ とても深まった
33.5 ポイント増



(2) 建設業界に対して、どんなイメージを持っていますか？
(複数選択可)



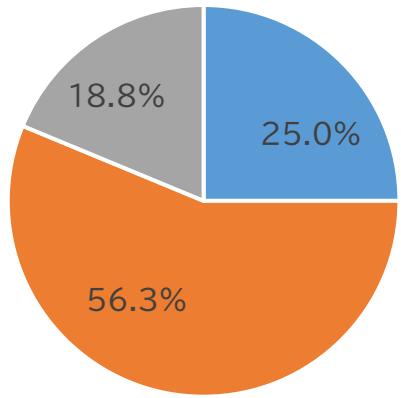
(2) 建設業界に対して、どんなイメージを持っていますか？
(複数選択可)



質問 前後比較

事前質問

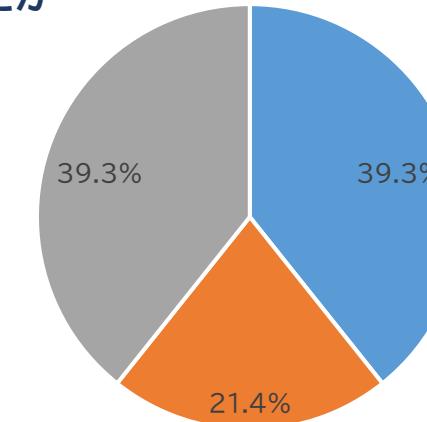
(3) 将来の進路について



- 高校卒業後すぐに働きたい
- 大学や専門学校に進学したい
- まだ決めていない／迷っている

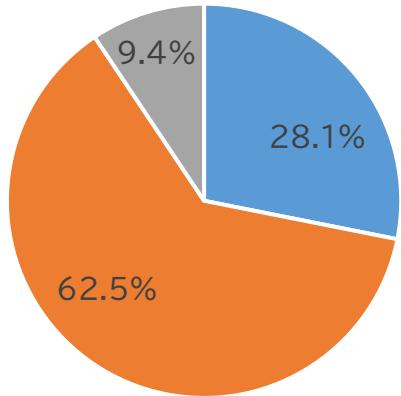
事後質問

(5) 将来の進路について、今日の体験を通じて気持ちに変化はありましたか

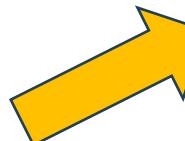


- 高卒で働くことについても前向きになった
- 進学してから働きたい気持ちが強くなった
- まだ迷っている

(4) 高卒で働くことについて、どんな印象を持っていますか？



- 前向きに考えている
- 少し不安がある
- あまり考えたことがない



玉名工業高校の保護者向け現場見学会

日時：令和7年6月21日（土）10:00～13:00

場 所：玉名市建設会館及び建設現場

司会：熊野 有郎

次 第

1 主催者あいさつ 熊本県建設業協会玉名支部
支部長 池田 新生

2 関係者あいさつ 国土交通省菊池川河川事務所
技術副所長 山本 恭裕 様

3 趣旨説明 熊本県建設業協会玉名支部
安全安心委員長 熊野 有郎

4 建設業の担い・魅力について

① 国土交通省菊池川河川事務所

② 熊本県建設業協会玉名支部青年部

5 現場見学

6 猥談

7 アンケート記入

8 閉会

【当日の様子】





玉名工業高等学校保護者様向け現場見学会アンケート集計結果

1.性別を教えてください。

1.男性 2.女性

1の集計結果

1	2	合計
3	2	5

2.年齢を教えてください。

1.10代 2.20代 3.30代 4.40代 5.50代 6.60代以上

2の集計結果

1	2	3	4	5	6	合計
0	0	0	3	2	0	5

3.お住まいの地域を教えてください。

1.玉名市 2.和水町 3.長洲町 4.南関町 5.玉東町 6.その他 ()

3の集計結果

1	2	3	4	5	6	合計
1	1	1	0	2	0	5

4.お子様の現在の志望を教えて下さい。

1.大学進学 2.就職 (職種: ()) 3.公務員志望 4.その他 ()

4の集計結果

1	2	3	4	合計
0	5	0	0	5

職種 (土木系、測量会社、土木)

5.本日の事業で玉名地域への就職についてどのように思われましたか。

1.とても前向きになれた 2.前向きになれた 3.あまり変わらない
4.あまり前向きにはなれない 5.前向きにはなれなかった 6.その他 ()

5の集計結果

1	2	3	4	5	6	合計
3	2	1	0	0	0	5

6..本日の事業でどのようなことに興味を持たれましたか。 (複数回答可)

1.座学での建設業におけるプレゼン 2.現場の見学 3.食事交流会 4. その他

6の集計結果

1	2	3	4	合計
5	1	2	0	8

7. お子様と進路についてお話しする機会はありますか。

- 1.定期的に話している 2.今後話していきたい 3.進路は決めてある
4.あまり話さない 5.子供の判断に任せている

7の集計結果

1	2	3	4	5	合計
2	2	0	1	0	5

8.今後どのような事業に参加してみたいですか。 (複数回答可)

- 1.今日のような事業 2.子供と参加できる事業 3.企業就職イベント
4.現場見学会 5.企業社員との交流 6.その他 ()

8の集計結果

1	2	3	4	5	6	合計
2	4	1	2	1	0	9

自由記述

- 就職先を決めるのは子供だが、親が職種へのイメージを持つことはとても大切であると感じました。
- プレゼン2本共に大変興味深く、初めて知ることが多く、食を具体的に知ることができたことはとても大きいです。
- 社員の方とお話しできたことが安心感・親近感が生まれてよかったです。
- 子どもと一緒に参加することで、同じイメージを共有でき、会話が生まれ、就職についてより深く話せると思いました。
- 高校1・2年の早い段階での開催をすることで意識を高め、学業への取り組み方も変わるのでないかと思いました。
- 保護者が理解できるチャンスをいただけたことに感謝します。
- 子どもの進路決定の際に現場の方々の体験談を含めて参考になる事が出来ました。
- 開催時期を早めていただきたいです。

君たちが創る未来



教育アニメ映画

ESG・SDGs プロジェクト
映画**未来補完計画**

告知動画



公式サイト



教育アニメ映画 ESG・SDGs プロジェクト 映画**未来補完計画**

子ども達と保護者が共に未来と向き合う機会を
教育アニメ映画「未来補完計画プロジェクト」

【プロジェクトの概要】

『未来補完計画プロジェクト』とは「产学研官民連携プロジェクト」であり、
子ども達、保護者の皆様に向けた未来についてのコンテンツを
配信していくプロジェクトです。

当プロジェクトを通じ未来や将来について
子ども達、保護者、教師の皆様が共に向き合い、
考える機会を創出することが最大の目的です。

第一弾『教育アニメ映画 未来補完計画』制作開始

各教育機関様、各PTA団体様、地域行政と連携し教育現場で配信していく予定です。
子ども達も馴染みやすいようにアニメで2040年の未来を描き、
未来の社会問題、未来の職業選択、キャリア形成などについて
興味関心が芽生えるキッカケを作ることを目的としています。

教育機関やPTA団体、地域と連携し、全国の教育機関での上映を目指します

【企画・運営】

未来補完計画プロジェクト実行委員会
実行委員長 岩本 靖

【アニメ制作】

総合プロデューサー
鈴木 おさむ
制作
関西テレビ放送
ロボット

告知動画



【本件に関するお問い合わせ】

未来補完計画プロジェクト実行委員会
事務局長 岡野 哲也

TEL : 03-3536-1717

Mail : support@crlb.co.jp

公式サイト : <https://www.mirai-hokan.com>



ホームページ、動画など各種販促分の制作
採用戦略、ブランディングまでお任せください。

